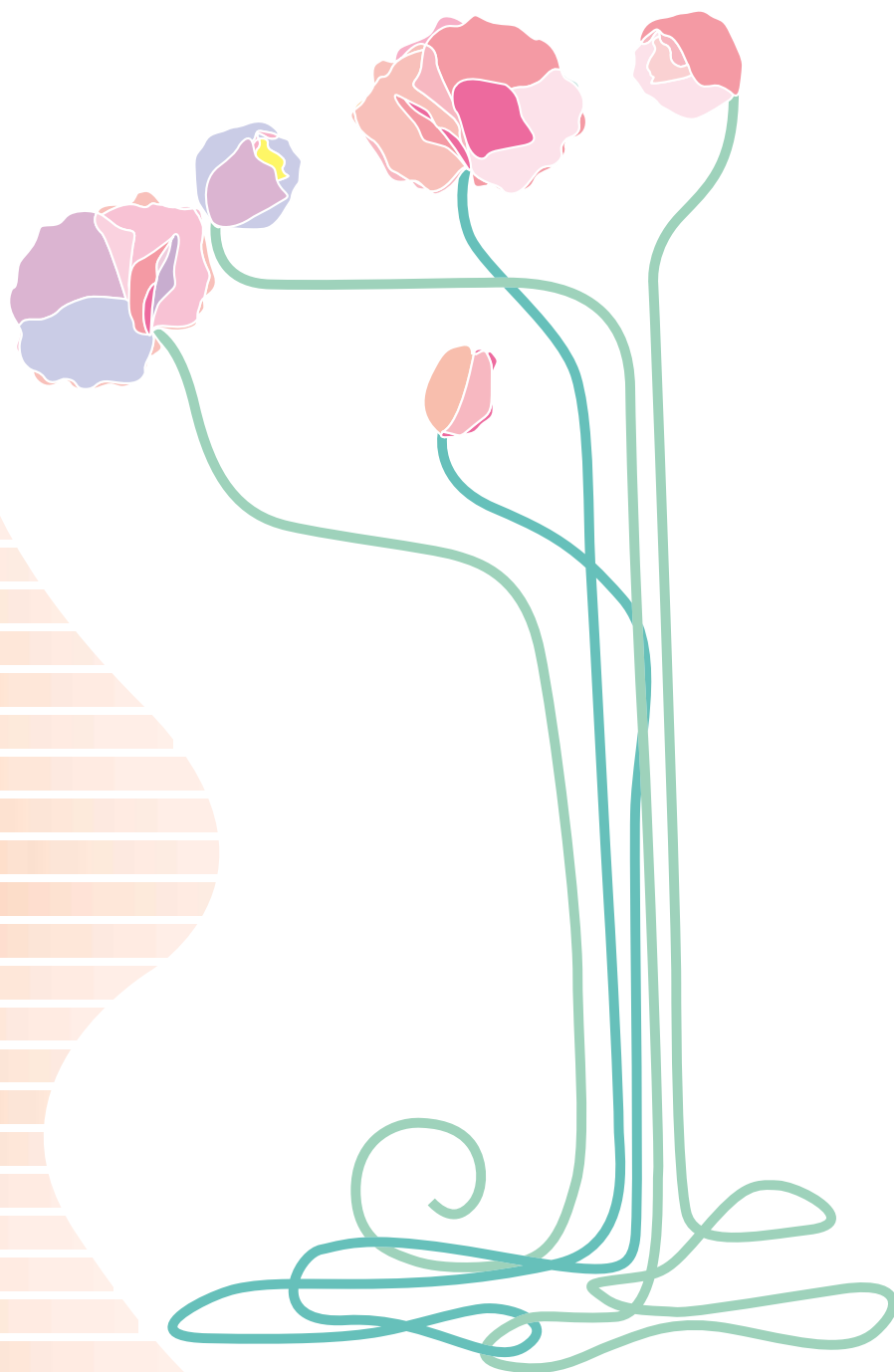
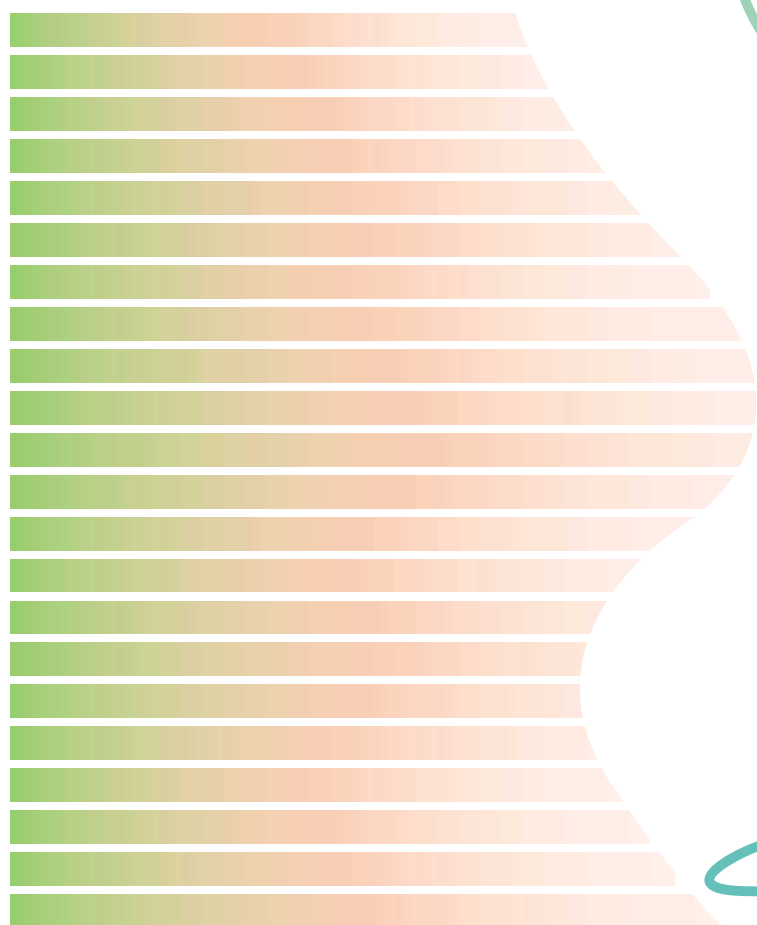


WINET 情報

ウイネット

No.9

2002. 3



WINET情報 CONTENTS

第9号 平成14年3月

巻頭言

- 女性情報という活力源 1
(財)大阪府男女協働社会づくり財団企画推進グループディレクター
尼川 洋子

会館事業情報

- 家庭・地域で担う子育て支援セミナー
「男性が地域・家庭へ - 一歩ふみ出すきっかけづくり - 」 2
H13年度フォーラム家庭教育 3
又エック公開シンポジウム・遠隔情報発信事業紹介 4
国際女性情報処理研修/女性情報国際フォーラム ... 6
事業の内容とその連携について
女性関連施設等ネットワーク研究協議会 10

女性教育情報センターより

- 新しくなった女性学・ジェンダー論関連科目データベース ... 13
TICTサイトの更新 14
『女性情報シソーラス』公開にあたって 15
シソーラスの共有とデータベース連携
岐阜大学教育学部助教授 加藤 直樹

書誌情報

- 女性・家族関係雑誌記事インデックス 17
テーマ展示図書案内 45
新着図書案内 51
新刊案内 53

編集後記

WINET(ウィネット)とは...WINET(Women's Information NETWORK system)は、国立女性教育会館が収集している女性及び家族に関する様々な情報のデータベース検索システムの総称です。

「情報」という言葉を頭の中に思い浮かべた時、どんなイメージがわいてくるだろうか？連想ゲーム風に言うと、私の場合”しおれかけた草花が水を得て、茎や葉が生き生きとしてくる”あの状態が浮かんでくる。「情報」という言葉の意味とはほど遠いイメージだが、女性センターという、女性たちが情報と出会う・女性たちに情報を提供する現場にいと、そんな感じがぴったりとくる。でもこれは、もしかしたら「女性情報」に特有のイメージなのかもしれない。

「目からうろこがとれる」という表現があるが、女性センターで活動している女性たちの口からよくこの言葉を聞く。講座で講師の話や、女性センターのライブラリーの本やミニコミを読んで、調査報告の結果を見て、相談電話をかけて、等々がその前にあるのだが、いずれも「女性情報」に出会って起こった変化を彼女たちはそう表現する。振り返れば、私自身もそうだった。“気づき”から“行動”へ、この25年余、多くの女性たちが新たな一歩を踏み出した。そして、「女性情報」はそのきっかけと活力源の役割を果たしてきたのだと思う。

1970年代後半からずっと、“女性の自立と解放”を志向する情報の動きを追ってきて、そしてこの10年は、「女性情報」と名付けられたそれらの情報を収集・整理・提供する側にいる。その立場から見て気づいたことは、「女性情報」が持つ“らせん状の循環性”である。女性情報は解決すべきジェンダー問題の課題と対応して資料や情報へのニーズが高まり、結果、その分野の資料の発行・情報発信が促進され、そして発信された情報が問題解決や男女共同参画政策の取り組みを刺激し、新たな資料や情報が作り出され、より進んだ活動へ結びつき、さらに次の段階の情報ニーズが生じていくという、特に近年の「DV(ドメスティックバイオレンス)」に関わる資料・情報の充実にはその循環が顕著に現れている。

私はこの“らせん状の循環性”が、「女性情報」の真髄であり、活力源たる所以ではないかと思っている。

「女性情報」の今後を考えた時、女性情報を収集・加工・データベース化・提供するセンターの役割は大きい。“らせん状の循環”の軸としてしっかりと立ち、絶えずその螺旋が広がっていくように働きかけていく、その役割を担える所は他にない。

プロフィール

あまかわ・ようこ 1947年熊本県生まれ。神戸外国語大学卒。4981年に神戸で女性問題懇話会“それいゆ”を発会。「女性問題ブックフェア」を企画・主催。阪神・淡路大震災以後は女性の視点を復興のまちづくりに活かすためにウイメンズ・シンクタンク「ユイ」を発足させ、活動中。現在、大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)企画推進グループディレクター。国立女性教育会館運営委員。

著書『女の本がいっぱい』(創元社)『ふたりで家事を「仕事」と「家庭」の新しい関係』(創元社)

家庭・地域で担う子育て支援セミナー

「男性が家庭・地域へ

— 一歩ふみ出すきっかけづくり —

国立女性教育会館は、平成13年9月13日(木)14日(金)の2日間、「家庭・地域で担う子育て支援セミナー」を実施した。

セミナーには、社会教育行政関係者、女性施設関係者、家庭教育支援に関わっている団体・グループ、企業等104名(女性90名、男性14名)が参加し、男女共同参画社会の形成に向けて、男性の子育て・地域活動への参加促進及び母親の子育て不安の解消を図るための実践的研修を行った。

第1日目は、文部科学省男女共同参画学習課家庭教育支援室長山田総一郎氏の講義、中央大学教授廣岡守穂氏の講義・ワークショップを行った。

第2日目は、分科会と全体会を行い、4分科会の概要は次のとおりである。

- A 「男性も参加しやすい子育て講座を企画しよう」
(講師) 宮崎大学助教授 原 義彦
(事例報告者) 新潟市中央公民館事業係長 渡辺 敏郎
- B 「子育て支援のホームページを企画しよう」
(講師) 十文字学園女子大学情報学部助教授 客員研究員 安達 一寿
(例報告者) 男も女も育児時間を！連絡会 小黒 貫太
- C 「コミュニケーション能力を高めよう」
(講師) 産業能率大学・立教女学院短期大学 講師 三好 良子
- D 「地域の子育てサークルを応援しよう」
(講師) 埼玉県「新座子育てネットワーク」 代表 坂本 純子

最後は、群馬大学助教授結城恵氏のコーディネートによる「男性が家庭・地域へ - 一歩ふみ

出すきっかけづくり - 」と題した全体会を行い、参加者と分科会講師による活発な意見交換が行われた。



(マルチメディア研修室で「研修を受ける」)参加者

分科会B「子育て支援のホームページを企画しよう」の詳細について述べると、はじめに、事例報告者の小黒氏が、「男も女も育児時間を！連絡会」(以下“育時連”と称する。)のホームページを紹介し、「育時連の主張の広報、インターネット上の会員同士の討議・相談・情報収集に活用している」との報告があった。また、ホームページにアクセスしてくるのは、情報を得ることより人とのつながりを求めていることであると説明があった。続いて、講師の安達氏から、「ホームページ作成の考え方」についての講義があり、インターネットを利用した情報発信の大切さについて説明があった。その後、実際に既存のホームページを検索しながら子育て支援に必要な情報を収集し、それをもとにグループに分かれてホームページの企画、作成をした。最後に、講師によるまとめがあり、「ホームページは、市販のソフトを使用することで容易に作成できるが、質の高いホームページにするには、創意工夫と時間が必要である」とまとめた。

(国立女性教育会館事業課専門職員

五味 厚子)

平成13年度「フォーラム家庭教育」

1. 事業の概要

このフォーラムは、文部科学省、独立行政法人国立女性教育会館、埼玉県教育委員会の共催で、平成13年10月21日（日）の午後に実施した。体験活動を通じて、親子の触れ合いを深めること、異年齢間や地域内での交流をすすめることの重要性を認識し、こどもの「生きる力」を育む家庭教育の充実を図ることを目的として、「遊びを通じて親子のあり方を見つめ直す」をテーマに253名（大人153名、子ども100名）が参加した。

第1部は親子と一緒に、工作を通して交流を図った。第2部では、親と子が別々に分かれて、大人はパネルフォーラムやビデオ上映を通じて「子どもにとっての『遊び』」について意見交換を行い、子どもはNPO等のボランティアの協力を得て、ストーンペインティングや木工クラフトの作製を行い、大人（ボランティア）や年齢の異なる子ども同士との交流を図った。

2. プログラム内容

【第1部】 13:10～14:00 「ワクワク！親子で工作」

講師 造形作家 ヒダオサム

はさみ、糊、ペン、紙を使って、単純な仕組みで動く工作の紹介があり、大型スクリーンを通してその製作過程を見ながら実際に親子で工作を体験した。

【第2部】

a おとなのパート（場所：講堂）

パネルフォーラム 14:20～15:40

「子どもにとっての『遊び』」

パネリスト 筑波大学教授 門脇 厚司
プレーリーダー 嶋村 仁志
造形作家 ヒダオサム



「ワクワク！親子で工作」

コーディネーター

国立女性教育会館事業課主任研究員

中野 洋恵

子どもにとっての「遊び」のもつ意味を確認し、子どもの異年齢間、あるいは家庭・地域の大人たちとの関わりの重要性について、会場の参加者と意見交換を行った。



パネルフォーラム「子どもにとっての『遊び』」

ビデオ上映 映画「こどもの時間」 15:40～16:20

コメント 映像作家 野中真理子

埼玉県桶川市にある「いなほ保育園」の日常生活を数年にわたって記録したドキュメンタリー映画「こどもの時間」を一部抜粋して上映し、監督の野中氏が、映画を撮るまでの経緯や保育園に対する思いについて述べた。

b こどものパート（場所：草原運動場）

体験活動 14:20～16:20

協力 埼玉県青少年相談員
埼玉県レクリエーション協会
特定非営利活動法人 環境ワゴン

3歳から10歳の子どもをグループに分け、ボランティアが引率して、ストーンペインティング、流木クラフト、木工クラフトなどの体験活動を行った。

このフォーラムは親子参加型プログラムとし、幼児や低学年児童等100名の子どもの参加があったが、多くのボランティアの協力を得ることで運営が円滑に行われ、参加者に非常に好評であった。

（国立女性教育会館事業課専門職員 島田 悦子）

又エック公開シンポジウム

国立女性教育会館は11月11日(日)、愛知県女性総合センター「ウィルあいち」において愛知県教育委員会と共催で又エック(国立女性教育会館)公開シンポジウムを開催し、行政担当者、団体・グループ関係者、研究者等178名が参加した。公開シンポジウムは男女共同参画社会形成に向けた調査研究の充実及び推進を図るために、国立女性教育会館の女性、家庭・家族に関する調査研究の最新の成果を発表し意見交換を行うことを趣旨として毎年実施している。今年度は「男女共同参画 - はじめの一步を家庭から - 」をテーマとするシンポジウムと、『国立女性教育会館研究紀要』第5号入選論文報告会」の2部構成で実施した。

(1) 第1部「男女共同参画 はじめの一步を家庭から」



男女共同参画の視点に立った家庭教育推進
方策に関する調査研究報告
中野洋恵(国立女性教育会館事業課主任研究員)
シンポジウム

コーディネーター：大日向雅美

(恵泉女学園大学教授)

講師：馬居 政幸(静岡大学教授)

講師：坂田 正俊

(愛知県教育委員会生涯学習課主査)

講師：諸橋 泰樹

(フェリス女学院大学教授)

講師：山本 慶裕

(国立教育政策研究所生涯学習政策
研究部総括研究官)

3年間にわたって実施した調査研究の成果を踏まえて、家庭教育の行政担当者が男女共同参画の視点に立った家庭教育推進を進めていくための具体的な課題は何かという問題提起から始まった。

男女共同参画の視点を家庭教育に＝馬居＝

家庭教育の分野に関しては共同参画に至るにはかなり距離があるので、男女共同参画を説明することからすべてが始まると考える。また、家庭教育の講習や研修など実際の現場では、逆に相手に応じてどれだけ多様なかたちで説くことができるか、戦略をどれだけ持つことができるかということを考えたい。

家庭教育への取り組み＝坂田＝

地域における家庭教育推進の要である地区家庭教育連絡推進協議会に女性を多く登用していくことが重要である。また、家庭教育プログラムの基礎的な内容を充実させるとともに、ジェンダーをはじめ、育児休暇制度、ファミリーフレンドリー企業など、今日的な内容を取り入れることが必要である。さらにこれからは、部局の連携や行政と民間のパートナーシップが大切な時代になる。

家庭教育プログラム＝山本＝

ジェンダーフリーや男女共同参画学習を進めるためには わかりやすい学習内容にしていくために子どもから高齢者までわかるような言葉遣いを心がける 対等な関係作りをしていく 「つかみ」と「中身」と「振り返り」という学習のシナリオを組み立てる、ことがポイントである。

家庭教育プログラムの広報 = 諸橋 =

家庭教育事業を考える上で広報は重要である。しかしイラストなどジェンダーの再生産につながる場合があるのでジェンダーに敏感でなければならない。今後メディアは大変重要な視点になってくるので批判的なメディアの読み取り能力、さらに子どもたちのメディアとのつきあい方などメディアリテラシーの視点を身につけることが必要である。

こうした報告をうけコーディネーター大日向雅美恵泉女学園大学教授は「男女共同参画について風圧はまだまだ厳しいが、多方面から根気強く戦っていったとき、私たちは新しい時代を若い世代に託せるのではないか」と男女共同参画の家庭教育を進めていくこと大切さを確認して締めくくった。

(2) 第2部『国立女性教育会館研究紀要「第5号」』入選論文報告会

「韓国の大学生の意識調査から見る性別役割分業の維持メカニズム」

李 璟 媛 (宮崎大学助教授)

「戦後女性公立小学校長第1号の登用と役割受容」 高野 良子 (日本女子大学博士課程)

「女性センター情報ライブラリーにおける地域ネットワークの現状」

木下みゆき (大阪府立女性総合センター)

「生産労働の外国人女性と高卒女子無業者」

筒井 美紀 (東京大学博士課程)

「肖像から偶像へ」

河野 智子 (お茶の水女子大学博士課程)

以上5本の報告のあと大沢真理東京大学教授・国立女性教育会館研究紀要委員会委員長から講評をいただいた。

(国立女性教育会館事業課主任研究員 中野 洋恵)



講評する大沢真理東京大学教授

遠隔情報発信事業「ヌエック公開シンポジウム」の発信について

昨年11月11日(日)に愛知県教育委員会との共催により行われた「平成13年度ヌエック公開シンポジウム」の模様の一部を、インターネットによる24時間ビデオ・オン・デマンド(VOD)方式及び文部科学省が行っている教育衛星通信ネットワーク(エル・ネット)により発信しました。これは「遠隔情報発信事業」によるもので、学習プログラムをより多くの方々に普及を図ることを目的として本年度より開始しているものです。平成14年度は、6月に実施する「子育てサークル交流支援研究協議会」を取り上げる予定にしています。

現在はまだ試行的なものですので、今後のより一層の向上を図るため、皆様のご質問・ご意見・ご感想等をヌエックまでお寄せいただければ幸いです。

〔インターネットによる配信〕

時期：平成13年12月11日から配信を開始しております。
ヌエックのホームページからご覧になれます。

〔エル・ネットによる放映〕

時期：平成14年2月6日(水) 14:00～14:30

(再放送：平成14年2月13日(水) 14:00～14:30)

ご希望をお寄せいただければ、更に再放送を実施したいと思います。
エル・ネットの受信機を設置してある全国の公民館等(約1,700カ所)でご覧になれます。



国際女性情報処理研修 / 女性情報国際フォーラム 事業の概要とその連携について

平成13年11月「国際女性情報処理研修」（11月11日～17日）と「女性情報国際フォーラム」（11月17日～18日）という新しい形の事業を実施した。以下にその事業の内容を紹介すると共に、2つの事業の連携について述べたい。

国際女性情報処理研修

1. これまでの経緯

国立女性教育会館では平成元年度より「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」を実施しており、昨年度で12回目を迎えた。この事業は政府開発援助（ODA）の一環として行ってきた事業であり、アジア太平洋地域の女性教育、女性情報等の専門家を招致し、情報処理技術の研修を通して、女性問題の意識啓発に関する分析・まとめの技術及び情報メディアの活用技術を習得するとともに、同地域の女性問題に関して相互理解を深め、女性情報ネットワーク化の促進を図ることを目的としたものであった。

平成元年度にESCAP加盟国を対象に4名の研修生を受け入れ、60日間の日程で始まったが、平成8年度より研修生が6名と増え、研修期間を40日間とした。対象国も平成5年度からは準加盟国も含めたアジア太平洋地域のODA対象国全域とした。12年度までの参加国は30カ国（バングラデシュ、ブータン、中国、インドネシア、イラン、韓国、マレーシア、モルジブ、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、トルコ、ベトナム、フィジー、キリバス、マーシャル諸島、パラオ、パプアニューギニア、西サモア、トンガ、ツバル、バヌアツ、マカオ、クック諸島、ニウエ、北マリアナ諸島、ウズベキスタン）研修生は延べ58名となった。

研修内容は情報技術の発展に沿った内容としてきた。当初はWordやExcelといったソフトの

使い方が中心であったが、近年はウェブページの作成など、情報発信の技術を取り入れてきた。情報処理技術の研修の他にも、「女性情報」「女性学」「女性と健康」「女性とメディア」「女性とリテラシー」といった女性問題に関する講義の時間を設けると共に、お茶会やホームビジットなど、地域の人々との交流や日本文化を体験するプログラムも含めてきた。

ここ数年、情報技術の発達はめざましく、それに対応する情報研修の見直しの必要性が問われてきており、研修期間、研修生数を含めたプログラムの変更を検討してきた。その結果、本年度より新たな形での情報処理技術の研修を行うこととなったものである。

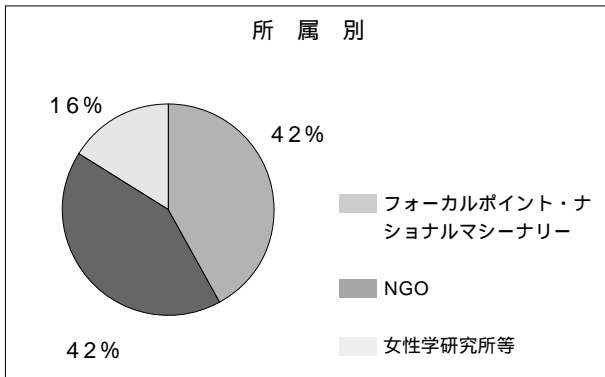
2. 今年度の研修の特徴

(1) 研修対象者の拡大

昨年度までの研修は、女性行政担当者を対象としていたが、今年度からはNGOからの参加者も対象にすると共に、研修生数を35名と増やし、女性団体、大学の研究所等に対しても直接募集を行った。その結果、29カ国、84名からの申込みがあった。また、日本からの研修生を募ったのも大きな特徴である。参加した研修生31名の内訳は[表1]のとおりである。

[表1]

所 属	人数
フォーカルポイント・ナショナルマシーナリー	13名
NGO	13名
女性学研究所等	5名
計	31名



(2) 研修期間の短縮

これまで40日間の研修期間を1週間と短縮した。研修期間が長ければ、関係機関の視察や女性問題関連の講義の時間などを多くプログラムに盛り込むことができるというメリットはあるが、長期間職場を離れることのできない場合は研修に参加することがむずかしく、できるだけ参加しやすい研修期間ということで1週間とした。

3. 研修プログラム

研修プログラムはWord、Excel、PowerPoint等の情報処理演習を中心に、十文字学園女子大学助教授 安達一寿氏による「オープン学習とTICT概要」、越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」所長 青木玲子氏による「女性情報」の講義の他に、当館の情報システムに関する講義を含む内容とした。17日には「女性情報国際フォーラム」の中で、グループプレゼンテーションを行うことになっており、15、16日はその準備を兼ねての研修となった。事前アンケートや地域を考慮して研修生を5つのグループに分け、グループごとにテーマ設定や発表の方法を考えてもらうようにした。



情報処理研修の様子

国際女性情報処理研修日程表

月 日	時 間	研 修 内 容
11/10(土)		来日
11/11(日)	AM PM	NWECに移動 NWEC着 オリエンテーション
11/12(月)	9:30~10:00 10:00~10:30 10:30~12:00 13:30~14:30 14:30~17:00	開講式 カリキュラム概要説明 講義「オープン学習とTICT概要」 講義「iLisSurfとWinetCASS」 演習：情報整理・分析 (Word)
11/13(火)	9:00~15:00 15:00~17:00	演習：情報整理・分析 (Word、Excel) 講義「女性と情報」
11/14(水)	9:00~17:00	演習：情報発信 (PowerPoint / Webページ作成)
11/15(木)	9:00~17:00	演習：グループ演習
11/16(金)	9:00~13:00 PM	演習：プレゼンテーション準備 お茶会
11/17(土)	10:30~12:20 13:30~17:00 17:20~17:35 18:00~19:30	女性情報国際フォーラム グループプレゼンテーション 分科会 閉講式 情報交換会
11/18(日)	10:00~10:30 10:30~12:30	分科会報告 国際シンポジウム 東京へ移動
11/19(月)		離日

女性情報国際フォーラム

1. テーマの設定

これまでの国際フォーラムでは女性問題についてグローバルな視点から話し合うことが目的であった。昨年度の女性学・ジェンダー研究国際フォーラムが、女性2000年会議を受けての内容であり、まとめの意味もあったと思う。今年度はひとつのテーマを設け、それについて基本的なところから議論したいということからプログラムの企画にあたった。

当館では1986年に「ESCAP婦人教育情報ネットワークシステムの開発に関するアジア太平洋地域セミナー」、1986年、1987年に「婦人教育情報国際セミナー」を開催し、女性と情報の課題について討議を行ってきたが、その後今まで「情報」をテーマとした国際会議等は開催

していない。情報環境のめまぐるしく変化する現在、女性と情報の課題について改めて考える機会にしたいとして、テーマを「女性情報」に決定した。

女性情報は女性関連施設はもちろん、研究所、図書館、行政機関、企業、NGO・NPO、ボランティア団体等、さまざまな立場から情報提供・収集・発信されるものである。それぞれの立場から女性情報の意味を再認識することが今年度のフォーラムの大きな狙いであった。

2. プログラム概要



グループプレゼンテーション

(1) グループプレゼンテーション

「国際女性情報処理研修」の研修生を5つのグループに分け、グループごとに「女性情報」に関連するテーマについての15分間のプレゼンテーションを行った。各グループのテーマは以下のとおりであった。

情報へのアクセスを阻害する要因

女性関連施設の役割

女性情報とICT

女性とICT

女性情報による女性のエンパワーメント

パワーポイントを使って、各国の状況や問題に触れながらの説明はわかりやすく、フォーラムの一般参加者にも好評であった。

(2) 分科会

第1分科会

「女性学・ジェンダー研究から女性情報を考える」

パネリスト：リン・ウェストブルック氏

テキサス女子大学図書館情報学部助教授

(アメリカ)

近江 美保氏

フォーラムよこはま情報グループ

コーディネーター：國信 潤子氏

愛知淑徳大学ジェンダー・女性学研究所所長

女性学は社会的な文脈の中で考えていかななくてはならない学問であり、そのために情報収集・提供のあり方も多岐に渡る必要があるとの指摘がなされた。日本とアメリカの女性学研究及び司書の状況の違いを認識した上で、研究機関、女性センター、公共図書館等との連携を考えていくことが重要であるとまとめられた。

第2分科会

「行政情報から男女共同参画社会を目指す」

パネリスト：アナベル・スレバーニー氏

レスター大学マスコミュニケーション研究センター

教授 (イギリス)

岩佐 哲也氏

内閣府男女共同参画局総括・企画調整担当補佐

堀越 久代氏

堀越地域計画研究室 / 在宅ワーク研究会代表

コーディネーター：小豆川 裕子氏

(株)ニッセイ基礎研究所主任研究員

UNDPやILOによる国際指標を通して、日本とイギリスの状況を明らかにすると共に、ICTと女性、行政をめぐる現状について意見交換を行った。女性問題を一元的に捉えず、行政と民間の情報交換・連携を行うことが男女共同参画社会実現のためには必要であるとした。

第3分科会

「女性情報の活用とネットワーキング」

パネリスト：チャット・ガルシア・ラミロ氏

APC女性ネットワークサポートプログラム研究

事業プロジェクトマネージャー(フィリピン)

松浦 さと子氏

摂南大学経営情報学部助教授

三沢 広美氏

(株)ウーマン・ジャパン・ドットコムサイトプロ

デューサー

コーディネーター：村松 泰子氏

東京学芸大学教育学部教授

ICTの発達によりNGO・NPO活動、e-business等の活動も広がってきた。各パネリストがその活動状況を述べると共に、女性のエンパワーメントとICTについて議論が行われた。必要な情報を見極め、電子ネットワークと並んで、人的ネットワークも強化していくことが大切で

あるとまとめられた。

(3) 分科会報告

各分科会のコーディネーターにより、前日の分科会で話し合われた結果について10分程度の報告があった。

(4) 国際シンポジウム

ウェストブルック氏、スレバーニー氏、ラミロ氏の3名の海外専門家をパネリストに、武蔵大学社会学部教授の小玉美意子氏をコーディネーターとして、「女性情報の新たな広がりを探る」というテーマで国際シンポジウムを開催した。

ウェストブルック氏は、女性と情報に関する研究の必要性を述べ、研究が我々の進むべき方向の道標となり、あるときは活動のための資金



国際シンポジウム

調達ツールにもなり得るとした。スレバーニー氏はトップダウンでなく、下からのグローバリゼーションを考えることが必要であり、そこからローカル・グローバル両面での新たな情報ネットワークが形成されると述べた。ラミロ氏は女性が新しいコミュニケーション技術にアクセスし、その空間に入れるような環境がなければ、ICTは女性にとってマイナスに働くことを指摘した。

ICTとジェンダーギャップ、情報教育の現状等についての質問の後、小玉氏が女性関連施設が研究、行政、企業、さらには国際的にも女性の情報を結ぶ役割を果たすことができるとまとめた。

2つの事業の連携について

今年度の大きな特徴として、2つの事業を連

携させた点があげられる。



研修生とフォーラム参加者

(1) 「国際女性情報処理研修」の面から

研修期間の短縮により、カンントリーレポートの発表や、ワークショップの時間がとれないが、個々で行う情報処理演習だけでなく、グループによる課題を設定することで、研修生相互の意見交換と実習の意味を持つことが目的であり、その成果を発表する場として「グループプレゼンテーション」を行った。

(2) 「女性情報国際フォーラム」の面から

「国際女性情報処理研修」研修生は、アジア太平洋地域の行政、NGOの情報担当者であり、その事例発表として「グループプレゼンテーション」を行うと共に、海外からの参加者として、分科会・全体会・シンポジウムに出席した。

「グループプレゼンテーション」はフォーラムの一般参加者からも、研修生自身からも好評であり、かつ、フォーラム参加者と研修生の意見交換や交流も活発に行われた。こうした結果からも2つの事業を連携した意義はあったと言える。

「女性情報国際フォーラム」は3年計画で実施される予定であり、今後も「国際女性情報処理研修」との連携を考えるならば、2つの事業の企画を併せて検討していきたい。

(国立女性教育会館情報交流課専門職員

青木一恵)

女性関連施設等情報ネットワーク研究協議会

2001年12月12日から3日間、今年で3回目となる女性関連施設等情報ネットワーク研究協議会が開催されました。

これは、女性情報等についてインターネットで情報発信を現在行なっているか、行なう予定のある施設の情報担当者が、男女共同参画社会における女性関連施設等の情報活用方法・情報機能の連携のあり方等について研究協議を行い、各施設・職員間のネットワーク形成の推進を図るべく、毎年12月武蔵嵐山の冬が深まりつつある中、行われるものです。

今年は、去年の51名に比べ参加者も71名（女性56名、男性15名）と増えました。

埼玉県にできる新しい女性センター

協議会の最初には、2002年4月オープンの埼玉県男女共同参画推進センターの情報システムについての事例報告が財団法人埼玉県民活動総合センター女性センター開設準備室室長の佐藤あけみ氏からありました。

埼玉県は女性関連施設の建設が後発になったことのメリットを生かし、「情報システムを基本理念具体化の手段として位置づけ、情報システムを活用した事業展開に積極的に取り組み、情報技術を最大限活用した情報システムの構築」を目指しています。

情報受信機能、相談機能、活動支援機能、コーディネート機能、プロデュース機能を考慮した情報システムを構築し、職員の情報利用・活用能力を向上させ、デジタルデバイドを防ぐために端末の開放や気軽に利用できる環境を整備、操作性を意識したシステムの導入、人的ネットワークを拡大させるデータベースの構築など、その隅々まで「情報システム」を活かした事業を展開していく予定です。

又エックからの事業報告

埼玉県からの新しいセンターの報告の後、又エックからの事業報告でした。

WinetCASSや施設職員のための仕事に直結したICT（情報コミュニケーション技術）が学習でき、さらにより多くの人と情報が共有できるポータルサイト「TICT」について、また、インターネットや衛星通信システムによる遠隔情報発信事業、現在作成途中の女性教育シソーラスなどの事業について報告をしました。

実習・体験コーナー

又エックからの事業報告の後、女性関連施設データベースのデータ登録実習とTICTや女性学・ジェンダー論関連科目データベース、統計データベース等を体験、日頃利用しているの疑問、質問を職員に聞いたり、お互いに情報交換したりとにぎやかな30分でした。



熱心にパソコンに向かう参加者

研究討議「いま、情報担当者のできること」

自分たちの施設は地域から「頼りにされる」施設かどうかという切り口で、自施設の現状、問題点を考え、どうしたらよいか、何が必要かについて討議をしました。

まず、コーディネーターの辻本忍氏（名古屋市女性会館）から問題提起がありました。

情報収集に関しては、収集、蓄積された資料が役に立っているか、使いやすい配架か、女性情報の動きに敏感に集めているか、情報提供に関しては、女性センター非利用者へどのようにサービスをするか、目的意識のある人にとってどのようなサービスをしているか、継続して利用している人にとってどのような心配りをしているか、

レファレンスに関しては、持っていなくても何らかの手がかりを渡せるか、レファレンスにおける専門性は常に試されている、カウンセリング能力、インタビューテクニックなど常に向上できるようなものを共有したい、以上多くの問題提起を踏まえて、討議に移りました。

情報提供に関しては、小規模施設で図書をそろえる予算も場所も十分に確保できない場合、どうしたら満足のいく情報提供ができるかという問題が投げかけられ、バンクーバーのYWCAの事例として、壁にいろいろなパンフレット、ちらしを掲示、そこにいけばその地域の情報が何でもわかってしまうという方法やあるいは、地の利を活かして「パートバンク」と連携、市民のニーズの高い求人情報を提供している事例が挙げられました。また、地元図書館からの団体貸出を有効に利用している施設もありました。

また、地域の他の施設、行政機関から講師紹介で「頼りにされる」ことの多い女性センターですが、講師情報の収集方法として、他の女性センターなどから送られてくる広報誌からコピーを取ってファイルしておき、講師紹介に役立っている事例が報告されました。

最後には、情報がほしいなら自分から発信しないと集まってこない、情報収集のためにも情報発信能力を身につけることが大切とのまとめがありました。

講義「アンケートの設計から、集計・分析まで」

次に、株式会社生活構造研究所主任研究員の半田幸子氏より、アンケートの設計から調査結果の集計、分析までの基本的な事柄を実践的に講義していただきました。

施設職員としてアンケートというのは、実施事業について参加者の意見を集めたり、利用者の声をまとめたりする際の日常的な業務ですが、今回は、本格的にアンケートについて研修を受けスキルアップになるようこのコマを設けました。

研究討議「ネットワークパワーアップ」

研究討議「いま、情報担当者にとできること」を踏まえ、ここではネットワークに何ができるかを討議しました（コーディネーターは須田和氏 兵庫県立女性センター）。

相互貸出制度など地域の図書館とのネットワークは、女性センターでも取り入れられていますが、あまりPRが行き届かず利用が少ない、図書館より立地条件がよいと「返却窓口」になりかねない、規模の大きい地元図書館と連携する場合に、女性センターとしての特徴をどう打ち出すかなど、いくつかの問題点が挙げられました。

また、ネット研のメーリングリストの利用状況についても報告されました。前回のネット研の直前から始まり、日頃仕事上での質問をやりとりしているものですが、この時点で70通以上のやりとりがあり、利用した方からは、気軽に質問できて、瞬時に答えが返ってくるという利点が述べられました。ちなみにこの2月現在で、メンバーは80人以上になり、そのやり取りも130通を超えるまでになりました。

グループワーク「とことんホームページ井戸端会議」

2日目の最後のコマでは、10のグループに分かれ、各施設のホームページをジェンダーの視点、構成、使いやすさ、美しさなどの観点から評価、各グループ推薦のホームページを報告しあい、自分たちのセンターのホームページ作成の参考としました。

まず、コーディネーターの青木玲子氏（越谷市男女共同参画支援センター）より、ホームページの評価の観点について簡単な講義がありました。その講義を受け「インターネット」はどのような人がどういう背景で作成しているのかわからないので、信憑性、信頼性を見るためにもHP作成の責任者が記載されているか、作成者の意図が明記されているか、情報源は確かか、情報の新しさ、有用性は？使い勝手はどうだろうか？その他、十分に魅力的かどうか美しいかどうか、などの観点から、各グループ毎にHPを見ていきました。

それぞれ報告の中ではその構成のわかりやすいところ、色使いやキャラクター等が固定観念に縛られておらず、ジェンダー視点を持って作

成されているところ、人に「見たい」と思わせる企画、見たいところがすぐ探し出せる工夫を行なっているところなど10あまりのホームページが挙げられました。

その後、全体でHP更新作業について、HPでのキャラクター使用について注意したいところ、HP作成をセンター以外へ委託したり、全く別の部署で作成する時の利点、注意点、職員全員の目でチェックすることの重要性などが議論されました。

最終日の協議

まず、12、13日夜に行なわれた「自由研究」の報告が各グループからありました。

「広報誌の企画方法教えてください!!」「非常勤のみんなどうぞ!!」「女性センターの違いとは?(財団か直営か、講座は有料か無料かなど)」「小規模センターの課題について」などいろいろなテーマで、討議を深めた様子が報告されました。



夜遅くまで討議は続く

その後、グループに分かれて「センターが地域に向け力をつけていくにはどうすればいいのか」「今後ネット研に何ができるのか」の2つのテーマについて協議を行ないました。

「地域に向けて力をつけていくために」はまず、住民にその存在、何をやっているところなのか知ってもらうにはどうしたら良いかというところから出発、そのために、広報誌の内容やその配布場所、広報誌を読んでもらうためにどう工夫したらよいか、全体の人員が少ないなかそれを支える職員の体制をどう確保するか、どうアイデアを募っていくか、また、新規利用者だけでなくリピーターをどう満足させるか、

住民のニーズをどうやって把握していくのかなどの点が挙げられました。

「今後ネット研に何ができるのか」については、講師情報や講座のサンプルプログラム、海外の講師情報を希望する声があり、そのためにメーリングリストや女性関連施設DBの有効活用にも期待がかけられます。さらに、日々のインターネットを通じての情報交換の必要性もさることながら、年に1度顔を合わせるこの協議会の重要性も再確認されました。



「情報を発信するところに情報は集まる」

では、最後に参加者の皆さんがこの協議会につけたキーワードを紹介して、筆を置きたいと思います。

「行動につながる情報」「交流」「蓄積」「惜しみなく発信する情報」「リフレッシュ」「face to face」「エンパワーメント」「個人のパワーアップが未来を創る」「ネット研は未来を開く」「情報源の共有」「職員の相談所」「共有」「自己確認」「顔の見えるネットワーク」「広範囲での情報収集、発見」「ふれあい」「情報のつながり」「連動」「協働」「元気」「安心、信頼できるあったかい情報源」「ネット研はありがたい」「ほっと」「情報との出会いは人との出会い」「目的と課題の共有」「あなたの情報は私のもの、私の情報はあなたのもの」「触覚」「シンクタンク」「楽しくうれしい情報発信」「give and take and give」「乗り遅れるな、やるしかない」「ヘルプ」「情報の吸収」「知恵袋」「インターネットでつながっている。けれどもそれは人でつながっている」「日々精進」「心強さ」「自由」「クリエイティブな自己責任」「宝の山」……。

(国立女性教育会館情報交流課専門職員

宮沢 紀美)

新しくなった女性学・ジェンダー論関連科目データベース

国立女性教育会館では、高等教育機関における女性学関連科目について昭和58年から全国調査を行ってきました。このたび平成12(2000)年度に開講した科目について調査を行いました。

平成13年12月1日には、この結果を「女性学・ジェンダー論関連科目データベース」として会館ホームページから公開しましたのでご紹介します。WinetCASSのデータベースから選んでご利用ください。

1. どんなことが調べられるのか

女性学・ジェンダー論関連科目データベースを使うと大学・短大でどのような女性学関連科目が開講されているか調べることができます。

例えばあの先生の科目が知りたい、この大学ではどんな科目が開講されているのか、近くで開講している科目が知りたい、このテーマの科目にはどんなものがあるのかといった疑問が解決します。

女性関連施設の事業で大学の先生を講師に依頼する時など参考にしていただければ幸いです。

2. 検索の種類

(1) シンプル検索

大学名、担当教員名、科目名、科目内容等か

ら検索できます。キーワードを複数入れるとAND検索します。

(2) 丁寧検索

開講年(現在のところ2000年度のみ)、担当教員名、大学名、大学種別、所在地・開講地、科目名、科目内容等から検索できます。

複数キーワード入力の場合、同一項目内はOR、項目間はAND検索となります。詳しくはデータベースのトップページから利用方法のリンクをご覧ください。

(3) データの更新

2001年度以降の科目については、各高等教育機関の学務担当者が自機関の科目をウェブの画面上で更新する方法を取っています。これによりデータが追加されていく予定です。

(4) 女性情報CASSへの組み込み

平成14年3月から女性学・ジェンダー論関連科目データベースも、女性情報CASSの検索対象として横断検索できるようになりました。合わせてご利用ください。

(国立女性教育会館情報交流課専門職員

合田 美恵子)

女性学・ジェンダー論関連科目データベース

女性学・ジェンダー論関連科目データベース [丁寧検索]

検索条件を一つ以上入れて検索

検索開始 クリア

開講年度: 指定なし 2000年度

担当教員:

氏名: 姓: 名:

姓カナ: 名カナ:

性別: 女性 男性

所属職階級: 教授 助教授 講師 助手 非常勤講師

開講大学:

大学名:

大学区分: 四年制 短大 大学短大 その他

共学 女子のみ

国立 公立 私立 その他

本学所在地・開講地:

北海道・東北 北海道

東海圏 近畿圏 关東圏 北陸圏

丁寧検索

シンプル検索

女性学・ジェンダー論関連科目データベース

女性学・ジェンダー論関連科目データベース [シンプル検索]

キーワードを入力して検索

キーワード:

検索開始 クリア

初心者向けの丁寧検索はこちら

当ページは、古いバージョンのブラウザの動作、正しく表示されないことがあります。
Internet Explorer 4.01、Netscape Communicator 4.03以降のブラウザをお使い下さい。

TICTサイトの更新

「女性関連施設職員のためのTICT習得サポートプロジェクト」の一環として、第8号12-13頁で紹介したTICT（ティクト）サイトに新しいコンテンツが増え、英語版も公開しました。ますます使えるサイトに成長し続けています。

1. 英語版の公開

11月9日に公開しました。又エックのホームページにあるENGLISH PAGEから英語版ホームページのTICTの見出しを選んで、ご覧ください。

英語版サイトは単に日本語版を英訳したのではなく、特に Communication のページは「国際女性情報処理研修」や「女性情報国際フォーラム」（本号6-9頁参照）の参加者に交流の場を提供するものとなっています。

2. 日本語版リニューアル

12月12日には、若葉コーナーと女性情報に新しいコンテンツが加わりました。「女性関連施設等情報ネットワーク研究協議会」（本号10-12頁参照）の開催期間中でしたので、参加した

皆さんにはいち早くご紹介することができました。

(1) 若葉コーナー

「ティクトでネットワーク」「What's new!」「プロジェクトチームメンバー」などのコンテンツに一新しました。

(2) 女性情報（I = Information）

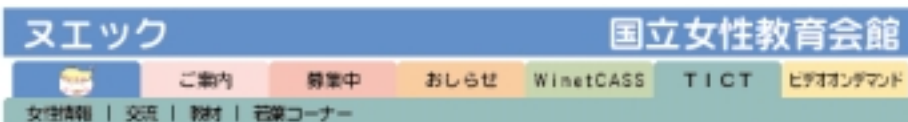
「女性情報レファレンス事例集」「仕事に役立つエクセルファイル」を加えました。

この2つはまさに実践編。女性関連施設の情報担当者がすぐに参考にできるレファレンス事例集はひとつの事例についてヒアリングのポイントから参考資料・提供情報といった項目の他にフィードバックを書き込めるようになっています。日々のさまざまな集計に悩んでいる職員の方はエクセルファイルのサンプル。是非このページを見てご活用ください。

この他、ホームページの作り方などの教材も追加される予定です。

（国立女性教育会館情報交流課専門職員

合田 美恵子）



日本語版

若葉コーナー



- [ティクトでネットワーク](#) *New*
- [プロジェクトチームメンバー](#) *New*
- [What's new!](#) *New*
- [サポートメンバーまたは疑問](#) *New*

英語版

女性情報 (Information)

- [女性情報リンク集](#)
- [女性情報レファレンス事例集](#) *New*
- [仕事に役立つエクセルファイル](#) *New*

交流 (Comm)

- [若葉広場](#)
- ・ [ご意見](#)
- ・ [フリート](#)



『女性情報シソーラス』公開にあたって

- シソーラスの共有とデータベース連携 -

岐阜大学教育学部助教授 加藤直樹

1. シソーラスとデータベース

シソーラスとは、索引語に使用される用語の統一を図り、検索を容易に支援することを主な目的として開発されてきた用語集である。従来、開発されたシソーラスの情報は印刷媒体に固定されて関係者に提供され、各種データベースを管理・検索する専門家の間で主に使用されてきた。

しかし、現在のネットワークの普及は直接データベースにアクセスし検索利用する対象者を急増させており、一般利用者への検索を支援する必要が生じている。このため、データベースに使用されているシソーラスを公開し、これを手がかりとして検索可能なシステムが必要となる。

今回、国立女性教育会館では既存のデータベースシステム（Winet CASS）にシソーラス検索機能を付加するための開発が進められ、2002年3月末公開の予定である。

このデータベース連携機能は既存のデータベースと関連しながら索引語を包括的に管理可能となるように設計されており、既存データベースに対しても柔軟に対応できるように配慮されている。

2. 女性情報シソーラス開発の経緯

国立女性教育会館では1984年より「女性」及び「家族」の領域を対象としてシソーラスの開発を進めてきたが、開発された『女性情報シソーラス』（第二版までの名称は『婦人教育シソーラス』）は、会館の所有する各種情報をデータベース化する際に使用される索引語付与及び検索に使用され、関連情報を整理する際の枠組みとして機能してきた。

第二版が1990年に出されたあと改訂が待たれていたが、2000年4月より二年計画で「女性教育シソーラス（仮称）調査研究会」（筆者は委員のメンバー）による改定作業が進められ、

2002年3月末完成し、会館のホームページでPDF形式で公開される予定である。また、このシソーラスはデータベース化され、関連機関で共有可能とする機能を新たに整備している。

3. シソーラスの共有

シソーラスの整備作業は多くの時間と労力を必要とするものであるが、現在のネットワーク及びデータベースの技術を併用することで、今後の維持・利用に対して次のような効果が期待される。

時代の変化に柔軟に対応する用語の管理
関連機関の使用索引語の共有
関連機関のデータベース横断検索

すなわち、関連機関の所有する情報整理に基本的な枠組みを提供し、各機関で個別に管理されてきた情報を有機的に連携させることで情報量を大幅に増加させ、利用者へのサービスを飛躍的に向上させることが可能となる。さらに、このサービスを通して関連機関の活動そのものの連携を強化することが期待される。

情報通信ネットワークは、まさに人や組織のネットワークを高度化し強化するための基盤として機能させることが重要であろう。

シソーラスは、分類、用語間の関連構造等の情報を総体としてデータベース化することで、シソーラスそのものをネットワーク経由で共有することが可能となる。

ネットワークとくにWeb経由でシソーラスデータベースにアクセス可能とすることで、編集を協同作業へと組織することが容易となり、遠隔地の編集協力者を組織することで時代の変化に柔軟に対応するシソーラスの管理・提供が可能となる。

このようなシステムは、すでにシソーラス編集システムとして開発され、女性情報シソーラスの改訂作業において活用されはじめている。



シソーラス編集システム画面

図は開発されたシソーラスの編集と詳細表示画面であるが、インターネット経由で必要事項を記入することで現在運用されているシソーラスに編集結果を随時反映させることができる。

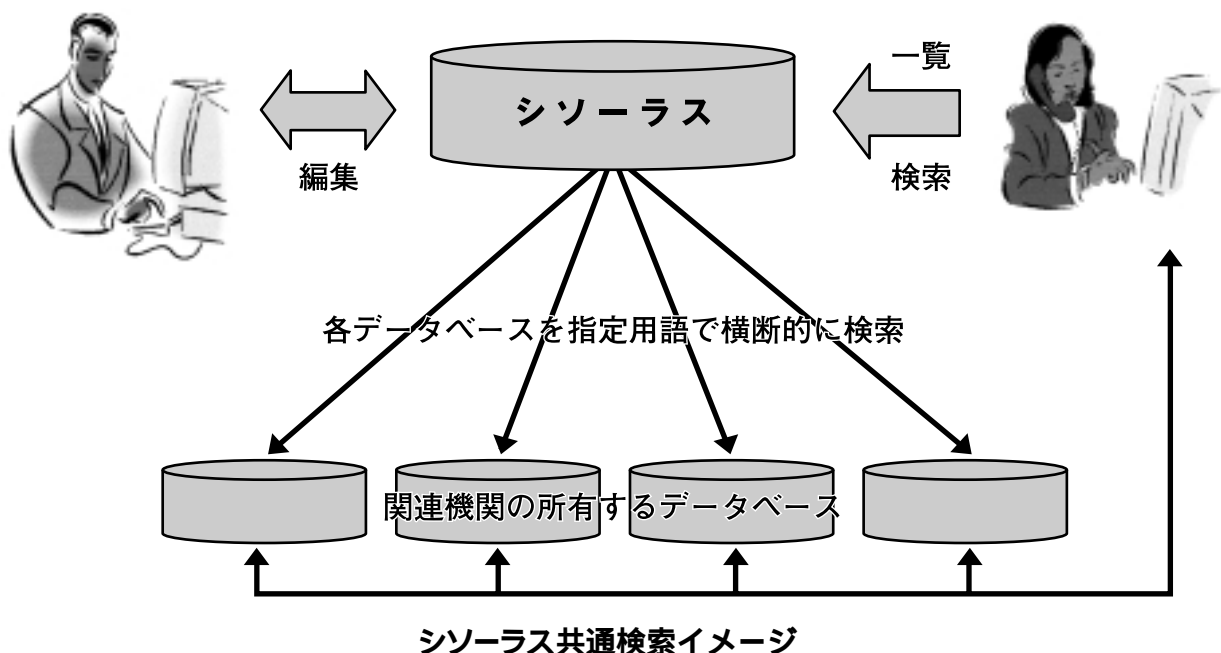
このような編集システムの利用は、協同作業を通してシソーラスを複数の関連機関で共有するための基礎的環境を提供することとなり、作業を通して各機関の関係強化につながる事が期待される。

4. 組織間の情報共有

データベースと連携したシソーラス検索機能は、国立女性教育会館のみにとどまらず全国の関連データベースを横断的に検索するための総合的なシステム構築をも実現する可能性を有している。既存のデータベースシステムからシソーラス検索機能を分離させたことで、全国の関連機関の提供するデータベースとの連携をインターネット経由で実現させることができることになる。

これは全国に点在する女性関連のデータベースへのアクセスを容易にするとともに、組織間の業務的な連携をも強化し、各機関の特色を活かしながら一体として活動を展開するための基盤となりうるものと位置づけることができる。

情報通信ネットワークは、個人の情報へのアクセスを容易にするとともに、情報共有により組織間の連携を強化し、新たな連携体制を構築するためにも機能し始めており、今回の開発がその一助となることを期待するものである。



女性・家族関係雑誌記事インデックス

当会館女性教育情報センター所蔵の和雑誌のうち、2001年度後半にデータベース化された記事・論文の中から、女性の学習・研究に役立つものを雑誌名の五十音順に掲載しています。

データベース化の遅れを解消するために、1999年度より新しいものを先に入力し、一部保留して順次遡及で入れていくことにいたしました。号数の古いものが収録されているのはそのためです。当会館ホームページ(<http://www.nwec.go.jp/>)で提供している女性情報検索システムWinetCASSの文献情報データベースでは全データが検索できますので、併せて御利用下さい。

< 凡例 >

雑誌名[巻号](発行年月日)

特集タイトル

No. 記事タイトル/執筆者名(ページ)

あごら [268] (2001.07)

特集：憲法を守り抜く人を参議院に出そう

1. 「公開討論会」があばいた「民主主義」の成熟度 / 田中喜美子 (p.2-3)
2. 公開討論会：参院選東京選挙区立候補予定者に女性政策を聴く会/緒方やすお [ほか] (p.4-12)
3. 参議院選に立つ<あごらメイト>：選挙区4, 比例区3人, みんな平和憲法を守りぬく方です / 内田洵子 [ほか] (p.12-19)

あごら [269] (2001.09)

特集：参院選をたたかって

4. 大激戦を競り負けて / 内田洵子, 鈴木勢子 (p.2-7)
5. 女性パワーが逆風を追い風に变えた! / 岡崎トミ子, 大槻壽子 (p.8-11)
6. 完敗しました。だからこそたたかいは続けます。 / 岡崎宏美, 松永宏美 (p.12-15)
7. 「倒れてもやまず」闘い抜きます / 栗原君子, 室本けい子 (p.16-19)
8. 冒険の道を選択 / 黒岩秩子, 斎藤千代 (p.20-39)
9. 平和, 女性, 人権, 環境のためのたたかいは, やめません / 清水澄子, 津和慶子 (p.40-47)
10. かく戦えり。されど…… / 竹村泰子, 中島和子 (p.48-51)
11. 資料：目で見える女性の状況(1)：政策・方針決定過程への女性の参画(1) (p.52-53)

あごら [270] (2001.10)

12. めじゃーなりすととのめ：マスメディアと個人の揺らぎの間で / 竹信三恵子 (p.50-51)

あごら [271] (2001.11)

13. めじゃーなりすととのめ：人間らしく働きたい / 中村正子 (p.74-75)

あごら [272] (2001.12)

特集：テロと日本の危機

14. あごら緊急学習会報告(3)：アフガニスタン難民と現地で暮らして / 永井真理 (p.2-27)
15. あごら緊急学習会報告(4)：イスラーム世界と国際的テロリスト / 酒井啓子 (p.28-67)

新しい家族 [39] (2001.10)

16. 養子を迎えるという選択：夫婦関係と子育て観に関する調査(第72回養子と里親を考える会講述録・131) / 富田庸子 (p.2-16)
17. 発達心理学における家族研究の動向(第72回養子と里親を考える会講述録・132) / 古澤頼雄 (p.17-30)
18. アメリカ合衆国のAdoption and Safe Families Act of 1997(養子縁組および安全家庭法)：養子縁組, 里親養育を中心とした児童保護システム(第73回養子と里親を考える会講述録・133) / マーク・ハーデン, 桐野由美子 (p.36-56)
19. 国際養子における行政・裁判実務の諸問題：国籍・在留資格・戸籍(第74回養子と里親を考える会講述録・134) / 奥田安弘 (p.56-80)

アディクションと家族 [18-1] (2001.03)

特集：家族を再定義する(第11回日本嗜癖行動学会)

20. シンポジウム：母と娘の危険な関係 / トリイ・ヘイデン, 斎藤学 (p.15-35)
21. ワークショップ：少年暴力と家族 / トリイ・ヘイデン, 斎藤学 (p.36-51)
22. 性的被害とその影響：大阪コミュニティ調査の統計分析 / 石川義之 (p.69-76)
23. 地方都市における摂食障害グループのあり方の模索 / 香山雪彦 (p.79-85)
24. 責任をとること：学校でのいじめとからかいに取り組む / アリス・モーガン, 木村香子, 小森康永訳 (p.88-101)
25. 韓国における女性に対する暴力関連三法までの動向 / 波田あい子 (p.102-115)

- アクションと家族 [18-2] (2001.06)
26. この人とネットワーク：女性による女性のための愛と平和の家：大津恵子さん / 栗林佐知(p.143-150)

特集：社会的ひきこもり

27. 斎藤環さんに聞く：<ひきこもり>から何が見えるか / 上野千鶴子(p.153-173)
28. 「だめ連」は「ひきこもり」と出会えたか？ / 神長恒一[ほか](p.174-181)
29. 男らしさと「ひきこもり」 / 斎藤学(p.182-194)
30. 性的嗜癖の治療：性犯罪からセックス嗜癖まで / 妹尾栄一(p.221-229)
31. 性的被害とその影響：大阪コミュニティ調査のインタビュー分析 / 村本邦子(p.230-236)

アクションと家族 [18-3] (2001.09)

特集：DV防止法をめぐって

32. この人とネットワーク：ドメスティック・バイオレンスのない地域づくりを目指して：ナンシー・ライアンさん / 堂平美樹(p.287-292)
33. 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」と諸外国のDV対応 / 戒能民江(p.295-304)
34. DV防止法の課題と活用 / 長谷川京子(p.305-314)
35. 騙されずにバタラー(DV加害者)を見極められませんか？：アメリカの教訓 / 沼崎一郎(p.315-329)
36. 座談会：DV防止法をめぐって：介入の法的裏づけと専門家の役割：事例を通して見る問題点 / 平川和子[ほか](p.330-346)
37. 新潟におけるしへき医療の可能性 / 中垣内正和(p.373-379)
38. 摂食障害をおこしたアメリカ人女性への心理援助：異文化における過剰適応の破綻とジェンダー / 木戸晶(p.380-386)

イメージ&ジェンダー [2] (2001.04)

39. 「ゴーマニズム宣言」と「従軍慰安婦」 / 若菜みどり(p.4-6)
40. 「揺れる女/揺らぐイメージ」展をめぐって：総括と反響 / 小勝禮子(p.7-8)
41. イギリス・フェミニズム演劇とパム・ジェムス作 'Queen Christina' : 翻訳から上演台本作成まで / 芦沢みどり(p.8-9)
42. 王妃の肖像 / 鈴木杜幾子(p.9-10)
43. 女流美術家奉公隊：太平洋戦争下における女性美術家の活動と作品をめぐって / 吉良智子(p.10-11)
44. 海外研修報告 / 千野香織(p.11-12)
45. チカーナ壁画家ジュディス・パカの作品とフェミニズムに関する考察 / 大橋敏江(p.14-34)
46. マチスに関する一つの試論：マチス、モダニズム、

女性表象 / 天野知香(p.35-54)

47. ポスターとジェンダー：消費社会における女性表象の意味 / 渡辺正孝(p.55-66)
48. トピックス：女神からピンナップへ：インドのカレンダー・アートにおける女性アイコン / パトリシア・ウベロイ, 若菜みどり(p.67-69)

インパクション [126] (2001.08)

特集：石原慎太郎批判

49. 石原慎太郎のマチズモ / 細谷実(p.96-97)
50. アート・アクティヴィズム(35)：「史実」としての戦争画・歴史画：『新しい歴史教科書』の挿絵イメージ / 北原恵(p.120-129)
51. 今月のフェミ的(15)：女子の陰部をどうするつもり?!：「つくる会」教科書記述批判をめぐるフェミ的困難 / 水島希(p.160-161)
52. インパクト・レヴュー Politics & Action(運動情報)：「女性国際戦犯法廷」番組改ざんを問う：日本のメディアは何を恐れているのか?：NHK提訴：始まったばかりのメディアへの問いかけ / 野口弥(p.167-170)
53. インパクト・レヴュー Politics & Action(運動情報)：米軍基地の存在そのものを問う：また起こった米兵の性暴力犯罪と「日米地位協定改定」要求 / 国富建治(p.170-172)

インパクション [127] (2001.10)

54. アート・アクティヴィズム(36)：アイデンティティ・クライシス革命を起こす映像表現：リム デズリ監督とクィアの視点 / 北原恵(p.194-206)
55. 同一価値労働同一賃金の実現に向けて：男女賃金差別を問う京ガス裁判が勝訴 / 屋嘉比ふみ子(p.231-234)

インパクション [128] (2001.12)

56. 米兵強かん事件報道と裁判 / 浅野健一(p.1-4)

特集：アフガニスタン侵略とアクティヴィズム：反グローバル化のゆくえ

57. メディアの操作に抗する新しい反戦運動 / 武藤一羊[ほか](p.6-35)
58. 国家・暴力・フェミニズム：軍隊における男女平等参画を巡って / 加納実紀代(p.52-64)
59. アート・アクティヴィズム(37)：不在の吐息を伝える：井上廣子インタビュー / 北原恵(p.140-153)

大阪国際女子大学・短期大学女性学研究所年報 [3] (2001.03)

60. 専門職女性のキャリア形成に関する調査 / 小牧一裕(p.3-8)
61. 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する

- 調査2 / 西岡敦子(p.9-17)
62. 大阪国際女子大学・短期大学セクシュアル・ハラ
スメントに関するガイドライン(p.19-26)

女たちの21世紀 [27] (2001.08)

特集：女性と労働：どう変わる，どう変える

63. 構造改革のなかの女性労働：雇用の流動化・多様
化・低賃金 / 中野麻美(p.4-9)
64. 「均等待遇」という公正：中野区非常勤職員賃金
差別裁判をとおして / 平川景子(p.10-12)
65. 介護(サービス)労働における性別役割と女性：介
護保険法がもたらしたものと / 春原千咲(p.13-15)
66. アンペイドワークの測定・評価・政策化に関する
世界の動き / 加藤登紀子(p.16-18)
67. 翻訳資料：ILOレポートより：パートタイム労働
：解決策か，落とし穴か？ / 本山央子まとめ，
秋元由梨訳(p.19-22)
68. 総合職のその後：女性総合職が特別な存在でなく
なる日 / 細田咲江(p.23-25)
69. 欧州のワークシェアリングが問いかけるもの：グ
ローバリズムの中の第3の道目指して / 竹信三恵
子(p.26-31)
70. 経済危機がタイの女性労働者に与えた影響：イン
フォーマル・セクターで働く女性の増大 / 山下里
愛(p.32-34)
71. グローバル化という災い：フィリピンの女性労働
者への影響 / リア・ヴィーダ・デロス・サント
ス；滝知則訳(p.35-38)
72. IT教育と女性の職業：IT講習 それから何をす
るの / 青木玲子(p.39-41)
< 私たちの対抗策 >
73. 均等待遇アクション2003が目指すもの / 酒井和子
(p.42-44)
74. 男性中心の労働運動を変革するために：女性ユニ
オン / 伊藤みどり(p.45-47)
75. 厚生労働省の外郭団体(財)21世紀職業財団におけ
るパートタイマーの処遇のおかしさ / 21世紀職業
財団労働組合(p.48-50)
< オルタナティブな働き方をめざして >
76. レストラン：自分たちの手で働く場を：DV被害
者女性たちの試み / 野本律子(p.51-52)
77. ケア・センターやわらぎ：たまたま性から仕組み
へ：ケア・センターを始める / 石川治江(p.52-53)
78. 三冬社：雇ってくれるところが無かったので作っ
た会社だけれど / 野中文江(p.53-54)
79. セックスグッズ・ショップ：女性に心地よいエロ
スを求めて / 北原みのり(p.54-55)
80. 印刷ワーカーズ・パビエの実践 / 渡辺章子(p.56-
58)
81. コミュニティ・レストラン：地域のしごと場づく
りにむけてのNPOの起業 / 世古一穂(p.59-61)
82. 大学非常勤講師問題とNPO：現場からの報告 /
日下部貢一(p.61-64)
83. 資料：女性2000年会議 日本NGOレポートより：

女性と経済(p.65-69)

84. 資料：最優先で批准してほしいILO条約(p.70-72)
85. 資料：パートタイム労働に関するEU枠組み協定
(p.73-75)
86. 男性との対話(20)：女性労働のジェンダー差別：
日本の能力主義による間接差別をなくし，「男も
女も，仕事も家事も」へ / 熊沢誠，松井やより
(p.76-81)
87. 私が語るフェミニズム(3)：働く女性へのメッセ
ージ：弁護士として / 中野麻美(p.82-85)
88. 私が語るフェミニズム(4)：メディアと女性：テ
レビ・ジャーナリストとして / 池田恵理子(p.86-
90)
89. 公開講座「国家主義とジェンダー」(3)：天皇制
と女性 / 鈴木裕子(p.91-96)

女たちの21世紀 [28] (2001.10)

特集：戦争国家への道：私たちの抵抗

90. 戦争と右傾化：戦争国家になった日本：世界の女
性たちと反戦の行動を：米国テロ報復戦争に乗じ
る国家主義に抵抗しよう / 松井やより(p.4-10)
91. 座談会：戦争と右傾化：小泉政権は日本をどこ
へ？：グローバル化とナショナリズム / 竹信三恵
子 [ほか] (p.12-19)
92. インタビュー：アジアの女性は日本の右傾化をど
う見るか：中国：アジアがまとまって行動すれば
右翼に不利な状況をつくれる：孫歌さん / 松井や
より(p.20-24)
93. インタビュー：アジアの女性は日本の右傾化をど
う見るか：韓国：憎悪をあおる感情的な対応でな
く連帯を：李貞玉さん(p.24-25)
94. 靖国問題が問うもの：靖国神社公式参拝の問題
性 / 高橋喜久江(p.26-27)
95. 靖国問題が問うもの：いま，なぜ靖国神社合祀拒
否か：合祀取り下げを求める韓国人遺児たち / 西
川重則(p.28-29)
< 教育を私たちの手に >
96. 「つくる会」歴史教科書採択阻止運動：「あの教
科書は子どもたちに渡せない」と市民がたちあが
った：東京での新聞への意見広告のとりくみ / 大
山早苗(p.30-32)
97. 「つくる会」歴史教科書採択阻止運動：杉並：人
間のくさり：つなぎ合う手を信じて / 富沢よし子
(p.32-34)
98. 「つくる会」歴史教科書採択阻止運動：練馬：教
育委員の良識に訴えた私たちの「常識」 / 吉川美
佐子(p.35-36)
99. 「つくる会」歴史教科書採択阻止運動：栃木：市
民が阻止した採択 / 近藤野百合(p.37)
100. アジア連帯会議から歴史教育アジアネットワー
クづくりへ / 齋藤充乃(p.38-39)
101. 日本はアジアから離れ，孤立するつもりですか：
靖国参拝，教科書問題をめぐって / 符祝恵(p.40-42)

102. 治安教科の先導役果たすマスコミ：メディア規制法案に反対する前に / 中嶋啓明(p.43-46)
103. 戦争をどう伝えていくのか：映像制作の現場から / 熊谷博子(p.49-51)
104. 報道現場で消えていくジャーナリズムの精神：天皇報道のタブーにどう挑戦したか / 森部聡子(p.52-55)
105. 「ヒコクミン」回覧版の時代 / 小笠原みどり(p.56-58)
106. NHK番組改ざん問題：裁判支援を！ / 鈴木香織(p.59-60)
107. 若い女性たちが見た戦争の歴史：「女性国際戦犯法廷」ドキュメンタリーを自主制作して：個人メディアとしての映像表現の可能性 / 宮原理恵(p.61-63)
108. 若い女性たちが見た戦争の歴史：「慰安婦」問題と戦後責任をどう考えるか：大学生のレポートから / 三瓶明美(p.64-69)
109. 日韓女性のきずなをどう強めるか：韓国スタディ・ツアーから：ナムムの家を訪問して / 岩塚直子(p.70-71)
110. 日韓女性のきずなをどう強めるか：韓国スタディ・ツアーから：平和を創る女性たち / 中村ひで子(p.72-73)
111. 男性との対話(21)：メディア・ファシズムの危機の中で：権力化したマスコミ、脅かされる言論に力を振りしぼって言い続ける / 辺見庸, 松井やより(p.75-82)
112. 私が語るフェミニズム(5)：闘うフェミニズム：しなやかに, そしてしたたかに / 大越愛子(p.83-87)
113. 私が語るフェミニズム(6)：アートと世紀を駆け抜けて / 富山妙子(p.88-92)
-
- 女たちの21世紀 [29] (2001.12)
特集：少女・子どもの性搾取：大人との線は引けるのか
< 子どもと大人の買春に線は引けるか >
114. 売春男性はどこに？：あなたの隣りに、ふたりにひとり！ / 甲斐田万智子 [ほか] (p.4-9)
115. 「売春男性」をせめるより性差別社会の改革を / 鈴木水南子 (p.10)
116. シンポジウムまとめ：女性たちが求める真の自己決定権とは / 江原由美子 (p.11-12)
117. スtockホルムからヨコハマへ：第2回子どもの商業的性的搾取反対世界会議の課題 / 森実(p.14-19)
118. 売春は労働か？：「セックスワーク」論に対する当惑ないし批判 / 養父知美 (p.18-20)
- < 買う男性の問題 >
119. 買う男性の問題：アジアでの売春加害者裁判を支援して：弁護士経験から / 坪井節子 (p.21-24)
120. 買スウェーデン売春禁止法が成立するまで / ピヤ
- ネール多美子 (p.25-29)
121. インターネット上の子どもポルノ：非難される日本の取り締まり / 松本葉子訳 (p.30)
122. 「援助交際」という中高年男性の売春問題 / 原田瑠美子 (p.31-32)
- < 性搾取のさまざまな形 >
123. 人身売買：南アジア・東南アジアでの性的目的の子ども売春, 人身売買 / 原田志乃訳 (p.34-35)
124. タイにおける少女と女性の人身売買の状況：タイ北部のNGOを訪問して / 清末愛砂 (p.36-39)
125. カンボジアの女性と子どもの人身売買 / カンボジア女性危機センター, 松田紘子訳 (p.40-44)
126. 人身売買被害者の「合意」は問われないことに：国際条約で人身売買の定義が明確に / 木下薫 (p.45-47)
127. 旧ソビエト連邦諸国からイスラエルの性産業に売られる女性たち (p.48-49)
128. 子ども買春・買春観光：韓国スタディ・ツアーより：買春根絶を目指して：ハンソリ会の話から / 岩崎敦子 [ほか] (p.50-52)
129. HIV/AIDS：子ども買春：アジアの現実 / ISIS国際ナショナル, 小幡詩子訳 (p.53-55)
130. HIV/AIDSはジェンダー不平等の問題である / 松井育美訳 (p.56-57)
131. ストリート・チルドレン：バングラデシュの首都ダッカ：ストリートチルドレンの少女への性的搾取 / 宇佐見明子訳 (p.58-59)
132. 戦時性暴力：「慰安婦」制度も子どもの性搾取だった：「女性国際戦犯法廷」を傍聴して / 甲斐田万智子 (p.61-62)
133. 社会での女性に対する暴力：クマラスワミ報告より：女性の人身売買 (p.63-68)
134. 子ども買春・子どもポルノに係る行為等の処罰及び子どもの保護等に関する法律現行の問題点 (p.69-71)
135. 東アジア・東南アジア・南アジア国際比較：子ども買春・人身売春・ポルノの状況と各国の取り組み (p.72-79)
136. ILO182号条約：最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約 (p.80-82)
137. 社会権規約：国連社会権規約委員会による日本政府に対する勧告(総括所見)の意義 / 藤本俊明 (p.83)
138. 社会権規約委員会勧告(全文)：子どもの性的搾取, DV, セクシュアル・ハラスメントに対し法律を厳格に適用せよと勧告 (p.84-89)
139. 公開連続講座「私が語るフェミニズム」(7)：「もうひとつの日本」が見える：アジア、そしてフェミニズム：東南アジア女性史からの視点 / 中原道子 (p.90-94)
-
- 家族社会学研究 [13-1] (2001.08)

特集：全国家族調査

140. NFR98と現代日本家族の分析：中間的成果と今後の課題 / 石原邦雄(p.9-20)
141. 家族変動と新しいスタイルのデータ：「全国家族調査」(NFR)研究の発進 / 正岡寛司(p.21-33)
142. データ・アーカイブの視点からみたNFR98 / 西野理子(p.35-45)
143. 未婚化・社会階層・経済成長 / 加藤彰彦(p.47-58)
144. 家族認知の条件：最年長のきょうだいへの認知の分析 / 西野理子(p.61-71)
145. 要介護高齢者を介護する家族介護者の対処類型の規定要因と性差：ソウル市における調査から / 金貞任(p.73-84)
146. 旧西ドイツ地域における同様の広がりとその要因 / 原俊彦(p.87-96)
147. 私事化のパラドクス：「家族の個人化」「家族の個別化」「脱私事化」論議 / 清水新二(p.97-104)
148. 韓国の家族研究の動向：国際会議「Families in Aging Society」を中心に / 金貞任, 杉岡直人(p.107-112)

家族心理学研究 [15-2] (2001.11)

149. 親同一性を構成する3つの次元：幼児期の子どもを持つ母親における親同一性の構造 / 山口雅史(p.79-91)
150. 大学生における自己親友人好きな異性への準拠のあり方について：自我同一性との関連、および性差の検討 / 荒井真太郎(p.93-107)
151. 健康な家族機能に対する評価：セラピストと家族の比較 / 茂木千明(p.109-123)
152. 食事中の会話からみる家族内コミュニケーションと家族の健康性および心理的結合性の関連の検討 / 平井滋野, 岡本祐子(p.125-139)

家庭科教育 [75-8] (2001.08)

153. 食生活の自立をめざした教育：健康で生きるために / 小平洋子(p.6-9)
154. 実感をもって学ぶ「家族と家庭生活」の指導(1)：心理劇を取り入れる提案と評価の私案 / 梅木佳代(p.15-20)
155. 家庭科における高齢者関連学習の授業提案(2)：異世代間の加齢に対する意識の相違 / 日本家庭科教育学会関東地区会「高齢社会と家庭科」研究会(p.21-24)
156. 「生きる力」を育てる授業実践(4)：家族と家庭・高齢者問題 / 権田浩子(p.34-39)
157. 共生時代における家政学の社会的意味(2)：エレン・リチャーズによる「ホームエコノミクス運動の社会的意味」(上) / 香川晴美, 住田和子(p.40-44)
158. 家族環境からみた青少年の薬物使用(3)：薬物使用経験者の家族特徴 / 宮崎総子, 犬飼亜子(p.63-69)

159. 高齢者のファッションに関する一考察：服装色の嗜好性について / 美馬朋子, 山本和枝(p.70-75)
160. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(7)：産業革命を担った綿紡績工業地帯のグレートマンチェスターとグレートヨークシャーなどイングランド北部地域の博物館(3) / 日下部信幸(p.80-86)

家庭科教育 [75-9] (2001.09)

161. 自己決定能力を培う体験学習の在り方：パティ学習を取り入れた実践を通して / 久保田恭子(p.21-27)
162. 女子短期大学の体験学習への取り組み：単位必修化までの経緯と活動実践例を中心に / 佐藤了子(p.28-33)
163. 実感をもって学ぶ「家族と家庭生活」の指導(2)：心理劇を取り入れる提案と評価の私案 / 梅木佳代(p.39-45)
164. 介護の現場を通して家庭科に思うこと / 熊内美貴(p.55-59)
165. 最近のリハビリ患者さんに見られる男女の差 / 小林俊雄(p.65-69)
166. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(7)：産業革命を担った綿紡績工業地帯のグレートマンチェスターと毛紡績工業地帯のグレートヨークシャーなどイングランド北部地域の博物館(4) / 日下部信幸(p.85-92)

家庭科教育 [75-10] (2001.10)

167. 少子化への道：それは私共の選択 / 内野澄子(p.12-17)
168. 急がれる未成年者の喫煙防止 / 阿部芳子(p.18-24)
169. 実感をもって学ぶ：「家族と家庭生活」の指導(3)：心理劇を取り入れる提案と評価の私案 / 梅木佳代(p.42-45)
170. 佐賀県における老親子同居観の考察 / 赤星礼子(p.46-51)
171. 十代のリハビリテーション患者に診られる男女差 / 小林敏雄(p.59-63)
172. 女子高校生のダイエットの実態および意識調査 / 石原千枝子(p.69-73)
173. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(補足1) / 日下部信幸(p.86-92)

家庭科教育 [75-11] (2001.11)

174. 小さな国のうなずく暮らし / 湯沢雅彦(p.6-10)
175. 主体的に生活を工夫し、創造する力をはぐくむ技術・家庭科の学習指導：家族とのかかわりに視点をあてた題材開発 / 長島淑子(p.30-40)
176. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(補足2) / 日下部信幸(p.83-92)

家庭科教育 [75-12] (2001.12)

177. 「男女共同参画社会」における家事・育児の構造改革 / 葦重和子 (p.6-10)
178. 家政系大学・短期大学におけるビジネス教育の導入 / 林雄太郎 (p.16-20)
179. 教科「情報」現職教員等講習会に参加して / 小林保江 (p.36-41)
180. 平安朝女性服飾と住環境 / 鳥居本幸代 (p.49-54)
181. 神話の類似性とメタファー / 池添博彦 (p.61-65)
182. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(補足3) / 日下部信幸 (p.75-84)

家庭科教育 [76-1] (2002.01)

183. あらためて、男女共学とは何か / 内藤和美 (p.11-14)
184. ジェンダー論を超えて：大学における「セクソロジー教育」の実践 / 榎田眞澄 (p.15-19)
185. 夫の財産・妻の財産：法と現実のハザマをどう埋め合わせるか / 小川晴子 (p.37-41)
186. 男性保育者についての意義と役割：子ども・女性保育者にとって男性保育者はどういう存在か / 齋藤政子 (p.42-47)
187. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(補足4) / 日下部信幸 (p.74-84)

かりん かりん [1] (2001.03)

188. 黒人混血女性へのまなざし：アメリカ映像文化のなかの人種表現 / 柴崎小百合 (p.5-17)
189. 出稼ぎ女性の婚姻・恋愛意識の変化及び困惑：中国広東省の出稼ぎ女性の実態調査報告書(2) / 陸小媛 (p.19-34)
190. 文体へのまなざし：三島由紀夫におけるジェンダー / セクシュアリティと身体 / 佐藤耕治 (p.35-48)
191. ローザ・パークスの教育活動：多文化主義的観点からの考察 / 大橋稔 (p.49-67)
192. 「性」に関する一考察 / 布施義宗 (p.69-81)
193. 尾崎翠：女性モダニズム作家の居場所 / 江黒清美 (p.83-95)

特集：女性に対する暴力

194. 出生前検査：受ける? 受けない? / 梅田亜希子 (p.101-114)
195. 女性の「二重労働」に見る象徴的暴力：ある共働き夫婦の語りを手がかりに / 飯野由里子 (p.115-126)
196. 介護保険法における家族介護の評価 / 山林由布子 (p.127-134)
197. 戦争責任をめぐる言説を中心とした女性に対する暴力：証言と向き合うための考察 / 大橋稔 (p.135-145)

特集：ジェンダーと表現の多様性：ファッション選択とジェンダー

198. ジェンダーでみる制服：ファッションとジェンダ

- ー / 川島威史 (p.151-154)
199. 身体の歴史性とファッションについて / 高浦直子 (p.155-160)
200. 「ドラッグ」によって露呈されるジェンダー規範の「正常性」 / 國中咲江 (p.161-166)
201. ジェンダー視点から見た中国の「一人っ子政策」 / 杜曉紅 (p.167-177)
202. 科学的言説における「力」 / 姜東星 (p.179-186)
203. 「看護学の母性」：女性学を学んで考えたこと / 森谷美智子 (p.197-206)
204. 電車のなかの出来事から：ある痴漢事件の被害者とその友達の手記 (p.207-221)

季刊女も男も：自立・平等 [88] (2001.07)

205. 成熟し始めた“共生” / 尾木直樹 (p.2-3)

特集：ジェンダーで読みとく少年問題

206. 少年「凶悪」事件と<男らしさ>：ひ弱な自分と「強くあれ」幻想のジレンマの中で / 伊藤公雄 (p.12-14)
207. 「ひきこもり」の中の男性問題：浮かび上がる旧来的ジェンダーイメージ / 田中俊英 (p.15-17)
208. 運動音痴の男の子こそジェンダー・フリーを求めている：「できなくてもいいんだよ」と伝えてあげたい / 大東貢生 (p.18-20)
209. 少年法「改正」これでいいのか：背後にある学校教育病理・社会病理に目を / 石井小夜子 (p.20-22)
210. いま学校で：高等学校：望ましい暮らしと「労働」を考える：高校生の「労働意識」実態調査より / 安次嶺美代子 (p.24-27)
211. いま学校で：小学校：社会環境と学校創造を考える：家事労働・<メディア・リテラシー>学習の場から / 三浦芳子 (p.28-30)
212. メディアの現場から(14)：専門職の目の壁 / 竹信三恵子 (p.32-33)
213. はたらく(14)：子どもたちの「生きる力」を教師といっしょに引き出す：黒沢幸子さんに聞く / 藤田記子 (p.34-36)
214. 施主の立場に立った建築設計の仕事を：女性だけの建築設計事務所を運営する渡会有子さん / 松永み子 (p.38-41)
215. 法律ガイド(14)：二次被害 / 中野麻美 (p.42-43)
216. パートナースhip(14)：35年後の今が最高!：「よい子に読み聞かせ隊」は二人のライフワーク / 志茂田景樹, 下田光子, 古庄弘枝 (p.44-47)
217. 歴史をジェンダーで読む：駒野陽子さんに聞く：「日本婦人問題懇話会」などの活動：運動はほんとうに人を育てますね / 原田瑠美子 (p.48-52)
218. インタビュー『男の曼荼羅』(14)：古風な男女観をもつ男性は「いちばん嫌いなタイプ」だった / 豊田正義 (p.58-60)

219. 資料解題：「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の概要 / 田村のりこ (p.61-63)
-
- 季刊女も男も：自立・平等 [89] (2001.10)
特集：子ども虐待を考える
220. 児童虐待防止法改正の必要性：子どもを暴力・虐待から迅速に保護するために / 森田ゆり (p.12-14)
221. 養護施設・恩寵園事件とは何か：山田由紀子弁護士に聞く (p.15-17)
222. いま学校で：小学校：ジェンダー・フリーを地域に広げる：男女混合名簿が校門を出て行く日をめざして / 黒見節子 (p.20-23)
223. いま学校で：ヒューマン・セクソロジーを考える：生徒とともに軽やかに楽しく学ぶ / 川野典子 (p.24-26)
224. メディアの現場から(15)：言葉の再建 / 竹信三恵子 (p.28-29)
225. はたらく(15)：救急現場で女性の活躍の道を広げたい：消防官土橋裕子さんに聞く / 藤田記子 (p.30-32)
226. 写真を読む(19)：「軍用犬大行進」当日の水谷八重子と岡田嘉子：『歴史写真』1933(昭和8)年7月号より / 岩尾光代 (p.33)
227. 自己決定の尊重に向けて支えあう関係を：報告両性の自立と平等をめざす教育研究会・母と女性教職員の会全国集会 / 古庄弘枝 (p.38-39)
228. 企画から15年の『近現代日本女性人名辞典』：幕末明治から現代まで1309名を網羅 / 山口美代子 (p.40)
229. 中谷訴訟を戦後女性史の視点で：憲法の<祝福された落し子>の活躍 / 三宅義子 (p.41)
230. 法律ガイド(15)：統合保育 / 中野麻美 (p.42-43)
231. パートナーシップ(15)：二人だけでどこまでできるか人間の力を試したい：着工30年、いまだ建築途上の手作り「沢田マンション」 / 沢田嘉農、沢田裕江 (p.44-47)
232. 歴史をジェンダーで読む(10)：多田とよ子さんに聞くゼンセン同盟の活動：活動することで自己変革ができますし、それは社会変革の運動につながっていきます / 池田芳江 (p.48-52)
233. インタビュー『男の曼荼羅』(15)：彼は自殺するんじゃないかと思うと、彼と離れるのが怖くて / 豊田正義 (p.58-60)
234. 資料解題：「平成12年度男女共同参画社会の形成の状況に関する年次報告」及び「平成13年度において講じようとする男女共同参画社会の形成の促進に関する施策」の概要 / 田村のりこ (p.61-63)
-
- 季刊セクシュアリティ [4] (2001.10)
特集：さまざまな“性”を生きる
235. 同性愛研究の現在 / 河口和也 (p.22-28)
236. 性のグラデーション：身体から性を再考する / 橋本秀雄 (p.29-35)
237. “性的マイノリティ”の教材化試論 / 伊藤悟 (p.36-43)
238. 現場からの報告：セクシュアルマイノリティ教職員ネットワークの設立と活動：セクシュアル・マイノリティの教員から / 高取昌二 (p.44-47)
239. 現場からの報告：トランスジェンダー(MTF)の生徒との出会いから：TG生徒と教師 / 高橋裕子 (p.48-52)
240. 現場からの報告：ジェンダークリニック委員会に参加して：医療現場から / 塚田攻 (p.53-57)
241. レポート：半陰陽の子どもとその家族の医療対応と福祉支援 / 日本半陰陽者協会 (p.ESFIS) (p.62-67)
242. レポート：東京レズビアン&ゲイパレード2001：カムアウトについて考える / 長谷吉洋 (p.67-71)
243. 実践・小学校：ハッシー：性のグラデーションを風のように生きる / 川端多津子 (p.72-77)
244. 実践・中学校：「恋する心」授業実践から / 林宏美 (p.77-80)
245. 実践・高校：同性愛：心がゆさぶられる学習 / 丸山慶喜 (p.81-85)
246. 実践・障害児学校：当然のことですが、障害児・者にも性的マイノリティがいるのです / 花本ヨシエ (p.86-90)
247. わが性の始末記：同性愛研究への出発 / 南定四郎 (p.91-98)
248. データを読む：大学生のHIV / STD関連知識、性行動、性意識 / 良香織 (p.111-119)
249. 21世紀のジェンダー論(4)：スピリチュアルなシングル単位主義者に! / 伊田広行 (p.124-127)
250. 日本のセクシュアリティ(4)：サバイバーといかに出会えるか / 大越愛子 (p.128-131)
251. 性的マイノリティ(4)：ジェンダーを再生産する学校教育 / 小宮明彦 (p.132-135)
252. 日本の性教育の歩み(4)：第一次性教育ブーム：1920～30年代(その4) / 田代美江子 (p.136-139)
253. 知的障害と性 / くらだのりこ (p.140-143)
254. 情報化社会と子どもの性(4)：「2ちゃんねる」というコミュニティ / 平野貴大 (p.144-147)
- < 海外情報 >
255. 海スウェーデンレポート(4)：オープンであること / ピヤネール多美子 (p.148-151)
256. フランスレポート(4)：フランスの家族模様 / 小倉和子 (p.152-154)
257. アメリカレポート(4)：過誤記憶(フォールス・メモリー)をめぐって / 安日泰子 (p.155-158)
258. タイレポート(4)：遠いから見えてくるジェンダーとセクシュアリティ / 長澤勲 (p.158-161)
259. 中国北京市中学・高校生の性意識・性行動はどうなっているか / 曹陽 (p.162-168)

260. ネットワーク：CAPネットワーク，WITH(p.172-173)

季刊セクシュアリティ [5] (2002.01)

特集：総合学習と性教育

261. 性の学力形成と総合学習 / 数見隆生 (p.22-31)
262. 性の総合学習実践論 / 庄子晶子 (p.32-39)
263. 中学校の総合学習(性)の可能性 / 星野実 (p.40-47)
264. 報告：吉祥女子高等学校文化祭・模擬裁判公演から：裁かれる17歳の少女：覚醒剤、援助交際、そして殺人 / 鈴木正弘 (p.48-54)
265. 報告：川崎市男女共同参画センターの取り組み：性の社会的な枠組みを考える性教育 / 太田恭子 (p.55-61)
266. 報告：性教育が結ぶ地域の絆：人吉球磨サークルの人々の取り組み / 中根厚 (p.62-69)
267. 実践・小学校：人間にとって性交とは：性と生を考える / 船木優 (p.70-74)
268. 実践・中学校：「生命からの学び」の中に位置づけて / 福田博行 (p.75-79)
269. 実践・障害児学校：気持ちを育てる：将来の力の基礎となる小学部段階の性教育 / 中山啓 (p.80-86)
270. データを読む：大学生世代の性行動とコンドーム使用 / 徐淑子 (p.93-103)
271. クリニックにみる若者の性(1)：避妊に失敗した若者たち / 村口喜代 (p.106-109)
272. HIV感染症・AIDSの現状(1)：STDとしてのHIV感染症 / 野々山未希子 (p.110-113)
273. 性教育実践のすすめ(1)：子どもの「いのちと暮らし」を見つめて / 入江彰信 (p.114-117)
274. 日本の性教育の歩み(5)：近代日本の社会運動と性教育：産児調節運動と性教育(その1) / 田代美江子 (p.118-121)
275. ジェンダー・フリー教育の模索(1)：今、「共学」を考える / 入江直子 (p.126-129)
276. トランスジェンダー：カムアウトして生きる(1)：「今の私の原点」 / 宮崎留美子 (p.130-133)
277. 性的マイノリティ(4)：男女で分ける，ということ / 小宮明彦 (p.134-137)
278. 教育現場からみた現代の性・青年論(1)：未来を失う大人社会のなかの子どもたち / 関口久志 (p.140-143)
279. 障害児(者)の性：さあ、性教育がはじまるよ / 高山幸一郎 (p.144-147)
- < 海外情報 >
280. タイ：見えなさへの挑戦 / 長澤勲 (p.148-151)
281. アトランタ：あの日、あれから / 富沢寿美子 (p.151-154)
282. オーストラリア：性をめぐる文化と環境のちがいが / 橋本紀子 (p.154-156)
283. アフリカ・マラウィ：拡大するAIDS / HIV感染 / 松井幾子 (p.157-159)

284. イギリス：霧が晴れて、ウヒョヒョー / 鍋岡真幸 (p.160-162)

285. 上海：性の話題を家族コミュニケーションに / 劉永良 (p.163-165)

教育と医学 [49-11] (2001.11)

特集：子育て支援に向けて

286. 子育て支援としての「健やか親子21」 / 平山宗宏 (p.4-11)
287. 「子育て支援」政策の現状と課題 / 藤松素子 (p.12-21)
288. 子育てにおける父親の役割 / 川井尚 (p.22-28)
289. 子育て支援における保育所の役割 / 松岡俊彦 (p.30-37)
290. 地域子育て支援の実践：天城(あまき)保育園の取り組み / 中野敬士 (p.39-47)
291. 小児科医の子育て支援 / 横田俊平 (p.48-56)
292. 仕事を持つ母親への子育て支援 / 山上俊彦 (p.57-64)
293. 海外における子育て：スウェーデンの子育て支援 / 白石淑江 (p.65-72)

京都婦研連だより [65] (2001.07)

294. 「21世紀の女性研究者を考える集い」(2000年9月)報告 / 登谷美穂子，前田佐和子 (p.1-14)
295. 2001年1月例会報告：日本女性史から見た性差 / 脇田晴子 (p.15-21)
296. ホームページの掲示板で交流：ネットワーク女性研究者を立ち上げました！ / 坂東昌子 (p.29-40)
297. 「最近の物理学会における女性研究者問題を巡る状況」と「ライフサイクル再調査を考える」について / 登谷美穂子 (p.40-42)

くらしと教育をつなぐWe [10-5] (2001.08)

特集：ストーキング被害に遭わないために

298. インタビュー：あなたがストーカーに狙われたとき / 秋岡史，稲邑恭子 (p.2-11)
299. 学生から見たキャンパス・セクシュアル・ハラスメントとその対策 / お茶大でセクシュアル・ハラスメントを考える会 (p.17-22)
300. 曲がり角の家庭科(10)：家庭科教育の幻想(4) / 梶原公子 (p.27-33)
301. 家事神話：女性の貧困のかけにあるもの(23)：有償化への実験 / 竹信三恵子 (p.38-41)
302. 新米議員のジェンダー議事録(13)：基本構想もいよいよ大詰・大荒れの議会 / 木村民子 (p.42-43)
303. ひげのおばさん 子育て日記(15)：がんばらない / 中畝常雄，中畝治子 (p.50-51)
304. 終幕(21)：アジアを着る(7) / 水田宗子 (p.61-63)

くらしと教育をつなぐWe [10-6] (2001.10)

特集：男と女の家庭科新時代

305. 曲がり角の家庭科(11)：家庭科教育の幻想(5) /

梶原公子(p.19-24)

306. 家事神話：女性の貧困のかけにあるもの(24)：「和合」の夢の影で / 竹信三恵子(p.36-39)
307. 新米議員のジェンダー議事録(14)：酷暑の中の熱き闘い / 木村民子(p.40-41)
308. ひげのおばさん子育て日記(16)：夏の報告 / 中畝常雄, 中畝治子(p.48-49)

くらしと教育をつなぐWe [10-7] (2001.11)

特集：ころばぬ先の医療消費者教育

309. インタビュー：自分の体のことは自分で決めた
い：丸本百合子さん / 立樹光(p.14-23)
310. 曲がり角の家庭科(12)：家庭科教育の幻想(6) /
梶原公子(p.28-33)
311. 家事神話 女性の貧困のかけにあるもの(25)：新しいものさしを求めて(上) / 竹信三恵子(p.40-43)
312. 新米議員のジェンダー議事録(15)：何かと不採択
になった「つくる会」の歴史教科書 / 木村民子
(p.44-45)
313. ひげおばさん子育て日記(17)：パイの奪い合い /
中畝常雄, 中畝治子(p.48-49)

くらしと教育をつなぐWe [10-8] (2001.12)

314. 授業実践報告：風がかわる, 匂いがかわる：「は
じっこ」から「まんなか」へ：普通科高校での職
業紹介講座の試み / 木下禮子(p.17-23)
315. 曲がり角の家庭科(13)：家庭科教育の幻想(7) /
梶原公子(p.26-31)
316. 家事神話 女性の貧困のかけにあるもの(最終回)：
新しいものさしを求めて(下) / 竹信三恵子(p.36-
39)
317. 新米議員のジェンダー議事録(16)：DV防止法を
めぐっての議会問答 / 木下民子(p.40-41)
318. ひげおばさん子育て日記(18)：今どきの若者 / 中
畝常雄, 中畝治子(p.44-46)

くらしと教育をつなぐWe [10-9] (2002.01)

特集：自分を楽にする働き方

319. シンポジウム報告：私たちはなぜ働きにくい
のか? / 竹信三恵子(p.2-25)
320. 女性のための就業支援：カナダの事例から / 稲邑
恭子(p.26-30)
321. 働き方のビジョンをめぐって / 白崎一裕(p.31-
34)
322. 曲がり角の家庭科(14)：新しい時代に向けて
(1) / 梶原公子(p.39-43)
323. 新米議員のジェンダー議事録(17)：委員会での論
争その1：「女性議員はなぜ少ないか」 / 木村民
子(p.48-49)
324. ひげのおばさん子育て日記(19)：夫婦喧嘩(2)：
自立 / 中畝常雄, 中畝治子(p.52-53)

月刊家庭科教育 [201] (2001.09)

特集：今,家庭科が楽しい! : 障・小・中・高の授業
実践集

325. 高校：自分の人生を創造する学習：ジェンダーを
自らの感覚でつかむために / 吉村典子(p.76-81)

月刊家庭科教育 [202] (2001.10)

特集：小・中学校の新しい教科書を考える

326. 「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書を憂慮
するNGO女性の声明(アピール)と検定・採択状
況 / 和田典子(p.36-41)
327. 高校実践：最初の授業は「日本の家族・家庭がか
かえる問題」 / 斉藤弘子(p.60-65)

月刊家庭科教育 [203] (2001.11)

特集：第36回家庭科教育研究者連盟夏季研究集会報
告号：子ども・青年のありのままの姿からは
じめよう：新学習指導要領をのりこえる家庭
科をつくる

328. ジェンダー・センシティブな家庭科の教科理論と
教材開発 / 堀内かおる(p.16-19)
329. 学童保育の現場から見た家族・家庭・子どもの状
況 / 竹内れい子(p.24-27)
330. 中学校分科会(1)：人間について・ジェンダーフ
リー / 石田ゆかり, 磯部幸江(p.48-51)
331. 高校分科会(2)：家族・老い・死, エイジング
(老化) / 安原千夏, 斉藤美保子(p.64-67)
332. 高校分科会(3)：気づきの学習：保育・ジェン
ダー / 榎橋知之, 小川明紀(p.68-71)

月刊家庭科教育 [204] (2001.12)

333. 高校実践(2)：「日本の家族・家庭がかかえる問
題」でグループ・個人研究 / 斉藤弘子(p.54-61)

月刊家庭科教育 [205] (2002.01)

特集：領域をこえた学習をどうつくっていくか

334. 実践：中学校：アリーテ姫のメッセージ：ジェン
ダーフリーな教育を / 磯部幸江(p.18-21)
335. 実践：中学校：さあ!「家族・家庭をめぐる問題」
新聞づくりから始めよう!! / 時得捷子(p.26-29)
336. 高校実践(3)：班討議を取り入れたグループ・個
人研究報告 / 斉藤弘子(p.58-65)

月刊公民館 [531] (2001.08)

337. 公民館企画Q&A(17)：男女共同参画学習編：家事
と子育て / 澤野由紀子(p.28-30)

月刊公民館 [532] (2001.09)

338. 公民館Q&A(18)：男女共同参画学習編：介護を共
に / 野島正也(p.25-28)

月刊公民館 [533] (2001.10)

339. 公民館企画Q&A(19)：男女共同参画学習編：農村
に生きる / 原義彦(p.28-31)

月刊公民館 [534] (2001.11)

340. 公民館Q&A(20)：男女共同参画学習編：キャリアをつくる / 川合雅子 (p.33-36)

月刊公民館 [535] (2001.12)

341. 公民館企画Q&A(21)：男女共同参画学習編：リーダーのセンス・ジェンダーチェック / 土岐都子 (p.27-29)

月刊公民館 [536] (2002.01)

342. 公民館Q&A(22)：男女共同参画学習編：メディアを読む / 鬼頭尚子 (p.18-21)

月刊社会教育 [45-12] (2001.12)

特集：人間らしい保険・医療と健康学習

343. 健康学習に成人の“学び”を考える / 酒匂一雄 (p.46-53)

月刊社会教育 [46-1] (2002.01)

344. 家庭教育学級3カ年の歩み / 福地浩 (p.66-74)

月刊女性&運動 [228] (2001.08)

345. インタビュー：仲間がいつもエネルギー源 / 橋本のぶよ (p.4-7)
346. 小泉「改革」と女性：「経済・財政改革の基本方針」を読む (p.10-13)
347. 今なお輝きつづける女性たち(4)：深尾須磨子(1888～1974) / 村松保枝 (p.40-41)

月刊女性&運動 [229] (2001.09)

348. インタビュー：“現状から出発”を心がけて：楠見恵子 (p.4-7)
349. 今なお輝きつづける女性たち(5)：丸岡秀子(1903～1990) / 山口美代子 (p.24-25)

月刊女性&運動 [230] (2001.10)

350. インタビュー：“さとうきび畑”に思いをこめて / 中川美保 (p.4-7)

特集：女性と草の根の運動

351. ジェンダーの視点からみた「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書 / 丸岡玲子 (p.19-21)
352. 賃金・労働条件改善，仲間の輪をひろげる：全国介護ヘルパー交流会：新日本婦人の会 (p.22-29)

353. 今なお輝きつづける女性たち(6)：野上弥生子 / 早瀬展子 (p.46-47)

月刊女性&運動 [231] (2001.11)

特集：働く女性と賃金

354. 賃金アンケートの結果：同じ仕事をしている「正規労働者の男女，パート労働者の男女，正規女性とパート女性」の賃金格差 / 新日本婦人の会 (p.8-13)

355. 女性の賃金差別はなぜ生まれるのか / 金田豊 (p.14-17)

356. イギリスの男女賃金格差をなくす運動30年 / 宮前忠夫 (p.18-21)

357. 小泉流「保育改革」のねらい / 日野徹子 (p.25-27)

358. 職場シリーズ(5)：自宅待機とたたかって / 伊藤たえ子 (p.28-29)

359. 今なお輝きつづける女性たち(7)：羽仁説子(1903～1987) (p.30-31)

月刊女性&運動 [232] (2001.12)

360. インタビュー：いのちの不思議を科学で表現する：生命学者 中村方子さん (p.4-7)

特集：テロ問題と女性の行動

361. 世界に広がる“テロも戦争もノー”の訴え / 山崎静雄 (p.8-11)

362. 世界と日本：テロも報復戦争もやめて！ (p.12-17)

特集：女性の地位はいま

363. 女子差別撤廃条約第5回報告に我が国の現状として盛り込むべき事項 / 新日本婦人の会 (p.20-25)

364. 政策方針決定過程への参画，女性のエンパワーメント / 笠井貴美代 (p.26-30)

365. 「介護ヘルパーさんのアンケート調査」の結果(2001年10月1日) / 新日本婦人の会 (p.31-35)

366. 「親子で考えよう 学校の体罰・校則」アンケート結果について(2001年11月) / 新日本婦人の会 (p.39-45)

367. 今なお輝きつづける女性たち(8)：帯刀貞代(1904-1990) / 松崎濱子 (p.50-51)

月刊女性&運動 [233] (2002.01)

特集：日本国憲法とともに歩む

368. いまなお輝きつづける女性たち(9)：勝目テル(1894～1984) / 村松保枝 (p.10-11)

369. メディアを問う：女性国際戦犯法廷とNHK番組かいざん事件をめぐる / 西野瑠美子 (p.18-19)

370. メディアを問う：中学校でメディア・リテラシー / 中村純子 (p.20-27)

月刊女性情報 [184] (2001.07)

371. 第9回フランス映画祭横浜2001：来日した女性監督たち / 大竹洋子，吉田真由美 (p.12-16)

372. 2001年度全国大学・短大の女性学講座一覧(中)：国公立大学4年制編 (p.17-37)

月刊女性情報 [185] (2001.08)

373. 最新全国大学短大の女性学講座一覧(下) (p.52-75)

月刊女性情報 [186] (2001.09)

374. 2000年度版女達の事件簿(1)：強姦／ストーカー (p.14-51)
375. 従軍慰安婦問題 (p.56-58)

月刊女性情報 [187] (2001.10)

376. 2000年版女たちの事件簿(2)：強制わいせつ／スクールセクハラ／痴漢：警察庁犯罪統計資料(2000年)より (p.13-47)
377. 知っておきたいシルバービジネス (p.48-57)

月刊女性情報 [188] (2001.11)

378. 全国子育て情報：国・自治体の子育て支援：企業の子育て支援：子育て情報誌：自治体の子育てサイト：子育て情報サイト (p.36-55)

月刊女性情報 [189] (2001.12)

379. 女性がトップの企業リスト (p.44-61)
380. 資料編：第12回女性社長の売上高ランキング (p.62-65)

月刊福祉 [84-11] (2001.09)

特集：家庭・家族再考

381. 日本における家族構造の変遷 / 石原邦雄 (p.12-13)
382. 現代家族観を問う / 望月嵩 (p.14-19)
383. 家庭における子育てと社会的支援との関係考察：ファミリーソーシャルワークの視点から / 高橋重宏 (p.20-23)
384. 家族形態の変化がもたらす経済への影響：今後の社会保障の基本単位をどう考えるか / 増田雅暢 (p.24-28)
385. シングルペアレントの現状と支援課題 / 森田明美 (p.34-35)
386. わが国における婚外子事情 / 櫻井ミヤ子 (p.36-37)
387. 無国籍児は本当にいるのか? / 奥田安弘 (p.38-39)
388. 扶養制度の現状と課題：近親扶養を中心に / 石川恒夫 (p.40-43)
389. 「男の自閉」について / 田中俊英 (p.44-45)

現代思想 [29-11] (2001.09)

特集：写真論：私の一枚

390. 性のテロリスト：きつねとシャーマン / 富山妙子 (p.159-164)
391. アレクサンドル・ロトチェンコ：「母の肖像」 / 沼野充義 (p.190-195)

現代思想 [29-12] (2001.10)

392. 目取真俊「魚群記」における皮膚：色素 / 触覚 / インタフェース / 朱恵足 (p.18-30)

特集：オートポイエーシスの源流

393. 精神分析における身体化とは何か / 田崎英明 (p.271-277)

現代性教育研究月報 [19-6] (2001.06)

394. 性教育を学校教育に根づかせるには：全国性教育研究大会を前に / 田能村祐蔵 (p.1-3)
395. 実践報告：自己の向上に努め、豊かな人間関係を築く子供の育成：自己認識の形成を促す性教育の指導を通して / 佐藤典子 (p.4-8)
396. 21世紀と性(3)：性の受容：セックスとジェンダー / 伊藤裕子 (p.10-13)

現代性教育研究月報 [19-7] (2001.07)

397. 第40回日本=性研究会議報告：JASE学術研究補助金対象研究(第11回)の成果発表 / 渡辺大輔 [ほか] (p.1-6)
398. 21世紀と性(4)：包括的ジェンダー論教育に向けて：(性的)マイノリティを疎外しないジェンダー論教育を / 小宮明彦 (p.8-12)

現代性教育研究月報 [19-8] (2001.08)

399. セクシュアルヘルスと責任ある性行動推進のための行動要請 (p.6)
400. 21世紀と性(5)：女の脳・男の脳：脳の性分化はいつ起きるのか / 貴邑富久子 (p.8-12)

現代性教育研究月報 [19-9] (2001.09)

401. パネルディスカッション：思春期の子どもの性はどう対処すればよいのか / 松本祐二 [ほか] (p.5-11)
402. 対談：この人に聞く：生殖技術の発達と生命倫理 / 荒木重雄, 東優子 (p.12-17)

現代性教育研究月報 [19-10] (2001.10)

403. 講演記録：人は性別を変えられるか / ミルトン・ダイヤモンド, 東優子 (p.1-7)
404. 21世紀と性(6)：性別と法はどうかかわっているのか：世界の現状と望ましい未来 / 大島俊之 (p.8-12)

現代性教育研究月報 [19-11] (2001.11)

405. 若者の性と「緊急避妊法」：「コンドームで避妊したのに」……望まない妊娠に対する支援体制の整備を！ / 北村邦夫 (p.1-5)
406. 21世紀と性(7)：エイズ教育推進のための新たな“しかけ” / 池上千寿子 (p.6-9)
407. AIDSとの闘い20年：ニューヨークの取り組み：メディカル・ヘルス研究所、HIVケア・サービス部門ディレクターシュディス・ヴェルディーノさんに聞く / 鍛冶良実 (p.10-11)

現代性教育研究月報 [19-12] (2001.12)

408. 後悔しない、後悔させない性教育を：私たちにできることは何でしょう / 岩室紳也 (p.1-5)
409. 21世紀と性(8)：生殖革命とセクシュアリティ / 石原理 (p.6-9)
410. ロバート・フランカー博士の親と教師のための性

的発達の基礎知識 / 鍛治良実訳 (p.10-12)

現代のエスプリ [411] (2001.10)

特集：パフォーマンス学

<パフォーマンス学のもとになるコミュニティでのパフォーマンスの展開>

411. コミュニティのパフォーマンス：カオス時代の地域のあり方 / 秋山博介 (p.120-127)
412. キャリアアップのパフォーマンス：成果主義におけるキャリア形成と求められるパフォーマンスの能力 / 小川待子 (p.189-195)

現代のエスプリ [412] (2001.11)

特集：異文化ストレスとの遭遇

413. 在日外国人の異文化ストレス：日本における外国人コミュニティの精神医学的ニーズへの対応 / D・バーガー；福西勇夫，神山佳奈絵訳 (p.76-86)

<諸外国における異文化摩擦>

414. 移民における心理的苦悩 / T・N・ワイズ；福西勇夫，秋本倫子訳 (p.146-156)
415. アメリカ在住アジア人の異文化摩擦 / T・クラーツ；福西勇夫，秋本倫子訳 (p.172-187)
416. アジア人が直面する米国の人種差別 / T・クラーツ；福西勇夫，秋本倫子訳 (p.188-202)

現代のエスプリ [414] (2002.01)

特集：ADHDの臨床：21世紀からのアプローチ

417. ADHDを理解するための基礎：成人女性の注意欠陥：多動性障害 / 岡野高明 (p.84-92)
418. ADHDと発達・心理・教育・矯正：児童相談所におけるADHD / 川原ゆかり (p.135-139)
419. ADHDと発達・心理・教育・矯正：被害者としてのADHD：いじめ・虐待・性犯罪 / 塩川宏郷 (p.155-162)

現代のエスプリ [415] (2002.02)

特集：21世紀の法律相談

<法律隣接領域における相談実務の状況>

420. 離婚相談と家事調停の実際 / 古川徹朗 (p.148-156)
421. 犯罪被害者の相談 / 陰山英順 (p.157-166)
422. 虐待が疑われる子供に対する面接 / 越智啓太 (p.167-175)

現代のエスプリ別冊(2001.10)

423. 臨床心理学と心理学を学ぶ人のための心理学基礎事典 / 岩崎庸男 (p.3-405)

特集：心理学基礎辞典

424. 刷り込み / 岩本隆茂 (p.85)
425. 愛着 / 宮前義和 (p.107-108)
426. ジェンダー / 三浦正江 (p.135)
427. 母子関係 / 三浦正江 (p.136)
428. コーホート分析 / 横山博司 (p.137)

429. 児童虐待(子ども虐待) / 神谷育司 (p.268)

430. 家庭内暴力 / 本城秀次 (p.274)

431. 摂食障害(心身症) / 加藤明子 (p.352-353)

現代のエスプリ別冊：新しい産業カウンセリングの展開シリーズ [1] (2001.12)

特集：産業カウンセリングの理論的な展開

432. キャリア発達の理論的な展開：生涯キャリア発達の理論 / 渡辺三枝子 (p.57-69)
433. キャリア発達の理論的な展開：学校から産業界への移行期 / 大庭さよ (p.70-80)
434. コミュニティ(組織, 家族)・アプローチの理論的な展開：家族カウンセリング：家族療法とシステム理論 / 和田憲明，児島達美 (p.145-156)
435. 女性のキャリア発達支援の理論的な展開：女性の発達と職業をもつこと：アイデンティティ論の視点から / 岡本祐子 (p.191-201)
436. 女性のキャリア発達支援の理論的な展開：「働く・働きたい女性の問題解決」を総合的に支援 / 佐藤洋子 (p.202-210)
437. 女性のキャリア発達支援の理論的な展開：参画時代の女性へのサポート：ジェンダーに敏感なカウンセラーのネットワークづくりを / 壽山和子 (p.211-223)
438. 女性のキャリア発達支援の理論的な展開：女性の再就職支援 / 田中敬子 (p.224-234)
439. 産業カウンセラーの資格と倫理：産業カウンセリングの資格・試験 / 安藤一重 (p.235-243)

現代のエスプリ別冊(2002.01)

440. “自殺問題Q&A：自殺予防のために / 秋山聡平，斎藤友紀雄 [ほか]” (p.9-289)

現代のエスプリ別冊：新しい産業カウンセリングの展開シリーズ [2] (2002.01)

特集：産業カウンセリングの実践的な展開

441. 企業(組織)内カウンセリングの展開と課題：社員産業カウンセラーの実状とこれからの課題：KDDIの社員相談センターの経験から / 西田治子 (p.29-41)
442. 企業(組織)内カウンセリングの展開と課題：産業カウンセラーはどのようにありたいか：実践を通しての模索 / 渋谷武子 (p.42-52)
443. 企業(組織)内カウンセリングの展開と課題：企業内カウンセラーのあり方と課題 / 棟近美恵 (p.53-62)
444. 企業(組織)内カウンセリングの展開と課題：企業内カウンセラーには何が求められるか / 森崎美奈子 (p.63-77)
445. 企業(組織)外からの支援の展開と課題：企業内での相談を補完する支援体制の必要性を考える / 西嶋美那子 (p.134-142)
446. 就職支援の展開と課題：「シニアワーク東京」の活動：「東京都高年齢者就業センター」とカウン

セリング/渡辺三枝子(p.199-211)

国際女性 [15] (2001.12)

447. 第5回赤松良子賞：イデルさんに決定(p.5-6)
448. 講演：女性性差別撤廃条約とモンゴル女性の現状/ロフサンガンザン,イデル(p.7-10)
449. 第55回国連総会第三委員会報告/柳川恒子(p.11-13)
450. 第45回国連婦人の地位委員会報告/目黒依子(p.14-16)
451. 国連女性の地位委員会第45会期傍聴記：国連女性の地位委員会について/橋本ヒロ子(p.17-19)
452. 第24・25回女子差別撤廃委員会の報告/多谷千香子(p.20-22)
453. 第24・25回国連女子差別撤廃委員会(CEDAW)傍聴記/軽部恵子(p.23-25)
454. 女性差別撤廃条約・選択議定書締約国：レポート提出・審議状況一覧/山下威士,山下泰子(p.26-33)
455. CEDAW第23会期および第24会期における各国レポート審議概要：国連報告書の抄訳(p.34-67)
456. 資料：女子差別撤廃条約選択議定書手続規則/西立野園子(p.68-73)

特集：人権をめぐる国際会議

457. HIV/AIDSに関する国連特別総会報告/房野桂(p.74-76)
458. 反人種主義・差別撤廃世界会議報告：ジェンダーと人種差別の交差/藤岡美恵子(p.77-80)
459. 人種差別撤廃委員会第1回審査報告：人種差別のジェンダー関連の側面を中心に/藤岡美恵子(p.81-84)
460. 社会権規約委員会による第2回日本政府報告書の審査/荒牧重人(p.85-88)

特集：DV防止法と女性労働

461. 成立したドメスティック・バイオレンス防止法/林陽子(p.89-93)
462. ILO100号条約と日本の男女賃金差別/中島通子(p.94-98)
463. ディーセント・ワークとジェンダー/堀内光子(p.99-102)
464. 男女賃金差別裁判にみる司法のジェンダー・バイアス/宮地光子(p.103-107)
465. 住友電工(事件)裁判とWWNの国際活動：スイス・国連社会権規約委員会でスピーチ/白藤栄子(p.108-111)
466. フランスのバリテ選挙法成立後の市町村議会選挙とパリ市の選挙結果の分析/梶本玲子(p.112-118)
467. 日本学術振興会科学研究費補助金交付研究：「フェミニズム国際法学の構築」/山下泰子(p.119-122)

国立女性教育会館研究紀要 [5] (2001.11)

特集：21世紀の家族と子ども

468. 家族生活の変動と21世紀の家族/中川清(p.3-15)
469. 途上国の人口問題とジェンダー/早瀬保子(p.17-26)
470. 比較視点から見る日本の子どもの関係性の「危機」/恒吉僚子(p.27-33)
471. 子どもとメディア：乳幼児期早期からのテレビ・ビデオ接触の問題点と臨床的保育活動の有効性/土谷みち子(p.35-46)
472. 子どもと暴力/五十嵐二葉(p.47-56)
473. 韓国の大学生の意識調査からみる性別役割分業の維持メカニズム：「経済的責任者としての夫」という役割意識/李 95ce 媛(p.57-66)
474. 肖像から偶像へ：崇拜されるドリアン・グレイ/河野智子(p.67-75)
475. 生産労働の外国人女性と高卒女子無業者：ジェンダー・エスニシティによる職務階層秩序形成の可能性/筒井美紀(p.77-88)
476. 戦後女性公立小学校長第一号の登用と役割受容：40都府県68人の分析をとおして/高野良子(p.89-99)
477. 実践事例研究：女性センター情報ライブラリーにおける地域ネットワークの現状/木下みゆき(p.101-108)
478. メンバーのサークルの関わり方とサークル活動への評価：子育てサークル活性化のために/結城恵(p.109-118)
479. エクアドルの先住民二言語教育と女性/江原裕美(p.119-128)

子どもの虐待とネグレクト [3-1] (2001.07)

特集：第6回学術集会特集(あいち大会)

480. 講演：「児童虐待の防止等に関する法律」と児童虐待への取り組み/前橋信和(p.4-9)
481. 教育講演：子どもたちの未来のために：虐待の痛み,回復の援助/秋山正弘(p.10-16)
482. 重点課題講演：「被害者対加害者」を乗り越えるために/坂上香(p.17-26)
483. 重点課題講演：カナダの取り組みから学ぶ/メグ・ヒックリング[ほか](p.27-32)
484. 教育講演：思春期のこころ：親子の信頼を取り戻すために/有吉允子(p.42-45)
485. シンポジウム：虐待・いじめ・不登校：教師は今,親は今/山田万里子[ほか](p.53-60)

<分科会報告>

486. 性的虐待児の軌跡と援助/桜谷真理子[ほか](p.77-79)
487. 新生児・乳児の命を守るネットワーク：妊娠・出産・育児の場面で/浅野みどり[ほか](p.83-86)
488. 地域保健活動からのアプローチ：虐待する家族への援助/野村恒[ほか](p.87-89)

489. リスクアセスメント指標の実践と課題 / 加藤曜子 [ほか] (p.94-99)
490. 虐待をしてしまう親への援助 / 小久保裕美 [ほか] (p.101-103)
491. 虐待防止ホットラインの開設と運営 / 長岡利貞 [ほか] (p.104-110)
492. 少年非行の背景としての子ども虐待 / 藤岡淳子 [ほか] (p.111-114)
493. 児童相談所の児童虐待ケースマネジメントを検証する / 竹中哲夫 [ほか] (p.122-127)
494. 子どもの虐待にかかわる援助者のメンタルヘルス: 援助者の「当事者性」をめぐって, 「私たちは何を感じてきたのか?」 / 早崎肇 [ほか] (p.128-134)
495. ドメスティック・バイオレンスと子ども / 河合容子 [ほか] (p.138-140)
496. 演題発表から: こんなサポートがほしかった(1): 子どもとして親として当事者から見えるもの / 福井和恵 (p.155-158)
497. 演題発表から: こんなサポートがほしかった(2): 薬物依存症の母親へのサポートについて / 上岡陽江 (p.159-162)
498. 教育講座: 臨床法医学からの提言: 死者が語ること / 恒成茂行 [ほか] (p.163-171)
499. 肢体不自由児施設における被虐待児の検討 / 下山田洋三, 岡安勤 (p.172-179)
500. 医療機関における子どもの虐待とネグレクトの告知について / 井上直美 [ほか] (p.180-189)
501. 子どもへの虐待・暴力予防教育プログラムに関する効果測定研究 / 石川洋明 (p.190-199)
502. 過去5年間に新聞報道された子ども虐待死事件の傾向と課題 / 加藤悦子, 安藤明夫 (p.204-210)

子どもの虐待とネグレクト [3-2] (2001.12)

特集: 虐待を受けた子どもの治療を考える

503. 登校拒否・家庭内暴力の背後に虐待があった小学生: 関係領域の専門家の協同による危機介入を含めたかかわり / 田中哲, 横湯園子 (p.224-233)
504. 虐待を受けたある幼児のプレイセラピー: トラウマ・プレイセラピーのあり方の模索 / 西澤哲 (p.234-242)
505. 虐待を受けた子どもの治療: 愛着対象としての施設職員のかかわり / 大黒剛, 安部計彦 (p.243-249)
506. 虐待する母親と虐待される児童への治療的介入の2例 / 太田真弓, 斎藤学 (p.250-262)
507. 虐待を受けた子どもの経過と予後 / 池田由子 (p.263-271)
508. 近親姦虐待被害者における遅延記憶と脳画像に関する予備的研究 / 斎藤学 (p.272-281)
509. 児童虐待における保育所(園)の役割と関係機関のネットワーク / 下泉秀夫 (p.282-290)
510. 地域ネットワークをいかに効率よく活用していくか: これまでのネットワークのあり方と新しい運

- 用方法について / 小林朋子, 高橋稔 (p.295-303)
511. 周産期におけるハイリスク家庭の把握と継続援助の実態 / 中尾幸子 [ほか] (p.304-312)
512. ドメスティック・バイオレンスの目撃による心的外傷の2例 / 二宮恒夫 (p.313-319)
513. 立入調査とケースワークについて考える / 西本美保 [ほか] (p.320-324)
514. ソーシャルワーカーのアドボカシー機能について: 虐待ケースの事例分析に基づいて / 山野則子 (p.325-331)
515. 全国養護施設に入所してきた被虐待児とその親に関する研究 / 斎藤学 (p.332-360)

こども未来 [359] (2001.08)

516. 「諸外国の児童育成環境対策に関する現状調査事業」参加者座談会: イギリス・アイルランドとアメリカ・カナダの子育て環境を見る / 山本真実 [ほか] (p.6-14)
517. 1.5稼働者モデルという発想: 仕事と家庭の両立実現のために / 岩上真珠 (p.18)
518. 21世紀セミナー子育て支援(5): 地域の課題(1): 保育サービス: 待機児問題, 多様なニーズ, 地域の子育て支援への対応 / 増田まゆみ (p.20-21)
519. 子育て支援 あの会社 この企業: 株式会社セシール(香川県): 女性活用と労働時間短縮の先進企業: 2000年ファミリーフレンドリー企業表彰・都道府県労働局長賞受賞 (p.24)

こども未来 [360] (2001.09)

特集: 児童相談所の役割: いまとこれから

520. 児童相談所の役割と機能: 相談受理から処遇決定まで: 児童と家庭への総合的な援助活動 / 坂本正子 (p.7-9)
521. 児童相談所の現状, 課題とその対応: 業務の内容・量ともに苛烈, 職員体制の強化と専門性の確保を / 才村純 (p.9-12)
522. 児童相談所の現場から: 児童福祉司: 足繁く稼ぐ児童相談所の営業マン: 訪問を通じて信頼関係をつくる / 佐藤隆司 (p.12)
523. 児童相談所の現場から: 心理判定員: 虐待への介入では児童福祉司のよきパートナーに / 廣岡逸樹 (p.13)
524. 児童相談所の現場から: 児童指導員・保育士: 処遇上特に注意するのは児童の心の安定を図ること / 馬場重彰 (p.14)
525. 21世紀セミナー子育て支援(6): 地域の課題(2): 相談と支援: 公的機関の相談対応, ネットワークの支援の在り方 / 新澤誠治 (p.20-21)
526. 子育て支援あの会社この企業: 花菱縫製株式会社(埼玉県): 2000年ファミリー・フレンドリー企業表彰・都道府県労働局長賞受賞: 会社にも社員にもメリットの大きい社内託児所 (p.24)

一企業表彰・都道府県労働局長賞受賞(p.24)

こども未来 [361] (2001.10)

特集：ファミリーサポートの充実を目指して

527. ファミリーサポートのための諸施策：その現状と課題：ファミリーサポート充実の柱は保育所に子育てにやさしい社会環境の実現が課題 / 網野武博 (p.7-9)
528. ファミリー・サポート・センター事例紹介：茨城県日立市：東京都豊島区：大阪府箕面市 (p.10-12)
529. 21世紀セミナー子育て支援(7)：地域の課題(3)：健全育成の環境づくり：児童館・放課後児童クラブの機能 / 鈴木一光 (p.20-21)
530. 子育て支援あの会社この企業：NECアクセステクニカ株式会社(静岡県)：早い導入と時代に合わせた改訂を実施：2000年ファミリー・フレンドリー企業表彰・都道府県労働局長賞受賞(p.24)

こども未来 [362] (2001.11)

531. 結婚・出産・子育て・仕事：人々の意識を探る：子育てに関する意識調査事業の概要：「子育てに関する意識調査報告書」を読んで / 岡本英雄 (p.6-14)
532. 日本的雇用慣行，企業風土の問題：仕事優先，男性中心のシステム / 脇坂明 (p.20-21)
533. 子育て支援あの会社この企業：株式会社丸栄(愛知県)：8年間取得できる「育児短縮勤務」，利用者も多数：2000年ファミリー・フレンドリー企業表彰・都道府県労働局長賞受賞 (p.24)
534. 東西南北クローズアップ：阿南共栄病院産婦人科(徳島県羽ノ浦町)：日曜日の「パパママ教室」で，父親の育児参加を応援 (p.26-27)

こども未来 [363] (2001.12)

特集：女性の就業とライフコースの関係

535. 女性のライフコースの変化と就業・結婚・出産・子育て観：就業や結婚はライフスタイルの選択肢に変化：多様な生き方を選ぶ「個人」単位の社会へ / 目黒依子 (p.7-9)
536. 女性の職業別に見た結婚・出産・子育てに関する意識：職業によって異なるライフコース：共通しているのは「子育ては母親の役割」 / 松信ひろみ (p.10-12)
537. 女性の就業とライフコースの日米比較：ライフコースが多様化しつつも依然として残る日本のM字型就業 / 岩井八郎 (p.12-14)
538. 21世紀セミナー子育て支援(9)：職場の課題：育児休業制度をめぐって：制度のメリット、導入状況、今後の課題：「代替要員の確保」は取得しやすい環境づくりへの一策 / 佐藤博樹 (p.20-21)
539. 子育て支援あの会社この企業：三歳までは何度でも育休が取れる弾力的な対応：株式会社朝日相扶製作所(山形県)：2000年ファミリー・フレンドリー

こども未来 [364] (2002.01)

540. 21世紀セミナー子育て支援(10)：職場の課題：企業の育児支援：育児・介護休業法の改正、企業戦略、両立への課題 / 布山祐子 (p.20-21)
541. 子育て支援あの会社この企業：三洋繊維工業株式会社(島根県)：2000年ファミリー・フレンドリー企業表彰・都道府県労働局長賞受賞：会社の成長にも貢献する社内託児施設 (p.24)
542. 東西南北クローズアップ：東京都：認証保育所制度：零歳児保育、長時間保育を行う施設を認証、競争原理の導入で保育サービスの充実を目指す (p.26-27)

思想 [931] (2001.11)

543. 同化型同性の拒絶：森崎和江と炭坑 / 水溜真由美 (p.128-148)

思想 [933] (2002.01)

特集：グローバル化の文化地政学

544. 労働、移民、ジェンダー：カルチュラル・ポリティクスにおける新たな主体 / リサ・ロウ，新垣誠訳 (p.181-200)

児童心理 [55-13] (2001.09)

特集：マナーを知らない子・教えない親

545. 周りを気にしない親の心理・子どもの行動：システム依存症の悲劇 / 富田隆 (p.29-34)
546. マナーの形骸化した社会 / 越智康詞 (p.42-47)
547. 家族のもんだい解決銀行：ブリーフセラピーの実践(9)：カーリン・シュランガー：MRIの若きリーダー / 長谷川啓三 (p.122-126)

児童心理 [55-14] (2001.10)

特集：学校に行きたがらない子

548. 登校しぶり・不登校から見なおす親子関係 / 小玉正博 (p.24-29)
549. 子どもが登校をしぶりはじめたら：「行かせるか、休ませるか」をどう判断するか / 森田喜治 (p.37-41)
550. 子どもが登校をしぶりはじめたら：休んだ子を家でどう過ごさせるか：子どもの自分づくりに生きる休ませ方 / 三浦文隆 (p.42-46)
551. 親と教師が動く・登校しぶりのきっかけと対応：家庭内の問題 / 春日菜穂美 (p.81-86)
552. 家庭内暴力を伴った引きこもる子への対応 / 平田美音 (p.99-103)

特集：ジェンダー問題の今を探る

553. ジェンダー・フリーという言葉：男性からの視点 / 中村正 (p.113-119)
554. 家庭で健康なジェンダー観を育成する / 森永康子

(p.120-124)
555. 学校の性教育は時代のニーズに応えているか/堀成美(p.125-129)

556. 家庭のもんだい解決銀行：ブリーフセラピーの実践(10)：クラリフィケーション：元祖解決志向/長谷川啓三(p.138-142)

児童心理 [55-15] (2001.10)

特集：親・教師の聴く技術・話す技術

557. 子どもに何を伝えるか、どう伝えるか：おとなと子どもの間のズレと悲喜劇/戸田有一(p.20-27)

558. 聴けない親・聴けない教師の心理/藤岡孝志(p.28-36)

559. 親や先生から言われたくない言葉：小学生の自由記述調査から/深谷和子, 佐野幸子(p.51-57)

560. 家庭で生かす聴く技術・話す技術：不満を聴けるゆとりの作り方/近藤卓(p.90-95)

561. 家庭で生かす聴く技術・話す技術：親の思いをありのままに話す/菅原裕子(p.103-109)

児童心理 [55-16] (2001.11)

特集：未熟な親・成熟した親

562. 成熟した親になるために/菅原ますみ(p.1-10)

563. なぜ大人になれない親が増えているのか/春日武彦(p.11-16)

564. よい母親, よい父親とは/鶴養啓子(p.17-23)
< 困った性格を変えていく：自分の場合・他人の場合 >

565. 子育てに自信が持てない/岩宮恵子(p.32-36)

566. すぐ子どもに手をあげてしまう：保護者学習会を活用した体罰防止プログラム/八並光俊(p.37-42)

567. 人付き合いが下手/根本葉子(p.43-47)

568. 問題を後回しにする/北島歩美(p.48-52)

569. 子どもの気持ちかわからない/岡本淳子(p.53-57)

570. 家庭にいられない母親・引きこもる母親/安宅左知子(p.58-63)

571. 「家族の危機」を乗り越える/降旗志郎(p.75-79)

572. 家族のもんだい解決銀行：ブリーフセラピーの実践(11) キャリアとファミリー/長谷川啓三(p.122-126)

児童心理 [55-17] (2001.12)

特集：自己チューな子

573. 過剰な自己中心性をつくりあげるシステム/加藤隆雄(p.18-23)

児童心理 [55-18] (2001.12)

特集：事例でわかる思春期の親子関係：反抗とゆらぎにどう向き合いますか？

574. 思春期の親子関係はなぜ難しいのか/妙木浩之

(p.2-11)

575. 思春期の子を理解する/向井隆代(p.12-19)

576. 思春期の子を持つ親の心得：男の子の親子関係・女の子の親子関係/佐藤淑子(p.34-40)

577. エゴグラムでわかる親子関係/桑原尚佐(p.48-55)

578. 思春期の問題に親はどう対応するか/「父親の出番」いつ、どう出ればよいか？/森田明子(p.62-68)

児童心理 [56-1] (2002.01)

特集：すぐ怒る子・怒れない子

579. すぐ怒る子・怒れない子の親子関係/桑原知子(p.22-27)

580. 家族のもんだい解決銀行：ブリーフセラピーの実践(13)：変化はいつも起きている/長谷川啓三(p.126-130)

児童心理 [56-2] (2002.02)

特集：人の話が聞けない子

581. 聞くこと、話すこと：その重要性・人間形成における意味/松岡素子(p.12-17)

582. 人の話を聞かない大人社会/上杉孝實(p.18-23)

583. 子どもが話を聞いてくれないと嘆く親・教師/関根正明(p.24-29)

584. 小学生のやせ願望とおしゃれ願望(1)：子どものダイエット：子どもは「体重」をどうとらえているか/及川研(p.106-112)

585. 家族のもんだい解決銀行：ブリーフセラピーの実践(14)：変化はいつも起きている(2)/長谷川啓三(p.126-130)

児童心理 [56-3] (2002.02)

特集：親・教師のための自己カウンセリング

586. 自己カウンセリングのすすめ：自己理解・自己受容・自己実現/平木典子(p.2-10)

587. 理想の自分と現実の自分のギャップをどうするか/小森康永(p.19-29)

588. 親が変われば子どもも変わる：子どもとのかかわり方を見なおすために/細井啓子(p.30-36)

589. ひとりのできる自己発見法：自分史のこころ：その魅力と効用をさぐる/土橋寿(p.142-147)

社会教育 [663] (2001.09)

590. 働く女性を支援する「子育て」支援：eWoman.co.jp 社長佐々木かをりさんに聞く/辰巳厚子(p.4-6)

特集：社会教育法改正と家庭教育・子育て支援

591. ライフプランとキャリアプランを考えた家庭教育と子育て支援：人生観・職業観の変化と、これからのファミリービジョン・子育てビジョン：株式

- 会社キャリアネットワーク代表取締役社長河野真
理子さんに聞く／とよた啓子 (p.12-18)
592. 子育てサークルの持つ意味と課題：「子育てサー
クルの活動に関する調査」より／中野洋恵 (p.20-
23)
593. 父親学級のすすめ：父と子はお互いを必要として
いる／大下勝巳 (p.34-35)

社会教育 [664] (2001.10)

594. 家庭のためのコミュニケーションの技術／田村尚
(p.4-6)
595. 青少年はいま：米国社会における父親不在と子ど
もたちの未来：日本社会への警鐘(淑徳大学公開
講座)／ウェイド・ホーン (p.78-81)

社会教育 [665] (2001.11)

596. L・NETワーカーズ通信：事業事例研究(717)：嵐
山にボランティアが集う！新たなステップに向
けて：「平成13年社会教育施設ボランティア交流
会」からの報告／野村知恵子 (p.66-67)

社会文学 [15] (2001.06)

- 特集：<女>と行為主体(エージェンシー)：新しい
世紀のはじまりに
597. 私はいた、いまいる、今後もいるだろう！：伊藤野
枝と文学の自己解放／池田浩士 (p.21-36)
598. 譲原昌子『朔北の闘い』考：樺太と生い立ちの
「記録」／格清久美子 (p.37-48)
599. 従軍女性作家：吉屋信子を中心に／神谷忠孝
(p.49-58)
600. 歴史のトラウマ：大田洋子論／菅本康之 (p.59-
74)
601. 森崎和江への一視点・覚え書：『からゆきさん』
に即して／谷口綱枝 (p.75-84)
602. 表象としての<水俣病>：石牟礼道子の世界／岩
淵宏子 (p.85-95)
603. 住井すゑと『橋のない川』にみる性差別：その女
性描写をめぐって／鬼頭七美 (p.96-106)
604. <宙吊り>のアイデンティティ：柳美里試論／西
田りか (p.107-117)
605. グローバル化とフェミニズム：「発話の場」の問
題化／外岡尚美 (p.118-127)
606. 「従軍慰安婦」と日本のフェミニズム／北田幸恵
(p.128-130)

ジュリスト [1206] (2001.08)

607. 労働判例研究(第951回)：営業職員から外務嘱託
への移行の法的性質と効力：第一生命保険事件／
土田道夫 (p.286-289)

ジュリスト [1207] (2001.09)

608. 海外法律情報：中国：婚姻法改正 (p.155)

ジュリスト [1208] (2001.09)

609. 司法記者の眼：女子年少者の逸失利益算定をめぐ
って (p.243)

ジュリスト [1209] (2001.10)

610. 司法記者の眼：少女買春の判事に執行猶予付き有
罪判決 (p.29)
611. 労働判例研究(第954回)：昇格・昇進による賃金
格差と男女賃金差別：芝信用金庫事件／藤川久昭
(p.155-159)

ジュリスト [1210] (2001.10)

612. DV防止法へ向けて：法律家に対する教育・研
修／角田由紀子 (p.2-4)

特集：第151回国会主要成立法律(2)

613. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関
する法律／岩井美奈 (p.117-121)
614. 刑事判例研究(51)：児童福祉法34条1項6号にい
う「児童に淫行をさせる行為」に当たるとされた
事例／鎮目征樹 (p.215-219)

ジュリスト [1211] (2001.11)

615. 海外法律情報：ノルウェー：男女平等法の改正
案／木下淑恵 (p.98)

ジュリスト [1213] (2001.12)

616. 男女共同参画社会の法と制度：日本学術会議公法
学研究連絡委員会・石川県・金沢大学主催シンポ
ジウムをめぐって／辻村みよ子 (p.72-75)
617. 中国における家族の変容と法の対応：2001年婚姻
法改正をめぐって／鈴木賢，廣瀬眞弓 (p.86-95)
618. 労働判例研究(958)：昇格における男女差別の認
定と救済措置：芝信用金庫事件／中村涼子
(p.149-152)
619. 海外法律情報：ドイツ：連邦公務員のための男女
平等法の制定／齋藤純子 (p.163)

助産婦 [55-3] (2001.08)

特集：チャレンジする助産婦

620. 専門職として、より深い知識を身につけるために
大学院へ／小黒道子 (p.15-17)
621. チャレンジ・マインドと変革スキルをもった人材
の育成のためのカリキュラム／佐山光子 (p.18-
22)
622. 地域における子育て支援についての施策の動向と
その実践／蒲原基道 (p.26-27)
623. 子育て支援事業活動報告(8)：川越助産婦会の新
たな取り組み：育児指導から子育て支援へ／阿部
一子 [ほか] (p.32-35)
624. 先輩助産婦に学ぶ：高山さい先生：地域に根ざし
た有床助産所活動を60年／小黒道子 (p.42-44)
625. 気になる数字：出生証明書における分娩介助率と
実態：公的な数字で助産業務の証明を／島田三恵
子 (p.45-48)

助産婦 [55-4] (2001.11)

626. 子育て支援事業活動報告(10)：4年目を迎えた「子育て・女性支援センター」事業：活動実態と今後の課題 / 岡本喜代子 (p.27-35)
627. 助産婦の海外活動：厳しい医療環境の中での母子保健：国境なき医師団の一員としてアフガニスタンへ / 渡辺知 (p.39-41)

女子教育 [24] (2001.04)

特集：子どもの異変を問う

628. 幼児期における自然体験について：都市部の幼児を対象とする調査から / 本間玖美子 (p.9-26)
629. 子どもたちの異変をどう考えるのか / 門脇厚司 (p.85-96)
630. 今、子どもたちとどう向き合うか / 黒沢幸子 (p.97-109)
631. 表現障害：歯を閉じる子どもたち / 竹内敏晴 (p.124-135)

女性学研究 [9] (2001.03)

632. 周縁的コミュニティで創作する女性アーティストとして：社会変革のための芸術をめざして / ローリー・トビー・エディソン, 萩原弘子訳 (p.5-15)
633. コミュニティ(人々, 社会)のなかで活動する：その意義と困難 / デビ・ノトキン, 奥村ゆかり訳 (p.16-27)
634. 地球規模の枠組みのなかで「国際的フェミニズム」を教える(上) / タニ・E・パーロウ, 萩原弘子訳 (p.30-56)

女性学年報 [21] (2000.11)

635. 「着る」ことの主体性：村上信彦と瀬川清子を中心に / 森理恵 (p.1-17)
636. 女房詞の意味作用：天皇制・階層性・セクシュアリティ / 鷲留美 (p.18-35)

特集：書く女、描く女：フェミニストが読む

637. 「男の物語」越えて：篠田節子『第4の神話』を中心に / 千葉麗 (p.36-51)
638. 爆笑言語バトル：笹野頼子『母の発達』の巻 / 藤田久美 (p.52-59)
639. 向田邦子「阿修羅のごとく」 / 森松佳代 (p.60-69)
640. 千葉敦子「限界は天高くに」の行方 / 山口美知代 (p.70-78)
641. 名香智子におけるロマンス・ファンタジーの構図：ヴィスタリア・D・シャトルを中心に / 古久保さくら (p.79-95)
642. <女の子>が世界を救う?：横村さとる『おいしい関係』 / 藤田嘉代子 (p.96-107)
643. 田村由美『BASARA』にみる異性装のヒロイン：「男装の麗人」譚の90年代の変容をめぐる / 山口佳代子 (p.108-123)

644. 母親が子を自分の健康保険の被扶養者にすれば... : Y.D.の事例 / 田中恵子 (p.124-132)
645. 「軍隊とノの女性」論のために：日米の映画における防衛 / 軍事組織の女性像の変遷から / 佐藤文香 (p.133-150)
646. カトリック教との闘い：アイルランドの女性たち / 臼井由紀子 (p.151-160)
647. リスクじゃなくて、薬です! : 女性運動への参加動機と変革の可能性 / イルゼ・レンツ; 大笹みどり訳 (p.161-180)
648. 海外報告：北京+5：国連特別総会「女性2000年会議」「成果文書」そしてNGO / 渡辺和子 (p.181-192)

女性学年報 [22] (2001.11)

特集：渡辺和子追悼集：ネットワークの20年：運動とシスターフッドのフェミニズム < 渡辺和子遺稿 >

649. 「ロマンティックな友情」の表象：ジュエットとフリーマンのクローゼットのなかの女同士の関係 / 渡辺和子 (p.25-67)
650. 「日本における男性の美容」について / 渡辺和子 (p.68-76)
651. 「女性の人権の立場から」 / 渡辺和子 (p.77-85) < 渡辺和子さんを通してみる80年代・90年代フェミニズム >
652. 運動：メディアにおける性差別：女性学教育：非常勤講師組合：セクシュアル・ハラスメント：ドメスティック・バイオレンス / 渡辺和子 [ほか] (p.89-142)
653. 女性学：アメリカ文学：日本女性学研究会：女性学年報：日本女性学会：フェミニズム事典：グローバルネットワーク / 別府恵子 [ほか] (p.143-178)
654. 最後の一年 / 三宅川泰子 [ほか] ; 荻野美穂訳 (p.222-242)
655. 渡辺和子年譜・著作リスト (p.251-244)
656. 執筆者・編集協力者リスト (p.255-256)
657. 女性兵士の描かれかた：60年代の中国映画と70年代のソ連演劇 / 秋山洋子 (p.259-272)
658. 母乳哺育の文化史序説：「乳揉みさん」の活躍した頃 / 伊賀みどり (p.273-289)
659. 恋とわたしの領域と：鴨居まさね『SWEETデリバリー』『雲の上のキスケさん』を中心に / 藤田嘉代子 (p.290-302)
660. 風景のなかの女：ゲインズボロの反アカデミズムとイングリッシュ・エレガンス / 細川祐子 (p.303-329)

女性行政情報 [13-3] (2001.08)

< 国の動き >

661. 男女共同参画会議関係：仕事と子育ての両立支援

- について / 内閣府 (p.1-6)
662. 男女共同参画会議関係：基本問題専門調査会の今後の進め方について / 内閣府 (p.7-14)
663. 各省庁における男女共同参画推進体制の整備(内閣府,警察庁,防衛庁,総務省,法務省,外務省,財務省,文部科学省,厚生労働省,農林水産省,経済産業省,国土交通省,環境省)(p.15-30)
664. 国の行政機関での職員の旧姓使用について / 内閣府 (p.31)
665. 「男女共同参画に関する研究会」報告書：経済主体・経済活動の多様化と活性化を目指して(要約) / 経済産業省 (p.32-50)
666. 公務における男女共同参画の実現を目指して：女性国家公務員の採用・登用の拡大への取組(平成12年度人事院年次報告書第1編第1部第1章概要) / 人事院 (p.51-52)
667. 平成13年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領(伊勢市) / 内閣府 (p.55-56)
668. 平成13年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領(八戸市) / 内閣府 (p.57-59)

女性行政情報 [13-4] (2001.10)

< 国の動き >

669. 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の円滑な施行について / 内閣府男女共同参画会議 (p.1-22)
670. 男女共同参画会議における監視の実施方針 / 内閣府 (p.23-26)
671. 農林水産省男女共同参画推進本部の取組状況について / 農林水産省 (p.28-29)
690. 平成13年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領：小山市,佐世保市,富山市 / 内閣府 (p.34-39)

女性教養 [586] (2001.08)

673. グローバル化と女性への暴力 / 松井やより (p.3-6)
674. 活動情報(1)：女性の人権擁護と自立支援をめざして：アジア女性センター / 廣渡優子 (p.8-9)
675. 活動情報(2)：茶業に関する歌から見えてきたもの：「うじの女性史をつくる会」の活動 / 岡本カヨ子 (p.10-11)
676. このひと：大津恵子さん(女性の家「HELP」ディレクター) (p.13)

女性教養 [587] (2001.09)

677. 老人虐待の概念と支援を考える：介護保険制度下での高齢者の権利擁護 / 池田召子 (p.3-6)
678. 活動情報(1)：企画委員として学んだ「宮前女性セミナー」 / 植田いく子 (p.8-9)
679. 活動情報(2)：講座「伝えよう! ジェンダー問題川柳で」：広島市女性教育センターの取組 / 土井志乃 (p.10-11)
680. このひと：徳永雅子さん(保健婦・「子ども虐待防止センター」評議員) (p.13)

女性教養 [588] (2001.10)

681. 食をめぐるジェンダー規範を考える / 竹井恵美子 (p.3-6)
682. 活動情報(1)：「チャイルドライン」設置をめざして：MIYAGI子どもネットワーク / 鮎本基子 (p.8-9)
683. 活動情報(2)：ジェンダー・フリー教育の試み：未来を拓く明日香の夢 / 野 94b3 正子 (p.10-11)
684. このひと：森田汐生さん(「アサーティブジャパン」代表&トレーナー) (p.13)

女性教養 [589] (2001.11)

685. ふりーせる保育に関する調査研究：子どもの人権とジェンダーフリー / 松戸市役所児童家庭担当部 保育課 (p.3-6)
686. 活動情報(1)：なぜ「女性監督の映画」なのか?：「女たちの映画祭」開催から『女性監督映画の全貌』発行まで / 内田ひろ子 (p.8-9)
687. 活動情報(2)：音楽療法で拓くコミュニケーション：岐阜県音楽療法士としての活動から / 鷲見通代 (p.10-11)
688. このひと：「造形作家」石橋初子さん (p.13)

女性教養 [590] (2001.12)

689. 事例発表(1)：フォーラム「ドメスティック・バイオレンスを乗り越えるために：DV被害体験から学び合おう」を企画・実施料力して / 河合容子 (p.4-5)
690. 事例発表(2)：市民企画講座「ストップ! 女性・子どもへの暴力」を原点を / 登石知子 (p.6-7)
691. 事例発表(3)：子どもへの暴力防止プログラムを広げるために / 草野順子 (p.8-9)
692. ワークショップに向けた学習支援者からのメッセージ：気づきを深め,広げるため / 亀田温子 [ほか] (p.10-11)

女性教養 [591] (2002.01)

693. 研究レポート：自治体の女性広報誌発行の現状と担当者の意識 / 田中和子「ほか」 (p.3-6)
694. 活動情報(1)：自分らしくいられる場所を：グループホーム「陽だまり」の活動 / 岩橋堪子 (p.8-9)
695. 活動情報(2)：メディアのなかのジェンダーに気づこう：「メディア・リテラシー講座」を企画・実施して / 森山京子 (p.10-11)
696. このひと：読書アドバイザー 長澤治枝さん (p.13)

女性史学 [11] (2001.07)

697. 米軍基地買売春と反「売春」運動：御殿場の場合 / 平井和子 (p.1-14)
698. 近世女訓書における書物と読者：「女小学」を手がかりとして / 宇野田尚哉 (p.15-31)

699. 三条公忠女巖子の後宮生活 / 桑山浩然 (p.32-43)
 700. 饅頭食いと子授け祈願 / 川越仁恵 (p.44-55)
 701. 白木の産小屋と出産習俗：日本海辺二つの習俗調査対比から / 田中光子 (p.56-75)
 702. 研究会動向：「アリゾナ大学女性学部学会」に参加して：女性学の将来 / 小野坂順子 (p.107-113)

女性・戦争・人権 [4] (2001.11)

特集：天皇制・フェミニズムと戦争責任

703. シンポジウム報告：天皇制・フェミニズムと戦争責任 / ヨン・ジョンオク [ほか] (p.6-35)
 704. 秋季シンポジウム報告：戦争論の現在 / 鹿野政直 [ほか] (p.36-65)
 705. 講演：ナチズムと強制売春 / クリスタ・パウエル, 梶村道子訳 (p.66-77)
 706. 韓国における慰安婦問題解決運動の課題：性的被害の視点から / 山下英愛 (p.80-105)
 707. 一在日朝鮮人からみる国民国家 / 金精一 (p.106-125)
 708. 日本軍性奴隷制を裁く「女性国際戦犯法廷」傍聴記 / 鈴木裕子, 井桁碧 (p.126-135)
 709. ヘジン僧(ベ・ヨンチョル)事件真相調査委員会「真相調査報告書」 / 山下英愛 (p.136-157)

女性展望 [529] (2001.08)

710. 後を絶たない在沖縄米兵の女性暴行事件 / 由井晶子 (p.6-7)
 711. アジア太平洋女性市長・議員サミットに参加して / 橋本ヒロ子 (p.8-9)
 712. HIV / AIDS 国連特別総会：「世界の危機，世界の行動」報告 / 房野桂 (p.10)
 713. 平成13年(2001年)版男女共同参画白書 (p.11)
 714. 世界をつなぐ女性団体活動の継続と発展(5)：日本婦人有権者同盟：会長・紀平梯子さんに聞く / 紀平梯子, 山口みつ子 (p.12-15)
 715. IPUレポート：政治 女性の考察(6)：国会の女性 (p.16-17)

女性展望 [530] (2001.09)

< 第19回参院選シリーズ(3) >

716. 概括「非拘束名簿式」下の女性の戦い (p.4-7)
 717. 全女性候補者の選挙結果 (p.7-9)
 718. 女性当選者アンケート (p.10-13)
 719. 世紀をつなぐ女性団体活動の継続と発展(6)：社団法人大学婦人会：会長・山本和代さんに聞く / 山口みつ子 (p.14-17)

女性展望 [531] (2001.10)

720. インタビュー：旧ユーゴ国際戦犯法廷訴訟判事：多谷千香子さん / 有馬真喜子 (p.4-6)
 721. 第151通常国会における衆・参女性議員の活動(上)：衆議院 (p.7-9)
 722. 論点：COP6が残した課題：京都議定書発効への日本の役割 / 浅岡美恵 (p.10-11)

723. 世紀をつなぐ女性団体活動の継続と発展(7)：主婦連合会参与・中村紀伊さんに聞く / 中村紀伊, 山口みつ子 (p.12-15)
 724. IPUレポート：政治 女性の考察(7)：国会の女性(2) (p.16-17)
 725. 地方公共団体における男女共同参画施策の推進状況 / 内閣府 (p.18)

女性展望 [532] (2001.12)

726. 座談会：危機的な時代にあって：2001年の女性問題を考える / 沖藤典子 [ほか] (p.4-9)
 727. 第151通常国会における衆・参女性議員の活動(下)：参議院 (p.10-13)
 728. 世紀をつなぐ女性団体活動の継続と発展(8)：全国地域婦人団体連絡協議会：事務局長・松下直子さんに聞く / 山口みつ子 (p.14-17)

女性展望 [533] (2002.01)

729. 新春対談：平和への道：究極のグローバルイゼーションを求めて / 宇野重昭, 石井摩耶子 (p.4-8)
 730. 世紀をつなぐ女性団体活動の継続と発展(9)：日本女性法律家協会元会長・鍛冶千鶴子さんに聞く / 山口みつ子 (p.9-12)
 731. 世界女性国会議員比率ランキング：日本は衆院117位、参院24位 (p.14-15)

女性と仕事ジャーナル [9] (2001.08)

特集：女性の能力を活かす新しい風

732. 女性の幹部を増やせば企業は儲かる / 猪口邦子 (p.4-5)
 733. ワーク/ライフ バランス：ITの時代からヒューマンの時代へ / バク・ジョアン・スクッチャ (p.6-9)
 < オランダのパート革命 >
 734. オランダモデルに学べ / 長坂寿久 (p.11-16)
 735. 日本のパートは「家族単位」のワナにはまっている：個人単位に変えるべきだ / 伊田広行 (p.17-20)
 736. オランダのパートタイム事情と男性の生き方：仕事と家庭を自由に行き来する男性たち / 荒金雅子 (p.21-23)
 737. 「ポルター(干拓)モデル」訪問記 / 金谷千恵子 (p.24-28)
 < EU(欧州連合)の女性労働政策, ポスト2000 >
 738. 女性労働と日本の企業社会：とくに間接差別について / 熊沢誠 (p.30-33)
 739. EU(欧州連合)訪問(1)：EU女性労働政策とEUの平等政策 / マリアンナ・パラスケヴァ (p.34-38)
 740. EU(欧州連合)訪問(2)：EUと日本の関係について / アストリッド・ベッカー (p.39-41)
 741. 資料：EC/EUの女性政策立案の実施：女性政策決定のプロセス / 濱口桂一郎 (p.42-46)
 742. 基調講演：カタリストの使命はビジネスにおける女性の進出 / ジョー・M・ワイズ (p.48-55)

743. 優良企業は女性が活躍している！：アメリカ勝ち組企業に学ぶ：ウィメンズイニシャティブ設立記念東京シンポジウム,大阪シンポジウム(p.56-59)
744. 女性とリーダーシップ：ウィメンズイニシャティブ設立記念大阪ワークショップ(p.60-63)
745. 女性監督の台頭,キーワードは“再生の物語” / 高橋英子(p.65-70)
746. インタビュー：「ステキな女性」ニューヨーク編：原島とし子さん(p.77-79)
747. 特定非営利活動法人女性と仕事研究所の活動方針(p.84-86)

女性と労働21 [10-37] (2001.07)

特集：構造改革基本方針を斬る

748. 「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」への意見 / フォーラム・「女性と労働21」(p.6-26)

特集：労働法制の改革

749. 仕事と家庭の両立保障へ：育児・介護休業法の一部改正・継続審議へ(p.28-49)
750. 経済社会の変化に対応する円滑な再就職を促進するための雇用対策法の一部を改正する等の法律(要綱)(p.50-61)
751. 個別労働関係紛争の解決の促進に関する法律(p.62-71)
752. 平成12年度都道府県労働局雇用均等室における相談・個別紛争解決の援助の状況について / 厚生労働省(p.72-77)
753. 平成12年の働く女性の実情 / 厚生労働省(p.78-107)
754. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(p.108-114)
755. ストーカー行為等の規制等に関する法律(p.115-119)

女性と労働21 [10-38] (2001.10)

756. 成立したドメスティック・バイオレンス防止法 / 林陽子(p.6-12)
757. 女性差別撤廃条約実施状況第5回報告書に盛り込む事項についての意見 / フォーラム・「女性と労働21」(p.82-83)
758. 「女子差別撤廃条約実施状況第5回報告書に我が国の現状として報告すべき事項」についての意見 / 国際婦人年連絡会(p.84-87)
759. 募集・採用時の年齢制限の緩和へ：改正雇用対策法(再就職促進関連法)の指針(p.88-91)

女性ライフサイクル研究 [11] (2001.11)

特集：子どもの虐待

760. 子どもの虐待の理解と変遷 / 村本邦子(p.4-10)
761. 危機介入：虐待事例への危機介入的アプローチ / 前田研史(p.12-22)
762. 被虐待児の治療：被虐待児の心理と治療的アプロ

- ーチ：セラピストとケアワーカーによる治療的関わり / 西順子(p.24-34)
763. 子どもの日常を支える専門家：子どもに関わる専門家ができることと,そのメンタルヘルスを考える / 津村薫(p.36-44)
764. 子どもの日常を支える専門家：援助者のメンタルヘルス / 村本邦子(p.45-47)
765. 子どもと日常的に関わる人：虐待の被害から子どもを守るために,周囲の大人にできること / 窪田容子(p.50-58)
766. サバイバー：虐待サバイバーの回復 / 村本邦子(p.60-65)
767. 虐待者：「虐待の連鎖」を断ち切る / 村本邦子(p.66-75)
768. 虐待者：虐待のサイクルを断ち切るために：回復に向けての日々 / Koh(p.76-83)
769. 予防：虐待予防の実践：女性ライフサイクル研究所の試みから / 前村よう子(p.84-93)
770. システムと法：子ども虐待の対応について：施行後の児童虐待防止法を考える / 新恵里(p.96-108)

女性労働研究 [40] (2001.07)

特集：派遣労働とジェンダー

771. 女性差別禁止立法から幅広い雇用差別禁止立法へ / 浅倉むつ子(p.7-16)
772. 改正労働者派遣法と派遣労働の変化 / 中野麻美(p.17-26)
773. 登録型派遣と女性労働 / 桜井絹江(p.27-37)
774. 製造業における労働力の流動化 / 大槻奈巳(p.38-48)
775. 労働相談窓口からみた派遣労働の変化 / 関根秀一郎(p.49-58)
776. 住友メーカー男女賃金差別裁判と裁判官のジェンダー・バイアス：住友電工・住友化学事件の不当判決と,住友金属事件における裁判官忌避申し立てをめぐって / 原野早知子(p.59-67)
777. 住友電工より後退した住友化学判決 / 石田絹子(p.68-73)
778. 住友電工裁判と私 / 白藤栄子(p.74-80)
779. 男女平等の職場をめざして / 浜田邦子(p.81-87)
780. 日立：男女差別是正のたたかい：主張と和解内容について / 堀口暁子(p.88-93)
781. オランダ・モデルをどう評価すべきか / 伊田広行(p.94-96)
782. アメリカにおける生活賃金キャンペーンのたたかい：「労働運動・女性・コミュニティ」ステファニー・ルースの報告から / 野崎光枝(p.97-98)
783. 記者の目ジェンダーの目：女性労働問題が報道されにくいわけ / 竹信三恵子(p.100-103)
784. 法廷から：ベイ・エクイティを女たちの手に：京ガス男女賃金差別事件 / 屋嘉比ふみ子(p.106-107)
785. 男女共同参画(1) / 浅野富美枝(p.108-111)
786. 職場レポート：中小企業の女性労働者のたたかい / 梶ヶ谷真由美(p.112-115)

787. 均等待遇2000年キャンペーン：均等待遇・キャンペーンからアクションへ / 広木道子 (p.116-117)
788. 首都圏青年ユニオン結成から半年 / 阿久津光 (p.118-119)
489. パートタイム労働の国際比較：パートタイム労働の類型化に向けて / 田中裕美子 (p.120-131)

世界と人口 [328] (2001.07)

790. ジョイセフの国際プロジェクトから(3)：ベトナム：草の根の協力：リプロダクティブヘルスの現状 / 勝部まゆみ (p.8-17)
791. 日本のリプロヘルス / ライツのあけぼの：久保秀史, 村松稔に聞く(7)：モデル村で指導始まる / 西内正彦 (p.18-23)
792. 国際協力の現場から：ジャマイカ：思春期のリプロダクティブ・ヘルス / 大西英之 (p.32-35)
793. インターネットでみる海外の人口事情(29)：1999年センサスによるベトナムの人口(2) / 大友篤 (p.38-45)

世界と人口 [329] (2001.08)

794. 日本のリプロヘルス / ライツのあけぼの：久保秀史, 松村稔に聞く(8)：政府が受胎調節指導に乗り出す / 西内正彦 (p.16-21)
795. 第5回「加藤シヅエ賞」, 「ダルク女性ハウス」と「アジアの女性と子どもネットワーク」の2団体に (p.22-23)
796. インターネットでみる海外の人口事情(30)：オーストラリア人口の結婚・出生・高齢化 / 大友篤 (p.32-40)
797. IPPEの窓から(3)：レソト家族計画協会：女性用コンドーム普及活動 / 稲岡恵美 (p.41-43)
798. 平成12年国勢調査からみた我が国の三世帯世帯及び専業主婦の状況 / 西文彦 (p.44-49)
799. 第1回リプロダクティブ・ヘルス指導者セミナー：地域に根ざしたリプロダクティブ・ヘルス推進のためのNGOの能力強化を目指して (p.50-53)

世界と人口 [330] (2001.09)

800. ジョイセフの国際プロジェクトから(4)：フィリピン：リプロダクティブ・ヘルスの推進：自治体を巻き込んだモデルづくり / 西田良子 (p.8-20)
801. 日本のリプロヘルス / ライツのあけぼの：久保秀史, 村松稔に聞く(9)：企業が始めた家族計画運動 / 西内正彦 (p.22-27)
802. 若者たちの熱い一週間：アジア地域思春期ワークショップ / 勝部まゆみ (p.28-34)

世界と人口 [331] (2001.10)

803. ジョイセフの国際プロジェクトから(5)：タンザニア：進化していくIP：草の根ボランティアとともに / 角井信弘 (p.3-13)
804. 日本のリプロヘルス / ライツのあけぼの：久保秀史, 村松稔に聞く(10)：途上国・日本の家族計画

- に,世界が注目 / 西内正彦 (p.18-23)
805. 海外の人口事情(31)：イスラーム社会の人口と都市化 / 店田廣文 (p.55-65)

世界と人口 [332] (2001.11)

806. ジョイセフの国際プロジェクトから(6)：グアテマラ：マヤの誇りの継承者：インディヘナの保健向上を目指して / 本間真理子 (p.8-17)
807. 日本のリプロヘルス / ライツのあけぼの：久保秀史, 村松稔に聞く(11)：日本家族計画普及会が発足 / 西内正彦 (p.18-24)
808. インターネットでみる海外人口事情(32)：1999年センサスにみるフランスの人口構造 / 大友篤 (p.34-42)

世界と人口 [333] (2001.12)

809. 日本のリプロヘルス / ライツのあけぼの：久保秀史, 村松稔に聞く(12)：低所得者層に家族計画普及特別対策 / 西内正彦 (p.8-13) 委
810. ジェンダーの視点から見るインテグレーション・プロジェクト(IP)の農村女性に対する影響 / 彬彬 (p.16-24)
811. インターネットでみる海外の人口事情(33)：1999年センサスにみるフランスの人口構造 / 大友篤 (p.25-33)
812. 平成12年国勢調査からみた我が国の若年未婚者の親族との同居の状況 / 西文彦 (p.46-51)
813. IPPFの窓から(5)：イラン家族計画協会：アフガン難民支援 / 稲岡恵美 (p.54-57)

世界の児童と母性 [51] (2001.10)

- 特集：子ども家庭福祉援助実践の新たな展開
814. ファミリー・ソーシャルワークの展望 / 伊部恭子 (p.6-9)
815. 地域における子ども家庭福祉のサポートネットワーク / 片岡玲子 (p.10-13)
816. 児童虐待防止法の実践と見直し / 磯谷文明 (p.14-17)
817. 児童相談所における「虐待対策課」の活動 / 赤津勇 (p.18-21)
818. 家庭復帰の願いを込めて：家庭支援専門相談員：現状と課題 / 石川友子 (p.30-33)
819. 母子生活支援施設における緊急一時保護について / 宮下慧子 (p.34-37)
820. ファミリー・サポート・センター事業 / 桑山昭子 (p.38-41)
821. 求められる育児支援路交館地域子育てセンターの実践から / 岡戸淳子 (p.42-45)
822. 緊急一時保育所の子育て支援 / 岸和田かおり (p.46-49)
823. 民間シェルターから見えるDVの実態と子どもたち / 阿部裕子 (p.58-61)
824. 認定ベビーシッターと今後の課題 / 中館慈子 (p.62-64)

大航海 [39] (2001.10)

特集：フェミニズムは終わったか？

825. 虹色の返答：ただしくない、かためない、あきらめない、りこうじゃない現場仕様のフェミニズム / 中村和恵 (p.42-47)
826. インタビュー：フェミニズムの歴史と現在 / 上野千鶴子, 三浦雅士 (p.48-73)
827. インタビュー：フェミニズムは新しい時代に入った：フェミニズムの現在 / 竹村和子 (p.74-87)
828. ホモソーシャリティとホモセクシュアリティ：セジウイックの視点 / 上原早苗 (p.88-93)
829. 「女性の視点」を超えて：「男女共同参画」時代のフェミニズム / 瀬地山角 (p.94-99)
830. フェミニズムを古びさせるのは誰か？ / 加藤秀一 (p.100-107)
831. 対談：誰かに惹かれることの社会性 / 鷲田清一, 吉澤夏子 (p.108-122)
832. インタビュー：「父」なき社会のフェミニズム / 宮崎哲弥 (p.123-131)
833. フェミニズムに期待すること / 赤川学 (p.132-144)
834. 女は存在し(てはなら)ない？：フェミニズム批評への一歩前進二歩後退 / 高澤秀次 (p.145-153)
835. 対話：家族は人間の条件か？ / 山極寿一, 落合恵美子 (p.154-172)
836. 脳にきざまれるジェンダー：脳科学者から見た女と男 / 貴邑富久子 (p.173-181)
837. 「日本のフェミニズム」とは何か？ / 千田有紀 (p.182-198)
838. フェミニズムと日本美術史：その方法と実践の具体例 / 千野香織 (p.199-207)

中央評論 [231] (2000.05)

特集：中央大学におけるジェンダー論

839. 中央大学における男女共同参画とジェンダーあれこれ / 広岡守穂 (p.20-27)
840. 中央大学における女性学教育 / ゆのまえ知子 (p.28-33)
841. 憲法におけるジェンダー / 植野妙実子 (p.34-38)
842. 労働法とジェンダー論 / 山田省三 (p.39-44)
843. 生命倫理と女性の人権 / 藤野美都子 (p.45-50)
844. ジェンダー論をこえて：フランスと日本の女性研究の現状から出発して / 天野千穂子 (p.51-57)
845. ジェンダー概念と歴史認識 / 長野ひろ子 (p.58-63)
846. ジェンダー・セックス二元論を超えて：『エム・バタフライ』を読む / 近藤弘幸 (p.64-69)
847. セクシュアル・ファンタジー / 矢島正見 (p.70-75)
848. ジェンダーを囲い込む, ジェンダーを解放する, ジェンダーの奥を見る / 内山田康 (p.76-83)
849. ソクラテスが教えを乞うた女性：アスパシア：ある日の講義ノートから / 土橋茂樹 (p.127-136)

850. 自然科学研究を職業とした私の自分史 / 中村方子 (p.137-147)

賃金と社会保障 [1303] (2001.08)

特集：リビング・ウェッジ(生活賃金)とは何か

851. 資料：自治体入札・委託契約制度研究会中間報告 / 全日本自治団体労働組合 (p.23-30)

賃金と社会保障 [1308] (2001.10)

特集：小泉内閣の保育改革

852. 小泉内閣の保育改革：その思想と手法 / 垣内国光 (p.4-14)
853. 小泉内閣の保育改革方針と厚生労働省の主張 (p.15-40)
854. 保育サービスの拡充, 保育所の規制緩和に関する厚生労働省の施策と関連資料 (p.41-64)
855. 自治体保育事業への民間企業の参入：東京三鷹市の保育園民営化関係資料 (p.65-83)
856. 東京都が進める認証保育所制度とはどういうものか (p.84-94)

賃金と社会保障 [1309] (2001.11)

857. 調査データ：介護労働の実情：介護分野事業所調査・厚生労働省(平成13年7月31日発表) (p.44-53)

賃金と社会保障 [1310] (2001.11)

858. 日本保育協会怒る！ (p.4-7)
859. 政府の総合雇用対策：雇用の安定確保と新産業創出を目指して：産業構造改革・雇用対策本部決定 (p.33-38)
860. 介護ビジネス参入企業の実情：業界大手企業：ヒアリング調査 / 立命館大学芝田ゼミナール (p.47-64)

賃金と社会保障 [1311] (2001.12)

特集：最低賃金制の考察：所得保障のナショナル・ミニマム：試論的問題整理(2)

861. 貧困ライン・最低賃金制・リビングウェッジ：アメリカ・イギリスの動向と日本の読み方 / 小越洋之助 (p.4-23)

賃金と社会保障 [1312] (2001.12)

862. 資料・調査データ：平成12年介護サービス施設・事業所の実情：厚生労働省調査 (p.24-39)
863. 介護ビジネス参入企業の実情(3)：在来の会社・人材派遣業・鉄鋼メーカー：ヒアリング調査 / 立命館大学芝田ゼミナール (p.40-53)

日本家政学会誌 [52-8] (2001.08)

864. 家政学をになう家政系出身者から(2)：「家政学」と出会って / 麻見直美 (p.49-51)
865. 子どもをめぐる人間関係(7)：殺人を犯した少年の人格特性と親の養育態度：「重大少年事件の実証的研究」から / 原口幹雄 (p.69-76)

日本家政学会誌 [52-9] (2001.09)

866. 蘭・米の「生産費」調査統計への女性労働の反映 / 伊東瑞恵 (p.13-21)
867. 中国の市場経済体制変革期における相互扶助体系調査(第1報): 精神的扶助の主体変化 / 劉彩鳳, 長嶋俊介 (p.23-30)
868. 中国の市場経済体制変革期における相互扶助体系調査(第2報): 金銭・物質的扶助の主体変化 / 劉彩鳳, 長嶋俊介 (p.31-38)
869. 大学生における食の満足感に影響を及ぼす因子 / 田辺由紀, 金子佳代子 (p.51-60)
870. 家政学をになう家政系出身者から(3): 22年をふりかえって / 和田今日子 (p.95-97)
871. 子どもをめぐる人間関係(8): テレビメディア社会の中に生きる子ども: 児童期から青年期へ / 角谷詩織, 無藤隆 (p.113-120)

日本家政学会誌 [52-10] (2001.10)

872. 食事の質, 共食頻度, および食卓の雰囲気は中学生の心の健康に及ぼす影響 / 川崎末美 (p.1-13)
873. 平安時代の喪服: 諷刺装束を中心に / 増田美子 (p.51-60)
874. 家政学をになう家政系出身者から(4): 調理科学研究に夢とロマンを求めて / 勝田啓子 (p.93-96)
875. 暮らしと安全(25): 間違ったダイエットの骨への影響 / 江澤郁子 (p.107-112)

日本家政学会誌 [52-11] (2001.11)

876. 介護保険制度下における「介護家事労働」の社会化と生活福祉経営 / 伊藤純, 伊藤セツ (p.15-22)
877. 家族の個別化・凝集性と中学生の自尊感情 / 長津美代子 (p.23-36)
878. 『ギャルリー・デ・モード』にみる服飾: 略装モードとイギリス趣味 / 西浦麻美子 (p.53-60)
879. 大学生の生活情報に対する満足度の実態分析: ストック情報とフロー情報の概念を導入して / 滝山桂子, 益本仁雄 (p.73-86)
880. 家政学をになう家政系出身者から(5): 家庭科は大変だけど, 面白い! / 小谷教子 (p.93-95)

日本家政学会誌 [52-12] (2001.12)

881. 第一線で活躍する家政系出身者から(46): 中小企業とともに歩んで / 竹内由美子 (p.47-48)
882. 家政学をになう家政系出身者から(6): 「老い」の豊かさに触れて / 池田洋子 (p.49-51)

日本子ども家庭総合研究所紀要 [37] (2001.03)

883. 子ども虐待に関する研究(4): 児童養護施設における子どもの権利擁護に関する研究(その1) / 高橋重宏 [ほか] (p.7-35)
884. 子ども虐待に関する研究(4): 日韓の子ども虐待と家庭内暴力に関する研究(その2) / 高橋重宏 [ほか] (p.37-47)
885. 子ども家庭相談体制のあり方に関する研究(1):

市町村保健センターの運営実態と子ども家庭福祉相談体制の課題 / 柏女豊峰 [ほか] (p.49-63)

886. 子ども家庭相談体制のあり方に関する研究(1): 保育所実施型地域子育て支援センター(小規模型)の運営及び相談活動分析 / 山本真実 [ほか] (p.65-78)
887. 里親制度の現状と課題(1): 欧米における里親養育研究の動向(1990~1999) / 庄司順一 [ほか] (p.79-95)
888. 少子社会における個人および社会の養育力に関する母子保健学的研究 / 宮原忍 [ほか] (p.97-115)
889. こころの言葉考: 自分づくり・心の安全基地・他者 / 川井尚 (p.205-209)
890. 平成12年度 児童環境づくり等総合調査研究事業: 子育て環境の変化と虐待傾向にある母親が望む子育てサービス / 加藤曜子 [ほか] (p.211-221)

日本ジェンダー研究 [3] (2000.08)

特集: 高齢化社会におけるジェンダー問題

891. Social Well-being の視点からみた高齢期のジェンダー問題 / 大塩まゆみ (p.3-15)
892. 地域在住高齢者における健康関連の生活の質と日常生活身体活動量評価の検討: 男性と女性との相違に関する一考察 / 村木敏明 (p.17-29)
893. ジェンダー・ポリティクスの日本的展開 / 進藤久美子 (p.31-44)
894. 「男らしさ」の崇拜: トーマス・マンと同性愛 / 橋本郁子 (p.45-57)
895. 言語政策における「女性語»: 戦時期, 国語協会と女子教育家の出会いの意味 / 鷲留美 (p.59-69)
896. 地方自治体における男女共同参画関連施策推進の実情に関する調査報告: 市レベルを中心として / 香川孝三 (p.71-83)

年報 [13] (1999.03)

897. 古代中世の「いとま(暇)」の示唆すること / 東辻保和 (p.51-58)
898. ワイルドの母 スペランツァの結婚 / 貝嶋崇 (p.59-64)
899. スタイル・マニュアルと性差別表現 / 金野伸雄 (p.82-69)

発達 [22-87] (2001.07)

900. 家族パスワード(35): 家族周辺の性 VS 事件 / 団士郎 (p.82-85)

ファムポリテイク = Femme politique [33] (2001.09)

901. たたかうフランスの農民たち: Agiculture -ほんものの農業を求めて / 降旗あつ子 (p.6-8)
902. 女性議員のページ: 今大地晴美さん / 甘利てる代 (p.9)

903. 男性助産婦なぜ悪い? / 陣内泰子(p.16-17)

ファミポリティク=Femme politique [34]
(2001.12)

904. 同時多発テロと民族差別 / 辛淑玉, 伴野準一
(p.2-5)

905. 人間の尊厳を危うくする「人クローン規制法」/
鈴木由美子(p.6-10)

906. 女性議員のページ: 狩俣信子さん / 甘利てる代
(p.11)

907. 韓国女性の社会進出 / 黒岩秋子(p.12-13)

908. 女性のための政治スクール: バックアップスクール
in 大分(p.19)

婦人新報 [1211] (2001.08)

909. 扶桑社版・歴史教科書検定合格の意味を考える /
君島和彦(p.2-5)

910. 2001年5・3憲法集会: 生かそう憲法, 高くかかげ
よう第9条 / 西貝洋子(p.15-17)

911. 子どもの商業的性的搾取に反対する第一回世界会
議(ストックホルム): 「第5回フォロオアアップ
会議」開催! / 宮本潤子(p.20-21)

912. 2001年世界禁煙デー報告: 受動喫煙はまわりの人
を殺す: きれいな空気を! / 松本成子(p.22-23)

婦人新報 [1212] (2001.09)

特集: “DV法” 成立

913. DV法をよりよいものに: DV法全国連絡会の結成
とDV法の見直し / 井口博(p.2-5)

914. 夫から妻への暴力は犯罪!: HEL p からみたDV
法 / 大津恵子(p.6-8)

915. 当事者女性のためのDV法を求めて: これまでの
「ばんだね」の活動から / 三鬼和子(p.9-11)

916. フィリピン母子支援からDV被害者支援ネットワ
ーク鳥取設立まで / 梅林智子(p.12-14)

917. 女性の人権確立法(仮称)をめざして / 高橋喜久江
(p.15-17)

婦人新報 [1213] (2001.10)

特集: ステップハウス一周年を迎えて

918. 矯風会ステップハウス船出して1年 / 柿澤路得子
(p.2-3)

919. ステップハウスの利用状況(p.8)

920. 自分を取り戻すためのステップハウス / 山崎啓子
(p.9)

婦人新報 [1214] (2001.11)

921. アルコール: それぞれの体験 / 竹井剛 [ほか]
(p.2-15)

922. 新しい歴史教科書をつくる会主導の中学歴史・公
民教科書を不採択に: 各地での取り組み・反応
(p.21-23)

婦人新報 [1215] (2001.12)

923. フィリピン・スタディーツアー報告: 子どもたち
の瞳は輝いて / 加藤信子(p.8-9)

924. ECPATアジア・太平洋地域会議(於台湾): 共に闘
おう、国境をこえた子どもの商業的性的搾取根絶の
ために / 斎藤恵子(p.16-17)

925. 我が国の断酒活動: 第36回日本アルコール・薬物
医学会シンポジウム / 松本成子(p.18-19)

婦人新報 [1216] (2002.01)

926. 特別講演(要旨): ジェンダーと性暴力: 男はどう
つくられるのか / 村瀬幸治(p.2-5)

927. 第4回韓日NCC女性委員会連帯・交流会議: 韓
国のミリアムたちと出会って / 北村恵子(p.16-
17)

928. 途上国の債務と貧困ネットワーク: アフリカのエイ
ズと貧困・債務のいま / 麻生和子(p.19)

929. 人身売買の根絶に向けた2001年シンポジウム: 韓
国の売春防止法改正に向けて / 大津恵子, ステフ
ァニー・ラル(p.20-21)

婦人通信 [508] (2001.02)

930. このままでいいのか介護保険 / 吉澤澄子 [ほか]
(p.4-14)

931. 21世紀の道具と暮らし: 「コンピューターおばあ
ちゃんの会」 / 大川加世子(p.16-18)

932. 男子学生にジェンダーを教える: 男女共同参画社
会への可能性 / 斎藤悦子(p.20-22)

933. 2001年らいてうへの旅(2): 最初の記憶: 「父の
近代」との葛藤 / 米田佐代子(p.24-25)

934. 日本軍性奴隷制を裁く: 女性国際戦犯法廷(p.26-
29)

935. 文学に描かれた女性像: D・H・ロレンス『息子
と恋人』 / 山本千恵(p.40-41)

936. 平和あればこそ(6) / 伊藤正子(p.42-44)

婦人通信 [516] (2001.09)

937. 2001年らいてうへの旅(9): 我等の家: 子育てと
「協同自治社会」 / 米田佐代子(p.30-31)

938. 絵画にみる女性像(6): ジェンダーの視点で見る
美術史入門: 『つくる会教科書』の美術作品の扱
い方 / 池田忍(p.32-33)

939. 歴史のなかの女のからだ(4): 間引きする夫婦 /
沢山美果子(p.34-35)

940. 文学に描かれた女性像: ソートン・ワイルダー
『わが町』 / 瀬野とし(p.42-43)

941. 平和あればこそ(12) / 伊藤正子(p.44-46)

婦人通信 [517] (2001.10)

942. シドニー通信: パートタイムを希望する女性達 /
西垣和美(p.24-27)

943. 2001年らいてうへの旅: 「宇宙民」と「国民」:
戦時下を生きる / 米田佐代子(p.30-31)

944. 絵画にみる女性像: ジェンダーの視点で見る美術
史入門(7): 「信貴山縁起絵巻」の旅する尼 / 池

- 田忍(p.32-33)
945. 歴史のなかの女のからだ(5) : はらみ月を知る / 沢山美果子(p.34-35)
946. 文学に描かれた女性像 : A・コロantai『赤い恋』 / 山本千恵(p.42-43)
947. 平和あればこそ(13) / 伊藤正子(p.44-46)

婦人通信 [518] (2001.11)

948. 結婚・わたしの場合 : シングル・できちゃった婚・事実婚・同棲etc / 尾崎由美子 [ほか] (p.4-12)
949. 21世紀に輝け9条「女性の憲法年」 : 国連で孤立する日本政府 : 性奴隷制度犠牲者と教科書問題の議論に参加して / 吉田典裕(p.22-23)
950. 韓国レポート : 女性労働者の健康問題 / チェ・ウンヒ(崔銀姫)(p.26-28)
951. 2001年らいてうへの旅(11) : 大きな太陽 : 戦後「世界平和」構想 / 米田佐代子(p.30-31)
952. 絵画にみる女性像 : ジェンダーの視点で見る美術史入門(8) : 「信貴山縁起絵巻」の尼の役割 / 池田忍(p.32-33)
953. 歴史の中の女のからだ(6) : 捨子の運命 / 沢山美果子(p.34-35)
954. 文学に描かれた女性像 : エリザベス・ギヤスケル『メアリ・パートン』 / 瀬野とし(p.40-41)

婦人通信 [519] (2001.12)

955. 女が家を空ける時 : 単身赴任 : 山登り : 試合 : 公演 / 松葉口玲子 [ほか] (p.4-12)

特集 : たたかって前進

956. 知事セクハラとたたかって / 田中萌子(p.14-16)
957. 総合商社ニチメン : 自宅待機を撤回させ / 伊藤たえ子(p.16-17)
958. カンタス航空 : 契約制から正社員で復職 / 海沼み子(p.18-19)
959. 従軍「慰安婦」問題の解決に向けて / 大森典子(p.20-21)
960. 芝信用金庫 : 日本初の昇格を認めた判決 / 浜田邦子(p.22-23)
961. 居酒屋チェーン白木屋 : いやがらせにもめげず勝利の和解 / 荒木好江(p.23-25)
962. 2001年らいてうへの旅(12) : エピローグ「憲法を守りぬく覚悟」 / 米田佐代子(p.28-29)
963. 絵画にみる女性像 : ジェンダーの視点で見る美術史入門(9) : 「華嚴宗祖絵巻」に見る信仰と献身 / 池田忍(p.30-31)
964. 歴史のなかの女のからだ(7) : 女の病・女の薬 / 沢山美果子(p.32-33)
965. 文学に描かれた女性像 : ジッド『未完の告白』 / 山本千恵(p.40-41)
966. 平和あればこそ(15) / 伊藤正子(p.44-46)

婦人通信 [520] (2002.01)

967. 世界から平和のメッセージ : 戦争でテロはなくせない / フローレンス・エルベ [ほか] (p.1-13)
968. クルド民族が平等にくらせるトルコに / 片岡文子(p.24-25)
969. みんなが「百人のらいてう」になるとき : 「らいてうへの旅」を書き終えて / 米田佐代子(p.28-29)
970. 絵画にみる女性像 : ジェンダーの視点で見る美術史入門(10) : 母子像(1) / 池田忍(p.30-31)
971. 歴史のなかの女のからだ(8) : 胎児へのまなざし / 沢山美果子(p.32-33)
972. 文学に描かれた女性像 : パルザック『アデュール』 / 瀬野とし(p.36-37)

婦人通信 [521] (2002.02)

973. 男のいきづらさ / 高橋ふみ子 [ほか] (p.4-15)
974. はたらく人はみんな仲間 : 首都圏移住労働者ユニオンを結成して / 本多ミヨ子(p.28-31)
975. 子どもの権利条約を生かすNGO報告書づくりを大きくひろげ / 三宅良子(p.32-33)
976. 絵画にみる女性像(11) : ジェンダーの視点で見る美術史入門 / 池田忍(p.34-35)
977. 歴史のなかの女のからだ(9) : 出産の近代 / 沢山美果子(p.36-37)
978. 文学に描かれた女性像 : ポビー・アン・メイソン『イン・カントリー』 / 山本千恵(p.38-39)

婦人之友 [95-10] (2001.09)

特集 : 食がつくる「人間力」

979. シニアの食事「おいしく たのしく」を援ける : お惣菜屋さんと配食サービス(p.30-35)
980. 時代をひらく人々(18) : テーマは「平和」と「女性」 / 北沢洋子(p.76-81)

婦人之友 [95-11] (2001.10)

981. 地球の起源と未来を探して : 猿橋賞を受賞した永原裕子さん(p.9)
982. 10弦が奏でる音 : 世界で2人目の女性ギタリスト柿沼苗由美さんと父宏嗣さん(p.10-11)
983. 時代をひらく人々(19) : ママはべんきょう魔 / 森洋子(p.68-74)

婦人之友 [95-12] (2001.11)

984. 時代をひらく人々(20) : 便利さ 優しさ 美しさの追求 / 鴨志田厚子(p.76-81)

婦人之友 [95-13] (2001.12)

985. 時代をひらく人々(21) : 暴力に代わるパワーを / 森田ゆり(p.40-45)

婦人之友 [96-1] (2002.01)

986. 世紀を共に歩む・読者訪問(1) : まっすぐ生きる

よるこび：前田須磨さんを訪ねて(p.70-74)

< 保育園を選ぶとき・あずけるとき >

987. 「家事も仕事も」私の選択と準備 / 手塚美穂子 (p.127-130)
988. 「よく見てよく聞いて」選ぶ / 善光院亜紀 (p.131-133)

婦人之友 [96-2] (2002.02)

特集：もっとコミュニケーション 女性が語る家庭のパソコン・インターネット

989. パソコン・インターネット「使っていない人」に聞きました：「使っている人」に聞きました(p.16-26)
990. 親の考える「子どもとインターネット」：よい環境作りは親子の対話から：NPO「ねちずん村」の活動(p.30-33)
991. IT(情報技術)社会の近未来：双方向の大量高速通信網がわが家にきたら：NTT武蔵野研究開発センターを訪ねて(p.36-38)

別冊発達 [24] (2001.12)

特集：乳幼児精神保健の新しい風：子どもと親の心を支える臨床の最前線

992. 乳幼児精神保健の新しい動向：心を守り育てる子宮のような親子臨床をめざして / 渡辺久子 (p.2-11)
993. 自閉的行動の早期の成り立ちとアタッチメント理論による治療アプローチについて / ジョン・リチャー, 渡辺久子訳 (p.12-21)
994. 愛着と抱きかかえる環境 / ジュリエット・ホブキンス, 渡辺久子訳 (p.22-31)
995. 赤ちゃんの話しかけようとする意欲 / コルウィン・トレヴァーセン, 渡辺春子訳 (p.32-39)
996. フィンランドの乳幼児精神保健について：トゥーラ・タミネン教授たちの活動 / 本間博彰 (p.40-48)
997. 周産期障害と精神科母子入院ユニット / 吉田敬子 (p.49-61)
998. 乳幼児期における自己の発達 / 古澤頼雄 (p.62-72)

< 周産期 >

999. 産後うつ病に罹患した母親とその乳幼児を支えるには / 鈴木廣子 (p.74-80)
1000. NICUにおける心理的サポート / 永田雅子 (p.81-90)
1001. カンガルーケア / 堀内勁 (p.91-103)
1002. リスクをもつ家族へのケア / 橋本洋子 (p.104-112)
1003. 赤ちゃんが亡くなった時 / 橋本洋子 (p.113-122)
- < 乳幼児期 >
1004. 育児不安 / 吉永陽一郎 (p.133-141)
1005. 虐待された乳幼児の心 / 小林美智子 [ほか] (p.170-178)

< 思春期以降の臨床例にみる乳幼児期の問題 >

1006. 思春期の精神保健と乳幼児期 / 清水将之 (p.179-185)
1007. 不登校と乳幼児期との関連について / 川畑友二 (p.186-194)
1008. 摂食障害と乳幼児期の問題 / 小倉清 (p.195-203)
1009. 非行と乳幼児期の問題 / 川頭信子, 澤田修 (p.204-214)
1010. 乳児院と虐待ケースのとりくみ / 新宮一夫, 渡辺久子 (p.216-228)

別冊発達 [26] (2001.12)

特集：子ども虐待へのとりくみ：子ども虐待対応の到達点とこれからの展望

1011. 子ども虐待対応の到達点と相談援助の課題 / 柏女霊峰 (p.2-13)
1012. 児童虐待防止法と子ども虐待防止制度の課題 / 才村純 (p.14-26)
1013. 児童相談所における対応と課題 / 津崎哲郎 (p.27-35)
1014. 家族から分離された子どもたち / 森望 (p.36-45)
1015. 医療機関における対応と課題 / 奥山眞紀子 (p.46-54)
1016. 保健所・保健センターにおける対応と課題 / 徳永雅子 (p.55-63)
1017. 司法機関における対応と課題 / 服部建 (p.64-71)
1018. 機関連携・ネットワーク構築の現状と課題 / 安部計彦 (p.72-79)
1019. 民間援助機関, 民間ネットワークの現状と課題 / 秋山正弘 (p.80-90)
1020. 親権をめぐる課題 / 平湯真人 (p.81-98)
1021. 親子の心のケアの現状と課題 / 西澤哲 (p.99-109)
1022. 地域ネットワークの現状と課題 / 松原康雄 (p.110-117)
1023. 子育ての背景 / 大日向雅美 (p.118-126)
1024. 資料解説：子ども虐待対応資料集 / 才村純 (p.1-100)

母子保健情報 [43] (2001.08)

特集：ハイリスク児の子育て支援

1025. ハイリスクマザーへの支援：不安を抱くお母さんへ / 南部春生 (p.8-13)
1026. 低出生体重児の親のニーズ：調査を中心に / 神谷育司 (p.24-28)
1027. 極低出生体重児の育児支援：神戸市の地域母子保健事業の試み / 高田哲 [ほか] (p.71-75)
1028. ふたごの子育て支援 / 天羽幸子 (p.92-95)
1029. 低出生体重児を持つ親の会：さんしょの会の紹介 / 三石知左子 (p.96-99)
1030. 10年ぶりに実施された平成12年度「幼児健康度調査」の概要 / 川井尚 (p.100-104)
1031. 「重大少年事件の実証的研究」からの知見 / 佐々木光郎 (p.105-109)

れんごう [132] (2001.06)

1032. 連合「保育ニーズに関する調査」(p.3-260)

労働時報 [54-6] (2001.06)

特集：女性労働者の均等取り扱い・活用状況と今後の課題(3)

1033. 平成13年度「均等推進企業表彰」厚生労働大臣努力賞受賞企業(p.26)

1034. 平成12年度都道府県労働局雇用均等室における相談・個別紛争解決の援助の状況について(p.27-29)

1035. ポジティブ・アクションをはじめましょう！：女性社員の能力発揮のために(p.30-32)

1036. 「新規大卒者の就職活動等実態調査」からみる就職活動と就業意識(p.33-35)

労務事情 [991] (2001.07)

特集：セクシュアルハラスメント防止への取り組み

1037. 判例にみるセクシュアルハラスメントと使用者の責任：厳しく求められる企業の労務管理上の責任 / 込田晶代(p.6-10)

1038. わが社のセクシュアルハラスメント防止への取り組み：事例1：東京ガス：だれもが『元気の出る職場』づくりに向けて / 黒永敬(p.11-21)

1039. わが社のセクシュアルハラスメント防止への取り組み：事例2：ノリタケカンパニーリミテッド：「セクハラ電話相談カード」を全社員に配布，正確な認識と予防するための意識の周知徹底に努める / 山科良三(p.22-25)

1040. 特集資料：職場におけるセクシュアルハラスメントの実効ある防止対策の徹底について / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課(p.26-32)

1041. 資料2：都道府県労働局雇用均等室が扱った指導事例の概要(p.33-35)

Newtonn [21-8] (2001.08)

特集：男と女のサイエンス

1042. 最新データが語る性のしくみ：男と女のサイエンス：心、からだ、生殖...性の不思議を解きあかす / デビッド・ベイジ [ほか] (p.26-59)

1043. 3人の遺伝子をもつ赤ん坊が誕生した：生殖医療現場の最先端で何が行われたのか？ / 竹内巧，田沼靖一(p.68-73)

WINET情報 [8] (2001.09)

1044. 海外女性情報：オランダIIAV(国際女性運動アーカイブ情報センター)とその活動について / 田中和子(p.15-16)

Women & work [137] (2001.09)

特集：パートタイム労働

1045. パートタイム労働者等非正規労働者の基幹労働力化の実態 / 武石恵美子(p.16-20)

1046. オランダのパートタイム労働と日本 / 長坂寿久(p.21-26)

1047. 「採用に携わる方のための選考ルールブック」で男女均等な採用選考を / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課(p.26-29)

1048. 女性の活用推進協議会の開催について：ポジティブ・アクションの推進に向けて / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課(p.32)

1049. ポジティブ・アクションを進めましょう：均等推進企業の取組 / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課(p.42)

1050. ポジティブ・アクションを進めましょう：企業から / 坂梨恒明，谷口奈美江(p.43-47)

Women & work [138] (2001.12)

特集：両立支援対策

1051. 対談：女性の人材活用のために：企業の役割 / 池田守男，岩田喜美枝(p.3-10)

1052. 基調講演：「両立ライフ」への道 / 樋口恵子(p.12-16)

1053. パネルディスカッション：少子化時代の企業の在り方を考える：仕事と家庭との両立がしやすい職場環境をつくるために / 樋口美雄 [ほか] (p.17-25)

1054. 「ファミリー・フレンドリー」企業表彰について / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局職業家庭両立課(p.26-28)

1055. 企業：ファミリー・フレンドリー企業への取組：NEC / 近藤誠司(p.29-31)

1056. 職業生活と家庭生活との両立支援対策の推進について / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局職業家庭両立課(p.32-33)

1057. コース別雇用管理制度の適正な運用を：総合職に占める女性の割合はわずか2.2%：法違反の是正指導とポジティブ・アクションへの取組を助言 / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課(p.34-37)

1058. 母子世帯の母への就業支援に関する調査結果の概要：望まれる就労・転職支援策の充実 / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局短時間・在宅労働課(p.38-39)

1059. 京都労働局雇用均等室発：伝統と先端が混在する京都から / 花田禮子(p.42-43)

テーマ展示図書案内

女性教育情報センターでは、「ヌエック新たなる飛翔 男女共同参画社会の形成をめざした『学び』と『活動』」を平成13年度の総合テーマとして、会館が所蔵している資料の紹介と、女性問題に対する課題解決に資するためにテーマ展示を実施しています。今回は2001年10月～2002年3月の資料リストをご紹介します。

10～12月

- テーマ
「いまボランティア活動がめざすもの」
- ねらい
2001年はボランティア国際年であり、我が国においてもボランティア活動への関心が高まっています。ボランティア活動周辺についてあらためて考えました。

2002年 1～3月

- テーマ
「ひとりで生きるということ」
- ねらい
若い世代の非婚化から老後のひとり暮らしまで、人生のさまざまな時期にひとりで生きることに社会的、経済的、精神的な面から考えました。

なお、平成14年度は「男女共同参画の形成を目指した『学び』と『活動』」を総合テーマに年4回の展示を行います。

- 4～6月 ● テーマ「家庭にひそむ暴力、DVと虐待の心理」
- 7～9月 ● テーマ「社会に参画するために」を予定しています。

凡例

No.書名：副書名 / 編著者
出版社（出版年）請求記号

 * 「いまボランティア活動がめざすもの」 *
 * (平成13年10月～12月) *

1. 一歩前へ！ボランティアコーディネーター：研ぎ澄まそう、時代を見極める能力 / 全国ボランティアコーディネーター研究会2000実行委員会編，筒井書房（2000）369.1 / I62
2. NPO・NGOガイド：21世紀のボランティア（現代用語の基礎知識：2001年版 別冊付録） / 自由国民社編 自由国民社（2001）813 / G34 / R
3. NPOが拓く新世紀：米ジョンズ・ホプキンス大学の「影響力分析」と日本のNPO / NPO研究フォーラム著 清文社（1999）335.8 / E64
4. NPO経営の成功事例（「NPOコンサルティング・プログラムに関する調査・研究」報告書：第2部） / NPOコンサルティング・研修開発委員会（1999）335.8 / N98
5. NPO最前線：岐路に立つアメリカ市民社会 / レスター M. サラモン [著] ; 山内直人訳・解説，岩波書店（1999）335.8 / N98
6. NPOデータブック / 山内直人編，有斐閣（1999）335.8 / N98
7. NPOと参画型社会の学び：21世紀の社会教育 / 佐藤一子編著，エイデル研究所2001（2001）379 / N98
8. NPO入門 / 山内直人著 日本経済新聞社（1999）335 / N98
9. 学習の成果を幅広く生かす：生涯学習の成果を生かすための方策について / 生涯学習審議会（1999）379.1 / G16
10. 学生のボランティア活動に関する調査研究報告書：学生のボランティア活動をすすめるために / 内外学生センター [編]，内外学生センター（2000）369.1 / G16
11. 企業の社会貢献活動とボランティア活動支援（ボランティア活動支援事例集：3） / 勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター（1999）369.1 / Ki16
12. 99夏!体験ボランティア活動先一覧 / 東京ボランティア・市民活動センター編，東京ボランティア・市民活動センター（1999）369.1 / Ky8
13. 教職員のボランティアガイドブック / 教職員生涯福祉財団，教職員生涯福祉財団（1999）369.1 / Ky5
14. コーディネート業務の視点：事例研究ワークブック 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター，全国社会福祉協議会（2000）369.1 / B65
15. 50歳からのふれあいボランティア：夫や子供に尽くすだけが人生じゃない！ / 主婦ボランティア研究会編著 日経事業出版社（1999）369.1 / G58
16. コンサルティングの意味とプログラム開発（「NPOコンサルティング・プログラムに関する調査・研究」報告書：第1部） / NPOコンサルティング・研修開発委員会（1999）335.8 / N98
17. 桜の聖母短期大学ボランティア活動報告集 / 池田洋子編，桜の聖母短期大学ボランティアセンター（1999）369.1 / Sa48
18. さわやかに地域へ、社会へ：勤労者のボランティア活動への支援を考える：広がれボランティアの輪 / 勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター [編]，勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター（1999）369.1 / Sa98
19. シニアのためのボランティアガイド / 田中ひろし監修；こどもくらぶ編著，同友館（2001）369.1 / Sh62 / R
20. 市民活動時代のボランティア / 小谷直道著 中央法規出版（1999）369.1 / Sh48
21. 生涯学習ボランティア・コーディネーター養成講座：プログラム開発と活動現場からの提言 / Vnet社会教育施設ボランティア交流会事務局 [編]，Vnet社会教育施設ボランティア交流会事務局（1999）369.1 / Sh95
22. 女性のためのボランティアガイド / 田中ひろし監修；こどもくらぶ編著，同友館（2001）369.1 / J76 / R
23. 世界ボランティア会議報告書 / 国際ボランティア推進協議会，全日本社会教育連合会（1999）369.1 / D19
24. 責任を共にする未来社会へのデザイン「ボランティア白書2001」編集委員会編集 / 日本青年奉仕協会（2001）369.1 / B65
25. 相談活動の基礎知識 / 全国社会福祉協議会（1999）369.1 / B65
26. それいけ！学校支援ボランティア / 明石要一，金子馨編，明治図書出版（1999）371.3 / So55
27. 第5回全国ボランティア活動推進連絡協議会：これからの教育とボランティア活動：新しい学びの世界を切り拓くために / 文部省（1999）379 / D17
28. 定年後のボランティア：中高年の新しい生き方 / 石田易司著，明石書店（1999）369.1 / Te26
29. 特集・介護保険と市民 / 大阪ボランティア協会編，大阪ボランティア協会（1999）369.1 / B65
30. 図書館ボランティア / 図書館ボランティア研究会 丸善（2000）015 / To72
31. 響きあう市民たち：NPOとボランティア入門 吉永宏著，新曜社（1999）335 / H54
32. 105人私のボランティア：勤労者ボランティア活動事例集 / 勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター編集 勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター（1999）369.1 / H99
33. 病院が変わるボランティアが変える：東大病院代表ボランティア・コーディネーターからの報告 渡邊一雄編著，はる書房（2001）369.1 / B98

34. フィランソロピーの思想：NPOとボランティア / 林雄二郎, 今田忠編, 日本経済評論社 (2000) 335 / F27
35. 婦人教育・家庭教育・ボランティア行政担当者会議資料 / 文部省生涯学習局男女共同参画学習課, 文部省生涯学習局男女共同参画学習課 (1999) 379.1 / F64
36. ボランティア学のすすめ / 内海成治編著, 昭和堂 (2001) 369.1 / B65
37. ボランティア学を学ぶ人のために 内海成治, 入江幸男, 水野義之編, 世界思想社 (1999) 369.7 / B65
38. ボランティア活動の進展と自治体の役割：山梨学院大学行政研究センター山梨学院大学大学院公共政策研究科公開シンポジウム / 山梨学院大学行政研究センター編, 公人の友社 (1999) 318 / B65
39. ボランティア活動を始めようと思っているあなたに / 東京ボランティア・市民活動センター [編], 東京ボランティア・市民活動センター (1999) 369.1 / B65
40. ボランティアグループ支援の基礎知識 / 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター 全国社会福祉協議会 (2000) 369.1 / B65
41. ボランティアコーディネーター活動事例集 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター 全国社会福祉協議会 (2001) 369.1 / B65
42. ボランティアコーディネーター白書 / ボランティアコーディネーター白書編集委員会編 大阪ボランティア協会 (1999) 369.1 / B65
43. ボランティア・コーディネーター養成講座：“現場”が集う！ / Vnet社会教育施設ボランティア交流会事務局 [編], Vnet社会教育施設ボランティア交流会事務局 (2000) 369.1 / B65
44. ボランティアと国民生活 / 経済企画庁国民生活局編 財務省印刷局 (2001) 365.5 / Ko48 / R
45. ボランティア都市実現のための基本戦略：心やさしい市民による支え合う地域づくり / 宮崎市ボランティア活動支援研究会編 ぎょうせい (1999) 318 / B65
46. ボランティアな生活：仕事だけが人生じゃない！ / 日経事業出版社編, 日経事業出版社 (1999) 369.1 / B65
47. ボランティアに対する個別活動支援ワークブック / 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター, 全国社会福祉協議会 (2001) 369.1 / B65
48. ボランティアの考え方 / 秦辰也著, 岩波書店 (1999) 369.1 / B65
49. ボランティアの世界：私が変わる・社会が変わる 吉村恭二著 築地書館 (1999) 369.1 / B65
50. ボランティアへの招待 岩波書店編集部編, 岩波書店 (2001) 369.1 / B65
51. ボランティア未来論：私が気づけば社会が変わる 中田豊一著 参加型開発研究所 (2000) 369.1 / R65
52. ボランティアを支える思想：超高齢社会とボランティアズム / 田尾雅夫著, アルヒーフ (2001) 369.1 / B65
53. マニラ発妻たちのピナトゥボ応援団：手さぐりの救援ボランティア / 佐藤育代, 遠藤康子著, 明石書店 (1999) 369.3 / Ma44
54. わかる・みつかる・できる：学生のためのボランティアガイド, 内外学生センター (1999) 369.1 / W25
55. わたしたちがつくる新しい「公共」 / ボランティア白書編集委員会編, 日本青年奉仕協 (1999) 369.1 / B65

< 地方行政資料 >

1. さりげなくさわやかにさいごまで：ボランティアの輪を広げるために / 北海道教育委員会, 北海道教育庁生涯学習部社会教育課, 北海道教育庁生涯学習部社会教育課 (1999) 369.1 / 11
2. 青森県生涯学習センターボランティアガイドブック 青森県総合社会教育センター 青森県総合社会教育センター (1999) 369.1 / 21
3. 初心者のためのボランティア活動ハンドブック / 青森県総合社会教育センター 青森県総合社会教育センター (2000) 369.1 / 21
4. 生涯学習ボランティア活動総合推進事業報告書：ボランティア活動のための『道標（みちしるべ）』 / 秋田県生涯学習センター, 秋田県生涯学習センター (1999) 369.1 / 24
5. YYボランティア活動事例集 / 山形県教育委員会編 山形県教育委員会 (2000) 369.1 / 25
6. 埼玉NPOつながりリスト / さいたまNPOセンター編 埼玉県 (2001) 335.8 / 34
7. 埼玉県ボランティア相談センターのあらまし / 埼玉県県民活動総合センター 埼玉県県民活動総合センター (2000) 379.2 / 34
8. 教員のための県民のためのボランティア入門講座：わたしのボランティア体験 / さわやかちば県民プラザ研修課, さわやかちば県民プラザ研修課 (2000) 369.1 / 35
9. 社会教育施設におけるボランティア研修の在り方 / さわやかちば県民プラザ, さわやかちば県民プラザ (1999) 379.2 / 35
10. 生涯学習ボランティアセンターにおけるボランティア・コーディネーターのあり方とその養成について (中間報告) / さわやかちば県民プラザ さわやかちば県民プラザ (2000) 369.1 / 35
11. 東京都生涯学習ボランティア活動推進事業：青少年ボランティア講座報告書 / 東京都教育庁生涯学習部社会教育課編, 東京都教育庁生涯学習部社会教育課 (2000) 369.1 / 36
12. 地域ヤングボランティア活動指導者・担当者研修会：地域ヤングボランティアグループ養成講座・交流会 石川県教育委員会事務局生涯学習課, 石川県教育委員会事務局生涯学習課 (2000) 369.1 / 43

13. まちの先生登録者名簿：いきいき・ふれあい生涯学習ボランティア / 石川県教育委員会事務局生涯学習課 石川県教育委員会事務局生涯学習課（1999）
369.1 / 43
14. 生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座実施報告書 / 岐阜県生涯学習センター 岐阜県生涯学習センター（2000） 369.1 / 53
15. 女性グループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック / 大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）企画推進グループ編，大阪府男女協働社会づくり財団（2001） 335.8 / 63
16. ボランティア団体名簿 / 鳥取県生活環境部県民生活課編，鳥取県生活環境部県民生活課（1999） 369.1 / 72
17. あなたにもできるボランティア活動 / 島根県立生涯学習推進センター 島根県立生涯学習推進センター（1999） 369.1 / 73
18. ボランティア活動ができる施設 / 島根県立生涯学習推進センター，島根県立生涯学習推進センター（2000） 369.1 / 73
19. 生涯学習ボランティアバンク / 山口県教育委員会 山口県教育委員会（2000） 369.1 / 77
20. 生涯学習ボランティア活動をすすめるために / 山口県教育委員会，山口県生涯教育センター（1999） 369.1 / 77
21. 生涯学習ボランティア活動総合推進事業報告書 / 山口県教育委員会 山口県教育委員会（2000） 369.1 / 77
22. “SMILE ボランティア、つなげよう、広げよう、明日へ！” / 山口県教育庁社会教育課編 山口県教育庁社会教育課（1999） 369.1 / 77
23. ふれあいナイスキャッチ かがわのボランティア活動：生涯学習ボランティア活動総合推進事業実施報告書 / 生涯学習ボランティア活動総合推進委員会編 香川県教育委員会事務局生涯学習課（2001） 369.1 / 82
24. 社会教育施設におけるボランティア活動の現状：調査報告1999 / 徳島県教育委員会生涯学習課編 徳島県教育委員会生涯学習課（2000） 369.1 / 81
25. 生涯学習ボランティア活動総合推進事業報告書 / 福岡県立社会教育総合センター編 福岡県立社会教育総合センター（1999） 369.1 / 91
26. まなびボランティアカレッジレポート'99 / まなびボランティアカレッジ修了者有志編 福岡市教育委員会社会教育課（2000） 369.1 / 91-Fu
27. ボランティア活動ガイドブック：大きくなーれボランティアの木 / 長崎県社会福祉協議会ボランティア振興センター編，長崎県県民生活環境部県民生活課（2000） 369.1 / 93
28. 生涯学習ボランティア受入施設ガイドブック / 熊本県教育委員会，熊本県教育庁社会教育課編 熊本県教育委員会，熊本県教育庁社会教育課（2000） 369.1 / 94
29. はじめましてボランティアです：ボランティアの手引き / 熊本県教育委員会，熊本県教育委員会（2000） 369.1 / 94
30. 生涯学習ボランティア活動総合推進事業報告書 / 大分県教育委員会，大分県教育委員会（1999） 369.1 / 95
31. 青少年を中心としたボランティア活動支援事業 / 大分県立生涯教育センター（大分県青少年ボランティアセンター） 大分県立生涯教育センター（2000） 369.1 / 95
32. ふれあいと生きがいを育むボランティア促進事業：あなたにもできるボランティア活動 / 鹿児島県教育委員会（社会教育課） 鹿児島県教育委員会（社会教育課）（2000） 369.1 / 97

 *
 * 「ひとりで生きるということ」 *
 * (平成14年1月～3月) *
 *

1. お城をもったシンデレラたち / 片岡理恵著
愛育社 (1997) 365.3 / 077
2. 女がひとりで生きるということ：すべては自分しだい
ゲイル・ラトクリフ, ハミッシュ・キース著; 関口和
子訳, 日本ヴォーグ社 (1997) 367.4 / 066
3. 女は結婚すべきではない：選択の時代の新シングル感
覚 / シンシア・S・スミス著; あわやのぶこ訳
中央公論社 (1996) 367.4 / 066
4. 一人の終の棲み家さがし：独身で老後を迎えた女性
たち / 大沢久子著, 主婦の友社 (2000) 367.7 / 066
5. 核家族から単家族へ / 匠雅音著, 丸善 (1997)
361.6 / Ka28
6. Q&A21世紀のお墓と葬儀：少子高齢・非婚化社会の
相談ガイド / 斉藤弘子, 長江曜子著
明石書店 (2001) 385.6 / Ky8
7. クロワッサン症候群その後 / 松原惇子著 文藝春秋
(1998) 367.4 / Ku78
8. 結婚しないかもしれない症候群 / 谷村志穂著
主婦の友社 (1996) 367.4 / Ke29
9. 結婚しませぬ (シリーズ女の決断:5)
グループRIM編, NTT出版 (1994) 367.4 / Ke29
10. 結婚モラトリアム症候群：30代独身女性の本音
長島ともこ著, 大和出版 (2000) 367.4 / Ke29
11. 結婚・離婚・再婚・シングル論：制度と性愛をめぐ
ってフォーラム, るな書房 (1997) 367.4 / F39
12. ゲンダイ親子関係とお金“親編”：独身社会人の子
どもを持つ父親・母親500名に聞く / ユーシーカード株
式会社経営企画部 [編], ユーシーカード株式会社経
営企画部 (2000) 367.3 / G34
13. 現代『親子事情』：20代独身社会人に聞く (“とみ
ん”意識調査シリーズ:no.29) / 東京都民銀行 [編]
東京都民銀行 (1993) 367.3 / G34
14. 高齢者の一人暮らしを支える多様な住まい：取材調
査にみる全国7地域の実態報告と提案 / 日本建築士会連
合会女性委員会, 日本建築士会連合会女性委員会
(1993) 367.7 / Ko79
15. 高齢者一人暮らし・夫婦世帯に関する調査結果 / 総務
庁長官官房老人対策室
総務庁長官官房老人対策室 (1995) 367.7 / Ko79
16. 30代男性の結婚意識と生活に関する調査報告と提言：
首都圏における30代男性の「未婚事情」 / 調査研究
委員会編, 日本青年館結婚相談所 (2000)
367.4 / Sa64
17. 新・シングルライフ / 海老坂武著, 集英社 (2000)
367.4 / Sh62
18. シングルOL・収支決算 / 第一勧業銀行
第一勧業銀行 (1994) 366.4 / Sh62
19. シングルウーマン白書 (シリーズ女・あすに生きる:16)
ツラ・ゴードン著, ミネルヴァ書房 (2001)
20. シングル女性の生活と意識に関する調査 / 東京都生活
文化局女性青少年部女性計画課, 東京都生活文化局女
性青少年部女性計画課 (1995) 367 / 36
21. シングル・スマイル・シニアライフ / 松原惇子著
文藝春秋 (2000)
22. シングル単位の社会論：ジェンダー・フリーな社会へ
伊田広行著, 世界思想社 (1998) 367.4 / Sh62
23. シングル単位の恋愛・家族論：ジェンダー・フリーな
関係へ / 伊田広行著, 世界思想社 (1998)
367.4 / Sh62
24. シングル男性の生活と意識に関する調査 / 東京都生活
文化局, 東京都生活文化局 (1997) 367 / 36
25. 性差別と資本制：シングル単位社会の提唱 (大阪経済
大学研究叢書:第27冊) / 伊田広行著, 啓文社 (1995)
367 / Se19
26. 世帯内単身者に関する実態調査報告書 / 国立社会保
障・人口問題研究所編 (2001) 365.5 / Se69
27. 単身者の食生活 / 食品産業センター
食品産業センター (1990) 596 / Ta89
28. 父と娘のパラサイト・シングル / 三浦朱門, さらだた
まこ著, KKベストセラーズ (2001)
29. 独身サラリーマン・OLの生活実態調査 (三和銀行ホ
ームコンサルタント調査レポート:no.195) / 三和銀
行 三和銀行 (1997) 365.5 / D83
30. 独身青年層の結婚観と子供観=Attitudes toward mar
riage and the family among the unmarried Japanese
youth / 厚生省人口問題研究所編
厚生省人口問題研究所 (1994) 358.1 / D83
31. 独身の価値の証明：幻想をもたない国の男女関係
趙学林著; 佐藤嘉江子訳, はまの出版 (2000)
367.4 / D83
32. 仲間と暮らす家づくり：シングル・高齢化を乗り切る
知恵 / 「21世紀の住宅」研究会編
日経BP出版センター (1994) 365.3 / N35
33. ニューシングルズ・パワー：マーケティング+女性学
の視点でみる / 大橋照枝著
東急エージェンシー出版事業部 (1992) 675 / N99
34. ノンバラ：パラサイトしない女たちの「本当」
山本貴代著, マガジンハウス (2001) 367.21 / N95
35. パラサイト・シングル / さらだたまこ著, WAVE出版
(1998)
36. パラサイト・シングルの時代 / 山田昌弘著
筑摩書房 (1999) 367.4 / P23

37. パラサイトシングルは日本を救える / 中屋宗寿著
武田書店 (2000) 304 / P23
38. 非婚：揺れる30代シングル / 家田荘子著 光文社
(1997) 367.4 / H57
39. 「非婚」のすすめ / 森永卓郎著, 講談社 (1997)
367.4 / H57
40. ひとり家族 / 松原惇子著, 文芸春秋 (1993)
367.4 / H77
41. ひとりで生きる：家族から個族の時代へ / 毎日新聞社
生活家庭部編, エール出版社 (2000) 367.4 / H77
42. 一人で生きる女性のお金が貯まる本 / 林高宏著; 池田
【ワタル】監修, エール出版社 (2001) 591 / H77
43. ひとりで生きるために単身者の生活権を検証する (シ
ンポジウム記録:第1回) / 単身けん編, ひとりで生き
るために単身者の生活権を検証する会 (1991)
369 / H77
44. ひとりで暮らすということ / 寿岳章子著, 海竜社
(1995) 914.6 / H77
45. ひとり暮らし安心ノート：ひとり暮らしはさびしくな
い(いきいきブックス) / 松原惇子著
ユーリーグ (1999) 159 / H77
46. ひとり暮らし女性の住まいと生きがい：サラリーマンの
生活と生きがいに関する調査 サラリーマンシニアを
中心にしてより / シニアプラン開発機構 [編]
シニアプラン開発機構 (1993) 365.3 / H77
47. ひとり暮らしの女たちへ：狙われた部屋、男たちの狂
気 (特集アスペクト：47), アスペクト (1998)
368.6 / H77
48. ひとり暮らし老後の選択 / 吉広紀代子著, 小学館 (1999)
365.3 / H77
49. ひとり住まいのゆとりライフハンドブック / 石川由紀
著, 情報センター出版局 (1997) 367.4 / H77
50. 貧困と家族崩壊：「ひとり暮らし裁判」の原告たち
鎌田とし子編著, ミネルヴァ書房 (1999)
365.3 / H61
51. 不安を楽しみに変える88の話：「おんな・シングル・
子供なし」という人生 / 松丸佳代著
はまの出版 (2001) 367.4 / F51
52. マンションを買う女たち / 矢崎葉子著, 太田出版
(1994) 365.3 / Ma47
53. 未婚化社会の親子関係：お金と愛情にみる家族のゆく
え / 宮本みち子, 岩上真珠, 山田昌弘著
有斐閣 (1997) 361.6 / Mi25
54. 未婚化の社会学 / 大橋照枝著, 日本放送出版協会
(1993) 367.4 / Mi25
55. ゆけゆけ！シングルウーマン：今のトコロ結婚の予定
ナシ / 造事務所, おキラクシングル友の会編著
翔泳社 (1996) 367 / Y97
56. わけあってシングル / 森本美紀著, 朝日新聞社 (1996)
367.4 / W29
57. 私が結婚しない理由 / 近代文芸社編, 近代文芸社
(1997) 367.4 / W47
58. Coresidence of young adults with their parents in
Japan : do sib size and birth order matter (Reprint
series : no. 10) / Hiroshi Kojima著, Ministry of
Health and Welfare (1990) 334.3 / C88
59. Flying solo : single women in midlife / Carol
M.Anderson, Susan Stewart, Sona Dimidjian
W.W.Norton (1994) 367.4 / F35
60. Single women : on the margins? / Tuula Gordon,
Washington Square, New York University Press
(1994) 367.2 / Si8

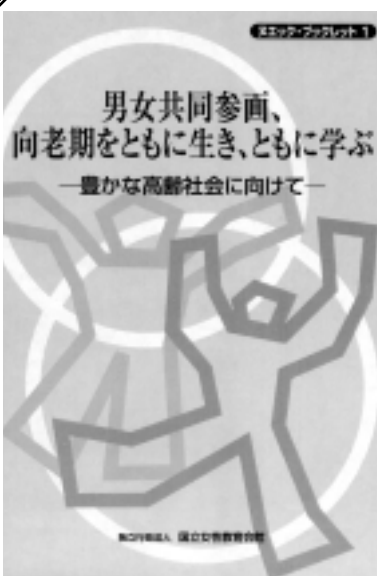
新着図書案内

当会館女性教育情報センターに2001年9月～2002年2月までに受贈された資料の中から、一般には入手しにくく、女性問題学習に参考になるとと思われる資料をご紹介します。

1. 「ICFTU-APRO労働組合における女性機構調査報告書」日本労働組合総連合会総合国際局（2001.9）
2. 「iモード世代の母親たちの仲間づくり：子育てサークルからネットワーク：記録」今どき子育てフォーラムSAITAMA（2001.1）
3. 「育児休業・介護休業制度に関する調査研究報告書：ケーススタディを中心に」日本労働研究機構（2001.3）
4. 「遺児母子800世帯調査」あしなが育英会（2001.4）
5. 「いっしょに考えませんか女も男もささえあう社会づくり」日本生協連関西地連ジェンダーフォーラム懇談会（2001.3）
6. 「「遠距離介護の実態調査」報告書」離れて暮らす親のケアを考える会「パオッコ」（2001.11）
7. 「エンパワーメントと女性行政」にいはま女性問題研究会（2001.3）
8. 「大阪府男女共同参画推進条例案骨子」大阪府男女協働社会づくり審議会条例検討専門部会（2001）
9. 「夫・恋人（パートナー）等からの暴力について」調査報告書「縁パワメント&サポートネットワーク事業実行委員会」（2001.3）
10. 「「大人になったらなりたいもの」この12年の推移を見る：第一生命2000年ミニ作文アンケート」第一生命保険（2001.5）
11. 「おや、オヤ？親子・21世紀：「家族をひらく」関係づくり」日本女子社会教育会（2001.3）
12. 「介護支え合い相談・研究事業報告書」国際長寿センター（2001.3）
13. 「介護保険はヘルパーの働き方をどう変えたのか」高齢社会をよくする北九州女性の会（2001.6）
14. 「開発と女性の役割：グローバルイゼーション・ジェンダー・労働」日本ネグロス・キャンペーン委員会（2001.8）
15. 「科学する心：日本の女性科学者たち」「少女少女のための科学者への道」実行委員会（2001.7）
16. 「家族とライフスタイルに関する研究会報告書」内閣府（2001.6）
17. 「家内労働調査結果報告（家内労働概況調査・家内労働実態調査）」厚生労働省雇用均等・児童家庭局（2001.3）
18. 「「グローバル・フェミニズム」について考える：私たちは何を知らないのか」新潟ウイメンズ企画（2001.9）
19. 「公的広報に男女共同参画の視点を：男女共同参画の視点からの公的機関の広報ガイドラインに関する調査研究報告書」電通総研（2000.1）
20. 「公務における男女共同参画の実現を目指して：女性国家公務員の採用・登用の拡大への取組」人事院（2001.6）
21. 「高齢社会対策の推進の基本的在り方について：年齢から自由な社会をめざして」高齢社会対策の推進の基本的在り方に関する有識者会議（2001.9）
22. 「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査結果」内閣府（2001.9）
23. 「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査結果の概要」内閣府（2001.8）
24. 「高齢社会対策大綱」内閣府政策統括官（総合企画調整担当）（2001.12）
25. 「コース別雇用管理制度の実施状況と指導状況について：総合職に占める女性の割合はわずか2.2% 法違反の是正指導とポジティブ・アクションへの取組を助言」厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課（2001.1）
26. 「子育てに関する意識調査：首都圏・阪神圏の幼稚園～中学生の子供をもつ両親に聞く」コナミスポーツ（2001.8）
27. 「子育てパートナー構想の提案：家庭と地域の教育力の回復を図る社会教育行政の新たな役割（助言）」東京都教育庁生涯学習部振興計画課（2001.9）
28. 「山村に輝く女性たち：女性のパワーが地域を動かす：国土庁委託調査事業「山村地域における女性活動支援環境調査」報告書」農村生活総合研究センター（2000.3）
29. 「ジェンダー、教育、ナショナリズム（女性学連続講演会：より深く掘り下げるために 第5期）」大阪女子大学女性学研究センター（2001.6）
30. 「ジェンダー視点からみた主要農業統計の問題点と改善方向」粕谷美砂子（2001.9）
31. 「ジェンダーチェック意識調査と事例集」山形市女性団体連絡協議会（2001.3）
32. 「ジェンダーと社会」京都女子大学現代社会学部,FD研究会・ジェンダーと社会（2001.3）
33. 「「ジェンダー・フリーな学校」に関する教職員アンケート」子育てグループきりょう（2000）
34. 「ジェンダー物語：女と男の十二単」こうち女性総合センター「ソーレ」（2001.9）
35. 「仕事と子育ての両立支援策について」男女共同参画会議（2001.6）

36. 「市町村男女共同参画計画の策定の手引：女性も男性も住民の力を地域づくりに」内閣府男女共同参画局（2001.8）
37. 「実践地域が語る私の街の「子育てサロン」：あなたの街にもつくりませんか、子育て中の親子の居場所：記録」今どき子育てフォーラムSAITAMA（2001.6）
38. 「児童虐待の実態：東京の児童相談所の事例に見る」東京都福祉局子ども家庭部（2001.1）
39. 「児童相談所における児童虐待相談処理件数報告」厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課（2001.11）
40. 「社会現象としての「ひきこもり」」臨床教育研究所「虹」（2001.3）
41. 「社会奉仕活動の指導・実施方法に関する調査研究報告書」日本総合研究所（2001.9）
42. 「社会問題としてのDVを考える：なぜ、今、ドメスティック・バイオレンスか？」日本女子社会教育会（2001.8）
43. 「社会的ひきこもり」対応ガイドライン（暫定版）の作成・通知と、研究班による「ひきこもり」の相談状況についての調査結果」厚生労働省障害保健福祉部精神保健福祉課（2001.5）
44. 「就業形態の多様化に関する総合実態調査報告」労働大臣官房政策調査部（2001.1）
45. 「10代・20を中心とした「社会的ひきこもり」をめぐる地域精神保健活動のガイドライン（暫定版）」伊藤純一郎（2000）
46. 「少年犯罪の背景・要因と教育改革を考える：とどいてますか、子どもの声」（第44回人権擁護大会シンポジウム第3分科会基調報告書）日本弁護士連合会（2001.11）
47. 「職場におけるセクシュアルハラスメントの実効ある防止対策の徹底について」厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課（2001.2）
48. 「職務満足感と生活満足感に関する調査」人間らしい労働研究プロジェクト（2000.3）
49. 「女性国家公務員の採用・登用の拡大に関する意識調査の結果概要」人事院（2001.5）
50. 「女性雇用管理基本調査結果報告書」厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課（2001.7）
51. 「女性と仕事：法律ガイド（女性と仕事の未来館報告書No.6）」女性と仕事の未来館（2001.3）
52. 「女性の活用推進協議会」厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課（2001.7）
53. 「「女性の人権ホットライン」の利用状況について（概要）」法務省（2001）
54. 「女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会報告書：女性自身の貢献がみえる年金制度」女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会（2001.12）
55. 「シングルマザーの年金加入状況調査報告：シングルマザーから見た年金制度の問題点」しんぐるまざあず・ふぉーらむ（2001.7）
56. 「新世紀の父親たち（からざレポート：くもんファミリー調査 2001vol.4）」くもん子ども研究所（2001.12）
57. 「ストーカー対策重点推進計画」警察庁（2000.8）
58. 「青少年の社会的適応能力と非行に関する研究調査報告書」内閣府政策統括官（総合企画調整担当）付青少年調査担当（2001.9）
59. 「青少年の生活と意識に関する基本調査の概要」総務庁青少年対策本部（2001.11）
60. 「世界女性文化会議・京都2001：メッセージと報告要旨」日本ジェンダー学会、世界女性文化会議・京都2001実行委員会（2001.9）
61. 「世界の食料確保と農村女性：現状と展望（資料第394号.世界の食料・農林水産業データファイル；No.8）」国際食糧農業協会（2001.3）
62. 「世帯内単身者に関する実態調査報告書（調査研究報告資料第17号）」国立社会保障・人口問題研究所（2001.7）
63. 「選択的夫婦別氏制度に関する審議の中間まとめ」内閣府男女共同参画局推進課（2001.1）
64. 「選択的夫婦別氏制度に関する世論調査（世論調査報告書）」内閣府大臣官房政府広報室（2001）
65. 「第7回仕事と家庭を考える月間について：仕事と家庭。両立できるものだから。」厚生労働省雇用均等・児童家庭局（2001.9）
66. 「多文化子育て調査報告書」多文化子育てネットワーク（2001.9）
67. 「多様な選択肢をもった経済社会の実現を（労働問題研究委員会報告平成13年版）」日経連出版部（2001.1）
68. 「男女共生教育研究」高槻市立第三中学校（1999.7）
69. 「男女共同参画社会を考えよう！：「ちょっと言わせて五・七・五」シンボルマーク」コンクール入賞作品集」青森県八戸市企画部企画調整課男女共同参画室（2001.12）
70. 「男女共同参画社会をめざして～あすてらす写真コンテスト入賞作品集」島根県環境生活部県民課男女共同参画室（2001）
71. 「「男女共同参画に関する研究会」報告書：経済主体・経済活動の多様化と活性化を目指して」経済産業省男女共同参画に関する研究会（2001.6）
72. 「地域政治とジェンダー：特に「地域福祉」をめぐる女性議員と男性議員」春日雅司（2001.3）
73. 「地域で考える女性・子ども・高齢者に対する暴力（フォーラム「女性と学習」資料2001年度）」日本女子社会教育会（2001.9）
74. 「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」内閣府男女共同参画

- 局 (2001.8)
75. 「21世紀の保育をささえる私たちのあり方：保育士のさらなるレベルアップについての意識調査」東京都公立保育園研究会 (2001.12)
 76. 「日本父親学会：5年間の活動を振り返って：イキイキお父さんのパソコンネットワーク (からざレポート：くもんファミリー調査2001vol.3)」くもん子ども研究所 (2001.12)
 77. 「認可外保育施設の状況について」厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 (2001)
 78. 「農村における男女共同参画に関する意向調査結果：平成12年度食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査 (農林水産統計速報13-24 (地域1))」農林水産省統計情報部 (2001.2)
 79. 「農林水産業・農山漁村における少子化問題に関する意見の募集結果について」農林水産省農産園芸局婦人・生活課 (2000.12)
 80. 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の円滑な施行について」内閣府男女共同参画局推進課 (2001.1)
 81. 「配偶者等からの暴力に関する事例調査」内閣府男女共同参画局 (2001.11)
 82. 「働く女性を感じる不安と生活価値 (働く女性と暮らしの調査 [第5回])」日本ヒューマン協会 (2001.3)
 83. 「発展途上国における女性労働と社会政策 (調査研究報告書. 地域研究第2部：2000-II-06)」日本貿易振興会アジア経済研究所 (2001.3)
 84. 「「ひきこもり」家族90人の回答にみる「ひきこもり」の実相：社会現象としての「ひきこもり」第2次分析 (レインボー・レポートvol.4)」臨床教育研究所「虹」 (2001.9)
 85. 「「ひきこもり」についての相談状況調査報告書」国立精神・神経センター精神保健研究所精神保健計画部 (2001.3)
 86. 「人と情報を結ぶ情報相談ハンドブック (Dawn hand book 5)」大阪府男女協働社会づくり財団 (2001.3)
 87. 「服用者を対象としたOC (低用量ピル)に関する意識調査」OC情報センター (2001.7)
 88. 「婦人相談所及び婦人相談員への相談形態別実人員の状況」厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課 (2001)
 89. 「分権新時代をひらくローカルパーティーの条例提案：NET条例作成・制定研究会：議員立法実践集I (NETブックレットNo.2)」神奈川ネットワーク運動 (2000.11)
 90. 「米国Catalyst招聘シンポジウム報告書：ウィメンズ・イニシアティブ設立記念」ウィメンズ・イニシアティブ (2001.8)
 91. 「平成12年地域児童福祉事業等調査の概況 (平成12年10月1日現在)」厚生労働省大臣官房統計情報部社会統計課児童福祉統計係 (2002.1)
 92. 「保育所の状況 (平成13年4月1日)等について」厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 (2001.12)
 93. 「北欧労働市場のジェンダー平等と職業分離」女性労働協会 (2001.1)
 94. 「ぼくたち・わたしたちの「安心」を守れ！：せたがやキッズの危険攻略ファイル：もしも公園や道で「こわいこと」がおきたら」東京都世田谷区生活文化子ども・男女共同参画課男女共同参画推進係 (2001.3)
 95. 「北東アジア地域における男女共同参画の状況：調査報告書：北東アジア地域における主要データ比較」富山県生活環境部女性青少年課 (2001.12)
 96. 「松江私立盲啞学校創立者：福田与志：資料集」鳥取県松江市総合女性センタープリアール (2001.3)
 97. 「やさしく学ぼう女性の権利：女性差別撤廃条約と選択議定書」国際女性の地位協会 (2001.12)



又エック・ブックレット 1

男女共同参画、向老期をともに生き、ともに学ぶ 豊かな高齢社会に向けて

編集 独立行政法人国立女性会館
制作 株式会社UDジャパン
発行 財務省印刷局 (A5版 96ページ)

国立女性教育会館では、平成11年から「高齢社会に向けての男女共同参画学習に関する調査研究」を実施し、向老期 (高齢期に向かってアイデンティティの再編を行う時期)にある団塊の世代を対象に、高齢社会および男女共同参画社会形成の課題を学習することが重要であると考え、課題の明確化と学習プログラムの開発を進めてきました。このたび、3年間の研究成果をまとめ、生涯学習・社会教育の行政担当者、女性関連施設の職員や学習者などの参考資料となるようにブックレットを編集しました。ジェンダーに敏感な視点から高齢社会を豊かに自分らしく生きるための学習プログラム例が掲載されていますので、どうぞご活用ください。



編集後記

春のあたたかさが一日一日と増してきておりますが、本号がお手元に届くころには桜前線はどこまですすんでいるでしょうか。

今号の巻頭言は「女性情報の活力源」というタイトルで、大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）の尼川洋子氏に執筆していただきました。「女性情報」を収集・整理・提供する立場から見て気づいた、“らせん状の循環性”が「女性情報」の活力源たる所以ではないかということ、その軸としてしっかりと立ち、絶えず螺旋が広がっていくように働きかけていく、その役割を担える所としてのセンターの役割の大きさを述べられています。

会館事業情報では、新しい形で実施された「国際女性情報処理研修」と「女性情報国際フォーラム」の様子や、遠隔情報発信事業としてエルネットより発信された「公開シンポジウム」の様子などを紹介しております。

女性教育情報センターからは、新しくなった「女性学・ジェンダー論関連科目データベース」や「TICTサイト」の英語版の紹介をしております。どうぞご利用ください。

さて、1998年（平成10年）3月に創刊号を出して以来、4年の年月を経て9号をお送りする「WINET情報」ですが、今号をもちましてこの冊子体の形態での発行は終了いたします。今後は、インターネットにより会館のホームページ（<http://www.nwec.jp/>）から、文献情報、WinetCASS及び女性教育情報センター利用に関する情報を発信していく予定です。冊子体という制約もあり、いままでは年2回の発行でしたが、ホームページからの発信では、最新の情報をできるだけ速やかに発信できるよう努めてまいります。伝達の形態は変わりますが、書誌情報を中心としたより充実した「女性情報」をお伝えしていきたいと考えております。皆様のご意見、ご感想をお待ちいたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。

（T.K）

WINET情報 No.9

発行日 平成14年3月29日
編集・発行 独立行政法人 国立女性教育会館
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地
電話 0493(62)6711（大代表）
ホームページ URL <http://www.nwec.jp>
E-mail webmaster@nwec.jp
印刷 有限会社 石井印刷所
電話 048(442)2306（代表）
